2018 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム
外部評価（社会的評価）委員会報告書

2019 年 7 月

愛岐留学生就職支援コンソーシアム

まえがき

2017年に設立された愛岐留学生就職支援コンソーシアムも、今年で3年目を迎えることができました。2017年度における本コンソーシアムの取り組みは、文部科学省の委託事業「留学生就職促進プログラム」に採択されたのが年度途中だったことから、試行が中心となりましたが、本報告書の対象である2018年度は、事前の年間計画も含め、一年を通して本格的な取り組みを行った最初の年度となります。

このプログラムは、政府の成長戦略における「外国人材の我が国企業への就職の拡大」に沿って、愛知県と岐阜県を中心とした東海地域の大学が地域の自治体や産業界と連携し、日本の企業、特に地元企業への留学生の就職を促進することを軸足に置いた取り組みです。2018年度は、コンソーシアム参加大学の各キャンパスにおける「日本語教育」や「キャリア教育」に加え、この地域の産業界（愛知経営者協会、岐阜経営者協会、中部経済同友会、中部経済連合会)、公的機関（愛知県、岐阜県、JETRO名古屋、JETRO岐阜）と連携し、キャンパスの枠を超えた新たな取り組みやこれまでの取り組みの拡大・改善を目指した一年でした。

2018年度の活動を通して実感されるのは、産業界、特に中堅の製造業において留学生採用熱が高まっているということです。2018年度に実施した、本コンソーシアムが関わる企業向けの説明会や講習系のイベントでは、直ぐに参加制限枠を超える企業関係者からの申込がありました。また、コンソーシアムメンバーである愛知県や岐阜県が主催する留学生インターンシップにおいても、受入を希望する企業数は、前年度を遙かに上回るものだったと聞いております。そのほか、新しい形で留学生を採用したいとお考えの企業からの個別の問い合わせも増えてきており、留学生採用市場の拡大を実感しているところです。

その一方で、労働の供給側である留学生を取り巻く環境も変化してきているように思います。少し前まで、日本の大学で学び、日本の企業を目指す留学生は、日本語が十分できて、日本で日本人と一緒に働くことを目指す学生たちが基本でした。しかし、昨今は、日本の大学でも英語による教育課程が増加し、日本語能力が高くない留学生も徐々に増えています。こうした留学生は、これまでなら日本の企業への就職を目指さなかったかもしれませんが、今は、希望者が増えているように感じています。これは、日本発の多国籍企業や優秀な技術を持った日本企業が進めている海外展開や国際的な交渉に携わりたいと考える留学生が増えているからだと思います。

しかしながら、企業側のニーズも留学生側の関心も高まっているにもかかわらず、留学生の地元企業における採用数が実態として大きく伸びているわけではありません。その理由は、以下の三つにあるのではないでしょうか。第一に、企業側にニーズはあっても、現実の留学生を知る機会が少なく、採用や人材育成（留学生のキャリアパス）について認識のずれがあると思います。留学生を欲していながら、現状では、多くの企業が日本人と同じプロセスで面接や試験等の採用活動を行っているため、結果として優秀な留学生を取り

こぼしているようにも見受けられます。第二に、留学生側の準備不足が挙げられます。日本語能力はもちろんのこと、ビジネスにおけるコミュニケーション能力や日本の企業文化に対する理解が足りないために、せっかくの機会を活用できていません。そして、第三の理由は、留学生向けの就職・採用市場が存在しないということです。残念ながらこの地域では、留学生向けの市場がまだ形成されていません。このような状況では、現状を大きく上回る留学生の採用は難しいと思います。

以上のような理由から、留学生市場の開拓に向けて、2018 年度にはいくつかの試行的取り組みを行いました。その中には、上手く行ったものもあれば、反省点の多いものもありましたが、このような取り組みが新聞等で取り上げられたことで、本コンソーシアムの知名度も向上し、コンソーシアムの存在意義はいよいよ高まってきたと認識しております。今後は、本コンソーシアムによってこの地域の留学生の就職を支援するだけにとどまらず、多様な留学生が在籍するこの地域の大学と地元企業との連携を仲立ちすることにより、地域経済の国際化を促進し、この地域をグローバル社会におけるモデルケースとすることも視野に、活動を進めていきたいと考えているところです。

最後になりましたが、外部評価委員の先生方には、ご多忙にもかかわらず、2018 年度事業について評価いただき、貴重なご意見を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。現状の取り組みについてのご指摘や今後の取り組みに関していただいたご助言は、今後の活動にあたって活用させていただきます。合わせまして、関係の皆様方におかれましては、留学生の国内就職支援の一層の活性化に向けて、今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

名古屋大学　副総長（学生支援担当）
（愛岐留学生就職支援コンソーシアム　実務委員長）
佐久間　淳一

目次

まえがき

1. 外部評価委員・・・

愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員紹介

委員長：

◆　久保田　学　氏

一般社団法人留学生支援ネットワーク　事務局長

留学生支援、外国人採用関連セミナー講演、企業や教育機関のコンサルティング業務に従事

政府の委員会や政策アドバイスなども行う

文部科学省留学生就職促進プログラム専門委員

委員：

◆　原田　麻里子　氏

東京大学グローバルキャンパス推進本部　国際化教育支援室　講師

専門：外国人の受入れ政策と留学生のキャリア形成・定着促進

民間企業人事担当、外資系企業、自治体の外国人支援担当等を経て、2004 年より東京大学の留学生受け入れ相談・支援全般に従事。

東京大学留学生を対象とした、年間 20 事業以上の留学生キャリア・就職支援事業のコーディネートや講師を務めると同時に、個別相談支援にも日々対応している。

◆　河野　敬　氏

独立行政法人　日本貿易振興機構（ジェトロ）　国際ビジネス人材課長

インド・ニューデリー事務所、バングラデシュ・ダッカ事務所などでの勤務を経て、2019 年 4 月から現職

政府関係省庁連携の下に設置された「高度外国人材活躍推進プラットフォーム」事務局を担当

中堅・中小企業と留学生に向け施策・関連情報を一元的に取りまとめたポータルサイトを運営

専門相談員による伴走型支援（個別企業支援）も展開

愛岐留学生就職支援コンソーシアム　2018 年度外部評価委員会プログラム

日時：2019 年 6 月 26 日（水）13：00～15：00
場所：豊田講堂 第 1 会議室　（外部評価委員控え室　第 5 会議室）

【プログラム】

13：00　実務委員長挨拶（佐久間実務委員長）
13：05　外部評価委員の紹介
13：10　2018 年度コンソーシアム事業の説明

1　全体概要　（名古屋大学土井総長補佐）
① 全体概要
② 教育プログラム概要（日本語教育、キャリア教育、インターンシップ）

2　教育プログラム
① 各大学の取組み
名古屋大学
岐阜大学
名古屋工業大学
名城大学

3　産官学連携
① 愛知県外国人留学生インターンシップ
② 岐阜県外国人留学生インターンシップ
③ 中部経済同友会企業と外国人留学生との交流会
④ 中部経済連合会　協働ワークショップ
⑤ 愛知県社会保険労務士協会

4　成果指標データ　（名古屋大学土井総長補佐）

5　組織運営（名古屋大学土井総長補佐）
① 組織概要
② 委員会、部会報告
③ 現状の取組み
7 月 4 日マッチングイベント
④ 将来構想

14：10　質疑応答
14：30　外部評価委員による討議
14：50　外部評価委員会総評（外部評価委員長）
15：00　閉会（佐久間実務委員長）

資料３－１

様式第１１

委託業務成果報告書

令和元年５月２０日

支出負担行為担当官
文部科学省高等教育局長　　殿

（受託者）所 在 地　名古屋市千種区不老町
名　　称　国立大学法人　名古屋大学
代表者名　総長　松尾清一　印

平成３０年４月１日付け平成３０年度「留学生就職促進プログラム」に関する成果の報告書を委託契約書第２１条の規定により、別添のとおり提出いたします。

1．平成30年度実施・参加状況一覧

①ビジネス日本語教育（899名）

大学	項　目	参加人数
名古屋大学	日本語能力試験対策講座N5-4①	6
	日本語能力試験対策講座N5-4②	12
	日本語能力試験対策講座N5	9
	日本語能力試験対策講座N4	9
	日本語能力試験対策講座N1①	38
	日本語能力試験対策講座N1②	16
	日本語能力試験対策講座N1③	30
	日本語能力試験対策講座N1④	22
	日本語能力試験対策講座N2①	28
	日本語能力試験対策講座N2②	28
	日本語能力試験対策講座N3①	21
	日本語能力試験対策講座N3②	14
	就活準備日本語講座（基礎）①	18
	就活準備日本語講座（実践）①	13
	就活準備日本語講座（基礎）②	29
	就活準備日本語講座（実践）②	13
	ビジネスコミュニケーションのための日本語	6
岐阜大学	日本語資格用講座1（前期）	5
	日本語資格用講座1（後期）	13
	日本語資格用講座2（前期）	10
	日本語資格用講座2（後期）	9
	キャリア日本語講座1（前期）	8
	キャリア日本語講座1（後期）	7
	キャリア日本語講座2（前期）	10
	キャリア日本語講座2（後期）	5
名古屋工業大学	基礎力養成（文字）	28
	基礎力養成（初級Ⅰ Ⅱ）	73
	基礎力養成（中級Ⅰ Ⅱ）	61
	資格取得（N3）	43
	フォローアップ日本語	
	日本語表現法	23
	日本語日本文化	23
	グローバル人材論	15
	資格取得（N2、N1）	96
	ビジネス日本語	77
	就活日本語	
	日本語日本社会	27
	情報表現特論	5
	多文化共生特論	13
名城大学	ビジネス日本語基礎	12
	ビジネス日本語実践	24
	合 計（延べ人数）	899名

②キャリア教育（2230名）

大学	項　目	参加人数
名古屋大学	入学時キャリアガイダンス(春季)	275
	入学時キャリアガイダンス(秋季)	384
	入学時キャリアカウンセリング（春季）	5
	入学時キャリアカウンセリング（秋季）	15
	就活オリエンテーション＆内定者座談会	43
	留学生のための就職・キャリア支援プログラム	84
	ビジネスマナー講座	14
	仕事理解講座	24
	企業交流会	54
	職場体験プログラム	19
	日本で働くときの基礎知識講座	25
	社労士相談会	15
	企業協働ワークショップ	41
	キャリアカウンセリング	490
	Job Fair	112
岐阜大学	就職活動支援ガイダンス	3
	就職活動支援コース	24
	実践型ビジネススキルトレーニング	20
	個別相談	55
	AGP特別講義	31
	デザイン思考序論（前学期・前半）	9
	デザイン思考序論（前学期・後半）	8
	Design Thinking Training Workshops	22
	Advanced Workshop Design	22
	岐阜地区ワークショップ	38
	地元企業との交流会	73
	岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会	27
	企業協働ワークショップ	10
	社長懇談会	8
	工場見学ツアー	21
名古屋工業大学	卒業生による講演会	17
	キャリアカウンセラー	
	企業見学ツアー	89
名城大学	キャリア教育講座	21
	就職活動支援講座	24
	留学生就職シンポジウム	1
	企業見学	21
	インターンシップ報告会	17
	カウンセリング	69
	合 計（延べ人数）	2230名

③インターンシップ（142名）

大学	項　目	参加人数
名古屋大学	独自開発インターンシップ	49
岐阜大学		7
名古屋工業大学		22
名城大学		5
愛知県庁・名古屋外国人雇用サービスセンター主催インターンシップ		50
岐阜県庁主催インターンシップ		9
	合 計	142名

１．平成３０年度実施状況

①ビジネス日本語教育

就職につながる日本語習得のための科目を多数開設し、レベルに合わせた積み上げ式のカリキュラム構築の基礎形成を行った。全53講座を開講し、合計899名の留学生（昨年790名　昨年対比13.8%増加）が参加した。大学専門部会（年2回）や実務委員会（年3回）の場でコンテンツの共有を行いつつ、各大学で昨年に比べて更に開講科目を充実させ、留学生の多様なニーズに応えられるようにした。キャリア教育の講座でも就職で必要な日本語を学ぶ機会を提供し、日本語教育、キャリア教育双方で留学生の日本語学習をサポートした。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施科目

日本語教育については、下記の講座を開講した。

No.	講座名	開講期間
1	日本語能力試験対策講座 N1①	H30 年 5-6 月(春学期中)
2	日本語能力試験対策講座 N2①	H30 年 5-6 月(春学期中)
3	日本語能力試験対策講座 N3①	H30 年 5-6 月(春学期中)
4	就活準備日本語講座(基礎)①	H30 年 5-6 月(土曜日)
5	就活準備日本語講座(実践)①	H30 年 6-7 月(土曜日)
6	日本語能力試験対策講座 N1②	H30 年 9 月(夏休み中)
7	日本語能力試験対策講座 N5-4①	H30 年 9 月(夏休み中)
8	日本語能力試験対策講座 N4①	H30 年 9 月(夏休み中)
9	日本語能力試験対策講座 N1③	H30 年 10-11 月(秋学期中)
10	日本語能力試験対策講座 N2②	H30 年 10-11 月(秋学期中)
11	日本語能力試験対策講座 N3②	H30 年 10-11 月(秋学期中)
12	就活準備日本語講座(基礎)②	H30 年 10-11 月(土曜日)
13	就活準備日本語講座(実践)②	H30 年 11-12 月(土曜日)
14	日本語能力試験対策講座 N1④	H31 年 2-3 月(春休み中)
15	日本語能力試験対策講座 N5①	H31 年 2-3 月(春休み中)
16	日本語能力試験対策講座 N5-4②	H31 年 2-3 月(春休み中)
17	ビジネスコミュニケーションのための日本語	H31 年 2 月(春休み中)

留学生の日本での就職を日本語教育で支援する際、日本語そのものの能力向上と就職活動やビジネスのための日本語教育の二つの分野について支援する必要がある。名古屋大学では、日本語能力向上のため、上の表の通り年間を通じて、日本語能力試験対策講座を開講。全レベルに対応し、連続したレベルを続けて受講できるようにした。ビジネス・就活のための日本語については「就活準備日本語講座」を基礎と実践に分けて、年 2 回開講した。ビジネス日本語についてはキャリア教育とも連動した質の高いビジネス日本語講座を提供し、直接就職活動の準備に繋がるような内容を行った。この他に本学では、G30 国際プログラムで「ビジネス日本語」Ⅰ～Ⅳを学期中の 5,6 限に開講している。

(2)参加状況

日本語能力向上の講座の参加者は合計で 237名、ビジネス・就活の日本語講座は合計で 79 名であった。各講座とも好評で、積極的に講座に参加する姿が見られ、活発な授業展開となった。他大学からの学生の参加も見られ、日本での就職やそのために日本語を学ぶことに関する関心度が高いことがうかがえた。

(3)成果

留学生の数が増え、学生の状況も多様化している。入学時に全く日本語ができない学生も N1 レベルの学生もいる。多様な学生が日本で就職できるだけの日本語のレベルになるまでの様々なレベルの日本語教育の支援が必要である。この事業では、多くの日本企業が求める N1 レベルの日本語とビジネスでの日本語を学ぶ講座を提供することができ、各講座に参加した学生の感想からも、これらの講座が留学生に必要とされ、評価されていることがうかがえる。さらに、これらの講座の受講が学生の日本での就職に対するモチベーションの向上と意識改革にも繋がっていると考えられる。

(4)課題

来年度、学生のニーズに応えて日本語能力試験対策講座を N5 から N1 まで開講する。キャリア教育との連携をさらに進めていく必要がある。

N5 から積み上げていく学生は G30 国際プログラムの学生が中心で、人数は多くないが、日本で就職することを希望する学生が確実に存在する。そのため、彼らが日本語力を伸ばしていけるようサポートする必要がある。現在 N5,N4 日本語能力試験対策講座は、夏・春休み中に行われており、帰国する学生が多く参加者は少ない。しかし、支援を継続させていきたいので、次年度は N5 を春休みに１講座、N4 を夏休みに１講座開講する予定である。

(5)実施講座報告書 (別紙)

(6)シラバス(別紙)

【岐阜大学】

(1)実施科目
日本語資格用講座１（前期、後期）
日本語資格用講座２（前期、後期）
キャリア日本語講座１（前期、後期）
キャリア日本語講座２（前期、後期）

(2)参加状況（参加者数：６７名）
日本語資格用講座１（前期）　参加者数 5 名
日本語資格用講座１（後期）　参加者数 13 名
日本語資格用講座２（前期）　参加者数 10 名
日本語資格用講座２（後期）　参加者数 9 名
キャリア日本語講座１（前期）参加者数 8 名
キャリア日本語講座１（後期）参加者数 7 名
キャリア日本語講座２（前期）参加者数 10 名
キャリア日本語講座２（後期）参加者数 5 名

(3)成果
・日本語資格用講座及びキャリア日本語講座を、通常の日本語コースと合わせて受講させることで、受講生の日本語レベルを把握しながら学習指導することができた。
・日本語教育科目以外にも、キャリア教育科目（自己分析、企業分析、応募書類の作成、個人面接・集団面接の模擬練習、ビジネスマナー、グループディスカッション、専攻内容のわかりやすい説明方法など）において、就職活動で必要とされる日本語力及びコミュニケーション力を養うことができた。また、個別相談により、個々の日本語力の強みや弱みをクリアにさせ、きめ細やかな支援を行うことができた。

(4)課題
・目的によらず、高い日本語力を獲得するためには、日本語の学習を継続することが大切である。自身の専門研究と日本語の学習を両立させることの重要性を、受講生に、よりいっそう理解させて行く必要がある。
・日本語教育科目、キャリア教育科目、個別相談の連携をより密にすることで、企業が求める日本語力の養成に役立て、留学生の日本企業への就職意欲を高めることが必要である。

(5)シラバス(別紙)

【名古屋工業大学】

(1)実施科目

１．プログラム生参加学生対象

①基礎力養成：基礎力養成（文字＊・初級Ⅰab、初級Ⅱab、中級Ⅰab、中級Ⅱab＊）

資格取得（Ｎ３ab＊）、基礎日本語１～６（５＊・６＊）

②実践力養成：資格取得（Ｎ１ab、Ｎ２ab）

ビジネス日本語(聞・読＊・書・話＊)

２．名古屋工業大学学生対象

①基礎力養成：日本語表現法、日本語日本文化、グローバル人材論

②実践力養成：日本語日本社会、情報表現特論、多文化共生特論

注１：上記の各科目は原則的に１回2時間×15～16週で実施。

情報表現特論のみ１回２時間×８週で実施。

注２：＊は本事業予算によって実施した科目。

(2)参加状況

１．①基礎力養成：延べ約　233　名

②実践力養成：延べ約　173　名

２．①基礎力養成：延べ約　 61　名（他にグローバル志向の日本人学生約 16名も参加）

②実践力養成：延べ約　 45　名（他にグローバル志向の日本人学生約163名も参加）

(3) 成 果

１．昨年度新設した科目を含め、開講科目が充実したことで、留学生の多様なニーズにある程度応えられるようになった。

２．留学生と日本人学生が協学する環境の整備を進めたことで、留学生のみならず、日本人学生も刺激を受け、グローバル志向に目覚める者が増えた。

以上により、日本で就職するために必要な要素を、留学生が現実的に把握できるようになったと感じている。その波及効果が日本人学生にも及んでいる。

(4)課題

開講科目およびその内容のある程度の充実が図られた一方で、いかに継続していくかに対する具体的な方策はまだ見つかっていない。日本語力の底上げからビジネス日本語までを、まんべんなく体系的に指導し、それを継続するためには、人材の確保および経済的な裏付けが課題である。

(5)シラバス(別紙)

【名城大学】

(1)実施科目

ビジネス日本語（基礎）

ビジネス日本語（実践）〈前期１コマ、後期１コマ〉

(2)参加状況

【ビジネス日本語（基礎）】

登録者 12 名は全員名城大学の留学生。全 13 回の講習を行った。第 1 週から第 9 週までの出席は、登録 12 名中 5 名～10 名であったが、第 10 週～第 13 週の出席は 3 名～4 名で、全体での出席率はほぼ 5 割だった。学生別に見てみると、12 回出席が 3 名、5～7 回出席が 6 名、1～4 回出席が 3 名である。12 回出席の学生は、熱心に講習に取り組む姿勢が見られた。

【ビジネス日本語（実践）】

《前期》名城大学１０名、南山大学２名で全登録者は 12 名。恒常的には 7～8 名が参加。出席率は約 66%だった。欠席や途中受講取り消しの理由は、就職活動・アルバイト・講義などが理由。

《後期》名城大学１０名、南山大学１名、名古屋大学１名で全登録者は 12 名。ただし、登録したが研究活動等の諸都合で最初の講座から不参加が５名で、実質の申込者は７名（名城大学５名、南山大学１名、名古屋大学１名）。恒常的には 3～4 名の出席で、出席率は約43%。

(3)成果

【ビジネス日本語（基礎）】

教材は「にほんごではたらく！　ビジネス日本語 30 時間」（スリーエーネットワーク）を使用し、８つのファンクション（シラバス（別紙）参照）をメインに学習した。それぞれのファンクションで、使用頻度の高い語彙、表現（敬語を含む）を学習し、会話の流れに沿って適切な音声で話せるように指導した。この教材は 30 時間（15 コマ）をかけて学習することが想定されているが、13 コマで一通り指導することができた。

【ビジネス日本語（実践）】

講座の進め方は、就職活動や企業で働くときの場面設定をし、例文を示した上で実践的な練習を実施。そのときどきのビジネス慣習、マナーなども随時説明を加える。「学ぶ」だけではなく、自分で「使ってみる」ことに重点を置いた。講座に出席した学生たちの受講態度は真剣で、積極的に練習課題に取り組んでいた。講座に対して、学生からは、実用的で今後の就活や仕事に役に立つとの感想を多く聞いた。なお、実際就活の場面でも使用したことを後に確認した。

後期には１名日本語がＮ２レベルに達していない非漢字圏の理工系受講生がいた。日本語が不十分なため、プレゼンの仕方（わかりやすいことばで説明するなど）を講義で練習することを経て、本人も自らの専攻については自信を持って説明できるようになった。

(4)課題

【ビジネス日本語（基礎）】

まず、話す力であるが、参加学生の日本語習熟度には差があるものの、概ねある程度流暢に話すことができていた。しかし、自然な日本語とは言えない学生もおり、アクセント、イントネーション、リズム（特に撥音、促音、長音）を繰り返し指導した。すぐに改善するのはやはり難しく、注意したその場ではうまく出来ても、次の週にまた同じことを注意することがあった。習熟度の高い学生には、さらに聴きやすい日本語を目指して、プロミネンス、ポーズの取り方なども指導したが、やはり定着には時間がかかる。

文法・表現については、習熟度の高くない学生の中には、動詞の活用や、文末表現（特にて形＋授受表現）を間違えるものがいたが、徐々に欠席がちになっていった。出来て当然と思わずに、他の学生と一緒に学習を進めていけるように簡単な補足説明が必要かと思われる。

比較的習熟度の高い学生は、このような問題はないが、その場に求められる適切な表現を迅速に選択するのは、困難が見られることがあった。また、敬語の知識はあるが、一つの語彙を場に応じて丁寧語、尊敬語、謙譲語に使い分けるのはまだ練習が必要であると感じた。時間が許す限りもっと様々な場面を提示し練習を重ねていければと思う。

【ビジネス日本語（実践）】

・申込者を増やすこと。

・このクラスの講義内容は大体日本語Ｎ２以上の学生向けに設計をしている。後期には、日本語レベルの異なる学生が１人参加した。どこまでマスターさせれば良いか、講義の進め方についても今後工夫が必要と感じた。

(5) シラバス（別紙）

②キャリア教育

次年度に就職活動を検討している留学生に対して、自己理解及び職業理解を踏まえたキャリア形成支援講座を開講し、日本の雇用文化や就職活動に関する理解促進の場を留学生に特化して提供した。また、実践的な就職活動支援として、実践型ビジネストレーニング、デザイン思考序論などの講座の開講や、合宿やフィールドワークを交えてのアウトプットの場を多く設定した。

また、昨年度に引き続き、近隣企業の人事担当者や元留学生の社員を招いた「仕事理解講座」や、Job Fair、ビジネスマナー講座、卒業生とのパネルディスカッションなど、社会人と留学生が交流できる機会を意識的に創出し、キャリア教育の機会に延べ2230名以上（昨年1912名 昨年対比16.6%増加）の留学生が参加した。

この他、新入生・最終学年の学生を問わず、留学生一人ひとりの自己理解や職業理解の状況に応じたキャリアカウンセリングを適宜実施した。キャリアカウンセリングで個別にフォローしながら、キャリア支援講座などで学びを深めるという相乗効果が発揮できた。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施科目、イベント

キャリア支援講座やオリエンテーションの他、キャリア形成に繋がる正課外教育活動として13プログラム実施した。特に、本学キャリア教育プログラムの中核を担うものとして位置付けている「就職キャリア支援講座」は、10 月から 1 月にかけて計 11 コマの講座（ワークショップ）を毎週実施し、内定取得済みの最終学年の留学生、次年度以降に日本での就職を希望する留学生、日本で職務経験を持つ日本人教職員が毎回参加し、日本の雇用環境やキャリア形成のあり方について共に話し合いながら学ぶワークショップを座学と織り交ぜながら実施した。なお、希望する留学生にはキャリアカウンセリングを適宜行うことによ り、包括的な進路支援を行うよう心掛けた。

(2)参加状況

キャリア支援講座（10 月～1 月に計 11 コマ実施）には毎回 20～30 名の参加がみられた。各種イベント（仕事理解講座、マナー講座）には各回 10 名～30 名の参加者がおり、
日本企業の留学生への期待や、外国人社員の想定されるキャリアパス等を直接企業関係者から見解を知ることでき、日本での就職に対する不安が軽減されることを目的に実施した。
2 月に行った Job Fair では、2 日間にかけて実施し 45 社の企業が参加し、延べ 112 名の留学生が参加した。なお、キャリアカウンセリングについては、新入生を含め、490件（H30 年 4 月～H31 年 3月末時点：1 件１時間を目処に事前予約制による相談）の対応をこれまで行っている。

(3) 成果

各講座や行事で回収した参加学生へのアンケートは概ね好評で、毎回 9 割を超える学生から「大いに満足した」、「満足した」などの回答を得ることができた。また各教育活動に参加した最終学年の学生からは、（前年度にこれらの行事に参加したことから）企業より内々定を取得した者などの報告も相次いでおり、これまでの実践が着実に成果に結びついている。

特に日本での就職活動では、従来は準備期間が足りず、日本の雇用慣習への理解が足りないまま選考に臨む留学生が多くいたが、これらの講座によって就業感が醸成され、中長期的なキャリアビジョンを明確にした上で、企業や職業理解に繋げているようである。今後も、このような教育実践を持続的に行うことにより、留学生に対するキャリア形成支援をさらに充実させたい。

(4) 課題

正課外での教育実践のため、特に修士課程以上の留学生は、日々研究活動で多忙を極め、このような実践に参加することが難しい状況である。そのため、これらの教育実践に参加する留学生はもちろん、参加できない留学生に対し、どのように教育支援を行うべきか、個別相談対応とは別に、大学院生の研究活動に差し障りのない時期（なおかつ、次年度より政府が方針を示す就職活動スケジュールのガイドラインに抵触しない時期）での実施を検討したい。

(5) シラバス（別紙）

【岐阜大学】

(1)実施科目、イベント
(2)参加状況

講座名等	実施日	参加留学生数
就職活動支援ガイダンス	7/4	3 名
就職活動支援コース	7/18、10/10、10/17、10/24、11/7	延べ24 名
実践型ビジネススキルトレーニング	12/19、12/26、1/16、1/23、1/30	延べ20 名
個別相談	7/4、7/18、7/25、8/29、9/5、10/3、10/17、10/24、11/7、12/12、12/19、1/16、1/23、1/30、2/13、2/20	延べ55 名
ＡＧＰ特別講義	11/21	31 名
デザイン思考序論	4/18、4/25、5/9、5/23	9 名
デザイン思考序論	5/30、6/6、6/20、7/4	8 名
Design Thinking Training Workshops	2/16、2/17	22 名
Advanced Workshop Design	10/27、10/28	22 名

(3)成果
・キャリア教育を受講した留学生が、面接において、質問に対する受け答えはもちろん、立ち居振る舞いについても好印象であった旨、企業からフィードバックがあった。
・キャリア教育に関しては、継続の参加や友人同士の申込みが多かったことにより、講座への高評価と口コミの波及効果があったものと推測された。
・個別相談を中心に教育プログラム（日本語教育、キャリア教育）を実施したことにより、それまで区々になりがちであった支援をきめ細やかに一貫して行うことができた。

(4)課題
・平成29年度と同30年度の蓄積をふまえて、新年度の早期に、1年間の教育プログラムを組み立てる必要がある。
・新規参加者の獲得と継続参加者の増加につながる、広報の仕組みを検討する必要がある。

(5)シラバス(別紙)

【名古屋工業大学】

(1)実施科目、イベント

平成 30 年 5 月 8 日（火） ハローワーク就職ガイダンス
平成 30 年 6 月 13 日（水） 株式会社 Keisei によるインターンシップ準備講座
平成 30 年 6 月 20 日（水） 株式会社 Keisei によるインターンシップ準備講座
平成 30 年 6 月 27 日（水） 株式会社 Keisei によるインターンシップ準備講座
平成 30 年 7 月 11 日（水） 株式会社 Keisei によるエントリーシート対策講座
平成 30 年 10 月 27 日（土）卒業生によるパネルディスカッション
平成 30 年 10 月 31 日（水）株式会社オリジネーターによる就職ガイダンス
平成 30 年 11 月 14 日（水）ハローワーク就職ガイダンス
平成 30 年 12 月 15 日（土）外国人留学生と企業の交流会
平成 31 年 1 月 30 日（水） 株式会社リクルートによる就職ガイダンス
平成 31 年 2 月 1 日（金） Harmony for によるガイダンス
平成 31 年 3 月 29 日（金） 一般社団法人グローバル愛知による企業研究セミナー

(2)参加状況

5/8: 22 名
6/13: 8 名
6/20: 7 名
6/27: 4 名
7/11: 12 名
10/27: 17 名
10/31：25 名
11/14: 18 名
12/15: 愛知県「留学生就職・地域定着促進事業」運営事務局主催(本学元留学生講演)
1/30: 18 名
2/1： 7 名
3/29： 6 名

(3)成果

実際に日本での就職活動を経験した卒業生の話を聞くことにより、キャリアプランニングのヒントとなった。
「インターンシップ講座」では、就職活動開始直前に疑似体験をすることができ、大変有効であった。

(4)課題

日本語能力の更なる向上が必須

(5)シラバス(別紙)

【名城大学】

⑴ 実施科目、イベント

キャリア教育講座（全５回中、合宿１回、フィールドワーク３回実施）
就職活動支援講座（全７回、集中講義形式）

⑵ 参加状況

【キャリア教育講座】
登録者は２１名。ただし、研究活動等の理由により実際の参加者は１７名
（内訳：名城大学９名、岐阜大学３名、南山大学２名、名古屋経済大学３名）
【就職活動支援講座】
登録者は２４名。ただし、研究活動等の理由により実際の参加者は２０名
（内訳：名城大学１２名、岐阜大学５名、南山大学３名）

⑶ 成果

【キャリア教育講座】

・講座開始前に個別相談を行い、日本への就職・関心・不安な点などをヒアリングし、受講者にフォーカスした内容に切替えた。結果、合宿やフィールドワーク、問題解決推進など負担の大きい課題に対してもやり遂げた学生が増え、充実度も高まった。
・合宿では、
① 留学生が日本でよく目に触れる文化（行動様式）について、日本人の基本的価値観の理解を進め、就活や就業の局面でみられる違和感の解消を図った。
② 留学生との個別相談の結果、特に日本の就活に特徴的な「将来像の特定」「自分のやりたいこと」を求められる点に戸惑い、明言できない傾向があった。就活に臨む心構えができていない状況だったため、原因を深堀りし、根本課題となっている「決められない」「自信がない」の解消を進めた。
③ 日本で働く際に、留学生にもっとも不足しているのは日本人との協同経験であり、そこから得られる自信であると捉え、現行アルバイト先での問題を改善する課題を与えた。合宿では進め方や手法のみを説明し、その後の個別相談でフォローした。
・アルバイトでの課題解決発表会では、課題完成度には差があったが、ともかくも自ら一歩踏み出し足跡を残せたことで自信や満足感・充実感が大変高まったとの感想を得た。実際に、合宿時に見られた自信の無さは消え、就職や進学の方向選択に迷いがなく、特に就活希望組は、これ以降迷いや手抜きが全くなく、取組姿勢が見違えるように変化した。

【就職活動支援講座】

・今年度は集中講義の形で土曜日開催した。参加しやすいようにした結果、参加者も前年度よりは増加。
・今年度は 4 月から開講をしたため、前期では、日本での就活の基本知識について学ぶことができた。夏休み期間中のインターンシップへの意識付けもできた。その後、秋の履歴書作成、面接訓練などを経て、学生にとっては余裕を持って日本での就活準備ができるようになった。

【両講座を通して】

・就職活動支援講座は「基礎知識のインプット」、キャリア教育は『実践の場「アウトプットの場」』との点に重点を置いて、進めてきた。学生から、「早く動くことができて良かった」「実際に企業を見ることができてよかった」「企業への見方が分かってよかった」などの感想があった。

⑷ 課題

・企業見学を増やし、学生には企業の現場をもっと多く触れることができるように進めていきたい。また、日本人学生との協同ワークも計画し、留学生に日本人との働き方についてもより理解が深まるような取り組みをしていきたい。

⑸ シラバス（別紙）

② インターンシップ

従来より実施している愛知県庁が実施している留学生インターンシップでは、今年度より対象企業・対象留学生を広げ、コンソーシアム加盟 5 大学より合計 37名の留学生が参加した（昨年度は25名の参加。昨年対比48%増加）。この他、岐阜県庁では新たに留学生を対象としたインターンシップ事業が開始する等、より多くの留学生に対しインターンシップを提供することが出来、最終的に９名の留学生が参加した。

また、コンソーシアムとしての取り組みの具体的事例としては、９月に地元企業と独自開発のインターンシップを実施したところ、コンソーシアムから ８名の参加者があり、これを皮切りに、留学生に特化したインターンシップに関する相談を多数受けたうち、実際に４社のインターンシップを共有した。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施プログラム

愛知県庁、愛知労働局が実施するインターンシップへの事前講座をそれぞれ学内で実施した。また、愛知県庁や愛知労働局がカバーしていない、英語だけでの受入れを可能とした英語学位プログラム学生を主な対象としたインターンシップを（1 週間から 10 日間以上の受入れを前提に）開発することが出来た（受入先：デンソー、天野エンザイム、ホーユー、日立製作所中部支社など）

(2)参加状況

従来の愛知県庁等が実施しているインターンシップに加え、岐阜県庁では新たに留学生を対象としたインターンシップ事業が開始する等、より多くの留学生に対しインターンシップを提供することが出来、最終的に28名の留学生が参加した。

また、インターンシップに参加をし、コンソーシアムポイントを申請した留学生は８名で、愛知県主催の留学生インターンシップに参加をした留学生が４名、その他企業独自のインターンシップに参加した学生が４名であった。

(3)成果

愛知県庁、愛知労働局、大学独自開発型のインターンシップ、それぞれ受入先も参加留学生も増加傾向にある。

(4)課題

就職活動の早期化の影響により、教育的観点から実施するインターンシップには参加せず、選考直結型の説明会形式のインターンシップに（日本人学生同様）留学生も意識が向いている傾向が年々強まっている。また、1 社で10日以上、あるいは１ヶ月程度の受入れを認めるインターンシップ協力企業の開拓に、愛知県庁、愛知労働局、本学も苦戦している。その補完として、企業との協働による課題解決学習と絡めた学内インターンシップを今後は拡大する予定である。

(5)プログラム概要(別紙)

【岐阜大学】

(1)実施プログラム
(2)参加状況
・愛知県主催インターンシップ 1名
・岐阜県主催インターンシップ 7名
・大学独自のインターンシップ 7名

(3)成果
・インターンシップに参加した留学生に個別相談でフォローアップをすることにより、就職活動を効果的に行えるように支援した。

(4)課題
・大学独自の中長期インターンシップ受入れ企業の開拓。

(5)プログラム概要(別紙)

【名古屋工業大学】

(1)実施プログラム及び参加状況（のべ）

公募型インターンシッププログラム	6 名
ジェネラルインターンシッププログラム	0 名
愛知県外国人留学生インターンシップ	7 名
岐阜県外国人留学生県内企業インターンシップ	2 名
自由応募	16 名

(2)成果
インターンシップによる日本企業での就業経験を通じて、日本企業についての理解を深めるとともに、日本でのビジネスマナーやビジネスで使用する日本語について学ぶことができた。

(3)課題
まだ、インターンシップに参加できている留学生の数が限られているので、事前教育等も行い、今後、更に数を伸ばしていきたい。

(4)プログラム概要(別紙)
まだ、インターンシップに参加できている留学生の数が限られているので、事前教育等も行い、今後、更に数を伸ばしていきたい。

【名城大学】

(1)実施プログラム

夏季インターンシップ説明会および報告会（5/10 開催）
春季インターンシップ説明会および報告会（11/8 開催）

(2)参加状況

■インターンシップ報告会参加者数
夏季インターンシップ説明会および報告会（5/10 開催）　　参加者９名
春季インターンシップ説明会および報告会（11/8 開催）　　参加者８名

■インターンシッププログラムへの参加者数
・愛知県政策企画局国際課（愛知県）のインターンシップ（夏季）
参加者９名
・名古屋外国人雇用サービスセンター（厚生労働省）のインターンシップ（春季）
参加者５名
・名城大学のインターンシップ
参加者５名（夏季４名・春季１名）

(3)成果

＜説明会・報告会の開催＞

・2017 年度よりも説明会・報告会への参加者数は、1.7 倍に増加。実際のインターンシップ参加者数も 1.4 倍に増加。関心度が高まり開催の効果が拡大しつつある。

＜実際のインターンシップ参加者の発言＞

インターンシップ説明会・報告会に参加し実際にインターンシップに参加した参加者からは日本企業への就職不安が払拭され、日本企業への就職希望が一層向上する等の好意的な発言が多数あった。具体的な参加者の声は次の通り。

・当初、日本での就職に不安を感じていました。日本企業に入社した際、輪の中に入れるのか、わからないことがあった時に誰が教えてくれるのかについて心配でした。しかし、インターンシップに参加し、不安を解消することができました。
・日本での就職は以前からありましたが、それほど強い希望ではありませんでした。不安や怖さもあります。しかし、インターンシップを通して、先輩から様々なことを教えていただき、社員さんとコミュニケーションをとることもでき、様々な経験を身に着けることができました。日本で就職する気持ちが強くなりました。

(4)課題

・理系学部・研究科に籍を置く留学生は説明会・報告会に参加しないため、インターンシップに参加する学生も少数に留まる。いかに彼らに周知し、説明会・報告会に参加させ、インターンシップへの参加を促進させるかが課題。

(5)プログラム概要(別紙)

③ 公的機関、企業との連携イベント

コンソーシアムを通した産官学の連携を深め、地域の留学生に対して十分な支援ができるよう、コンソーシアム参画大学のみでなく、より多くの近隣大学の学生に対してプログラムの開放を行う。

特に今年度は中部経済連合会加盟企業と留学生との課題解決学習（計 6 回実施）や昨年に引き続き開催した中部経済同友会加盟企業との交流会、岐阜県、岐阜県経営者協会、ＪＥＴＲＯ岐阜と行った岐阜地区ワークショップ、多数の企業見学、工場見学、フィールドワークを開催し、昨年と比較して、公的機関、企業との連携が更に深まった。また、内定者へのフォローアップ研修として行った愛知県社会保険労務士会による労働法規の理解促進を目指した「働くための基礎知識講座」や「相談会」などを新設し、卒業後の日本国内でのキャリア形成をさらに段階的に理解できるプログラムへと体型的に発展させた。

【実施大学：名古屋大学】

(1)実施イベント

① 中部経済連合会との協働ワークショップ
外国人材の雇用に積極的な企業と協働し、企業人と留学生 が企業側の経営課題について、その解決のための方策を協議するワークショップ（PBL 形式の課題解決学習）を 4 回実施し、毎回 10 名～25 名の留学生が参加した。

② 中部経済同友会「意見交換会＆懇親会」
前年度に引き続き企業経営者と留学生の相互理解を目指して実施した中部経済同友会との意見交換会では、企業側そして留学生共に 50 名を超える参加者が集まり、過去最大規模の交流会へと発展した。

③ 外国人留学生と企業の交流会（12月15日）
愛知県主催の留学生と地元企業の交流イベントを名古屋大学法学部アジア法交流館で開催。企業と留学生で約 200 名の参加があり、元留学生による講演会、ワークショップ、懇親会を行い、活発な意見交換が行われた。

④ 愛知県雇用労働セミナー「高度外国人材・留学生活用のための雇用セミナー」
日本企業における外国人材の活用および外国人材の労務管理についての講義を本コンソーシアムの名古屋大学准教授土井と、本コンソーシアム加盟機関の愛知社会保険労務士協会が行った。

⑤ 愛知県社会保険労務士会「働くための基礎知識講座」「何でも相談会」
毎回10～30名の留学生が参加。2月に開催した個別相談も全ての枠が埋まり、日本の労基法の理解促進に繋がった。

(2)参加状況

① 4回実施で毎回10～25名の留学生の参加があった。

② 企業、留学生で54名の参加があった。

③ 企業、留学生で約200名の参加があった。

④ 55社の企業の参加があった。⑤「日本で働く時の基礎知識講座」25名　「社労士相談会」15名

(3)成果

企業との協働ワークショップの参加学生アンケートでも、対象企業の理念や業務内容の理解だけでなく、日本の就労環境に対する理解も得られたことが垣間見れた。企業と留学生の交流会でも活発な意見交換が行われ、留学生の企業理解促進のみでなく、企業の留学生の視点や現状の理解にも繋がった。

「外国人留学生と企業の交流会」に関しては土曜日の開催設定のため、企業、留学生ともに非常に多くの参加者があり、ワークショップ、懇親会ともに非常に積極的な参加姿勢の留学生が多く盛り上がるイベントになった。本コンソーシアム参画、参加大学の留学生のみならず、他大学の留学生の参加もあり、本プログラムの開放に繋がった。

「高度外国人材・留学生活用のための雇用セミナー」では、企業の人事採用担当者の外国人、留学生採用に対するニーズの高さ、喫緊度を再確認する機会となった。参加企業からの質疑も活発に行われ、採用ニーズがあるが、受け皿を実際に企業内に作っていく上でのハードルの高さも改めて感じられた。

(4)課題

留学生が企業と接し交流する機会を創出する中で相互理解を促進できている反面、実際に採用し、活躍に繋がるための企業へのアプローチを更に活性化していく必要がある。

(5)概要・ポスター等(別紙)

【岐阜大学】

(1)実施イベント
(2)参加状況

講座名等	実施日	参加留学生数
岐阜地区ワークショップ（共催：岐阜県、岐阜県経営者協会、JETRO 岐阜、岐阜大学）	10/31	38 名
地元企業との交流会（共催 岐阜信用金庫、朝日大学、岐阜大学）	11/14	73 名
第１７回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会（主催 岐阜地域留学生交流推進協議会）	11/23	27 名
中部経済連合会企業（株式会社安部日鋼工業）×留学生ワークショップ	11/28	10 名
社長懇談会（新日本金属工業株式会社）	1/30	8 名

(3)成果
・留学生と企業の相互理解を深めるために、連携イベントを経験することにより、留学生が企業に対してのイメージ作りが具体的にできるようになった。

(4)課題
・イベント参加者のアンケート結果により、日本語に自信のない留学生が連携イベントの参加を躊躇したり、連携イベントを単発で考え、次に展開することなく終わったりする留学生が見受けられた。そのためイベント開催にあたり、事前に留学生にイベントの趣旨・目的などの丁寧な説明及び終わった後のフォローアップを行う仕組みを作る。

(5)概要・ポスター等(別紙)

【名古屋工業大学】

(1)実施イベント
平成 30 年 6 月 22 日（金）矢橋ホールディングス株式会社・横山ダム見学
平成 30 年 11 月 1 日（木）トヨタ自動車工場見学・名古屋港見学
平成 30 年 12 月 7 日（金）株式会社エヌテック見学

(2)参加状況
6/22: 20 名
11/1: 41 名
12/7: 28 名

(3)成果
日本を代表する企業の方々から直接説明を聞き、日本のものづくり、日本企業と海外の関係の強さを学ぶことができ、大変貴重な機会となった。

(4)課題
今後、見学する企業の業種の幅を広げていきたい。

(5)概要・ポスター等(別紙)

【名城大学】

(1)実施イベント

【ビジネス日本語（実践）第１０回】
社会人ゲスト講師(トヨタファイナンス㈱ 経営企画部)参画 〈7/12,12/13 開催〉
【キャリア教育講座】 フィールドワークや見学会にて企業との連携
イオンモールでの課題遂行 〈6/23 開催〉
東海若手起業塾（ブラザー工業㈱後援）最終選考会見学参加 〈8/18 開催〉
河村電器産業㈱見学 〈9/10 開催〉
【企業見学】
製造業 モリシン工業株式会社 〈11/2 開催〉
宿泊業 水明館 〈11/2 開催〉
サービス業 株式会社マルイケ 〈11/2 開催〉
製造業 株式会社デンソー高棚製作所 〈2/19 開催〉
【シンポジウム】
日本企業で働く意義と心構え(参加企業・団体数４社) 〈12/22 開催〉

(2)参加状況

【ビジネス日本語（実践)】
第１０回 参加者〈7/12〉８名,〈12/13〉６名
【キャリア教育講座】
イオンモールでの課題遂行 参加者１０名
東海若手起業塾（ブラザー工業㈱後援）最終選考会見学参加 参加者 ８名
河村電器産業㈱見学 参加者 ８名
【企業見学】
〈11/2 開催〉モリシン工業㈱・水明館・㈱マルイケ 参加者 ９名
（参加者内訳：名城大学３名、愛知教育大学１名、南山大学１名、愛知大学１名、
東京福祉大学１名、ELIC ﾋﾞｼﾞﾈｽ&公務員専門学校１名、名古屋国際日本語学校１名）
〈2/19 開催〉株式会社デンソー 参加者１２名
（参加者内訳：名城大学３名、名古屋工業大学２名、岐阜大学２名、名古屋市立大学１名、福井大学１名、南山大学１名、愛知大学１名、中部大学１名）
【シンポジウム】日本企業で働く意義と心構え 参加者 １名
（参加者内訳：名城大学１名）

(3)成果

【ビジネス日本語（実践)】

企業人による実際企業活動の中で行っている外国人社員の事例紹介、企業人との対談、質疑応答を通して、普段学んでいるビジネス日本語の実践の場となりました。また、個々が持っている日本企業に対する疑問の解消もできました。

【キャリア教育講座】

フィールドワークでは、社会起業家のプレゼンを組み入れた。社会の中から自分で問題を発見し解決していくプロセスは、課題は与えられるものという認識の中国人留学生には新鮮であり、自らもアルバイトの中でトライしてみたいという動機づくりになった。

9 月 10 日の企業見学では、見学企業で働く留学生の先輩の声を直接聞くことができ、職場環境を目の当たりにすることで、自分事に近づけることができた。

【企業見学 3 社（11/2 開催)】

地元優良企業の製造業、宿泊業、サービス業の３社を見学した。経営者との会談、留学生先輩との交流、インバウンドにおける留学生の活躍の可能性など一日で多くの体験ができた。成果として、第１に、自らのキャリアを考えることの良い機会になったこと、第２に、企業の積極的なＰＲに留学生が日本企業の外国人採用の熱心さを実感したこと、第３に、地方で活躍する多様な業種を紹介することができたことである。

【デンソー高棚製作所企業見学（2/19 開催）】

留学生１２名以外に日本人学生１０名（名城大学８名、南山大学２名）が参加したことにより、企業見学を日本人学生とペアにして、見方や考え方の違いを意識させる取り組みを行った。同一事象に対する感じ方や評価が異なり、互いの違いに気づきが多く、留学生に限らず日本人学生も新たな気づきを感じた。終了後のアンケートでは、留学生からは新しい友との出会いを指摘、日本人学生からは価値観の違い、多様な生き方、有益な情報の教授を指摘する声があった。

【シンポジウム（日本企業で働く意義と心構え　　12/22 開催）】

元留学生のシンポジスト 2 名が大手の企業に籍を置くこともあり、就活に関する本音の発言は、多数の留学生にも聞いて欲しい価値のある内容だった。また留学生を受け入れる企業側の求める留学生像、留学生に期待する発言があり、日本企業への就職を考える留学生にとっては就活の心構えを認識する貴重な機会になった。

(4)課題

・今後も、見学企業の業種を幅広く多様化する必要性がある。製造業に限らず、もっと多くの業種にもアプローチをしていく予定である。
・企業見学の日程調整が一番困難。平日だと授業と重なるため、大学の休日に設定するが、名城大学の留学生のみの参加になってしまい、より多くの大学から参加者を募ることが不可能。
・シンポジウムは留学生の参加が 1 名に留まり、開催時期にも課題はあったが、単純な周知のみでは参加者の集客は困難であることが判明した。また、参加者が単に経験談を聴講する形式よりも、企業とのワークショップ等を取り入れる等の工夫のイベントが必要であることを痛感した。

(5)概要・ポスター等(別紙)

⑤その他

○教育プログラムのポイント制

本事業のプログラムに参加した留学生の質の保証を図るため、教育プログラムをポイント制とし、修了に必要なポイント数を決定。修了者にはコンソーシアム共通の修了証を発行する。具体的なプログラムとしては、日本語教育プログラム、キャリア教育のプログラムやカウンセリング、企業インターンシップや企業連携ワークショップ等を設定し、2 年目の今年度は各大学にてポイント達成者が出て、修了証を発行した。

○ホームページの活用

本事業の情報伝達ツールとしてホームページ（HP）を作成し、設置した。この HP では留学生のための日本語カリキュラムや具体的なキャリア教育科目のシラバスを公開し、さらに関連する就職セミナーの開催通知やインターンシップの公募情報を提供している。地域の留学生やコンソーシアムの関係者との情報共有を図りつつ、本事業の取り組みや内容を他大学や地域への波及させる狙いも本ホームページでは担っている。なお、ホームページ上にマイページを構築しており、各プログラムの申込みや受講状況等を個人で確認できる機能も実装している。

○学生報告会

年に４度、本コンソーシアムの実務委員会や外部評価の場を使って、学生報告会を開催した。各大学より本プログラムに参画した学生が参加し、日本での就職活動についてや教育プログラムについて等をテーマに活動報告を行い、本事業の成果を地域の関係者や企業、さらには今後就職を目指している留学生と共有することを意図して行った。

就職支援プログラムの受講を通じて得られたことや、日本で就職活動をする中で気づいたことなど、留学生ならではの視点での発表が多く行われた。

【名城大学】

■カウンセリング

(1)日程全３０回開催

5/10(木)・5/17(木)・5/24(木)・5/31(木)・6/7(木)・6/14(木)・6/21(木)・6/28(木)・
7/5(木)・7/12(木)・7/19(木)・8/23(木)・8/30(木)・9/6(木)・9/13(木)・9/20(木)・
9/27(木)・10/4(木)・10/11(木)・10/18(木)・10/25(木)・11/8(木)・11/15(木)・
11/22(木)・11/29(木)・12/6(木)・12/13(木)・12/20(木)・12/27(木)・1/10(木)

(2)延べカウンセリング人数　６９人

(3)主な相談内容

１）進路相談　２）自己分析　３）自己 PR の素材　４）自分の強み探し
５）企業の探し方　６）企業分析　７）履歴書添削　８）模擬面接　９）日本語の学習
10）補講

(4)成果

・今期は講座申込者に対して、早期にカウンセリングを呼びかけた。その結果、自らの課題認識ができ、就職促進プログラムについての理解も深まり、その後のプログラムへの参画度も上昇した。
・個々の学生の課題の抽出・早期の対策を実施した結果、不安点の解消とともに就活に対しても自信を持つことができた。

(5)課題

・就職促進プログラムへの申込者をとにかく増やしたい。学生との個別相談を通してプログラムへの巻き込み、継続フォローを可能にしていきたい。
・中華圏の経済力アップにより、中華系留学生の就職意識が相変わらず低下傾向にある。一方、非漢字圏のほかの国（ベトナム、ネパールなど）の留学生が日本で就職する意識が向上している。しかし、日本語の問題や情報不足などの課題があるため、今後個別相談でフォローをしていくことが重要と認識する。

■ 留学生の就職状況

・名城大学留学生の就職状況について、大学院進学者・研究生を除いた留学生全体の実就職率は、2015 年度 50.0%、2016 年度 66.2%、2017 年度 74.5%が 2018 年度は 54.5%に減少。
帰国者数の増加が要員。ただし、留学生就職促進プログラム受講者に限定した場合、卒業・修了生49 名中 17 名が参加。就職 12 名、帰国 4 名、大学院進学 1 名で、実就職率は 75%になる。
留学生就職促進プログラムは 20107 年度後期から開催したが、17 名は留学生就職促進プログラムの一期生である。プログラムの効果を検証する上での今後の指標になるが、次年度以降、より実就職率が向上するよう取り組みたい。

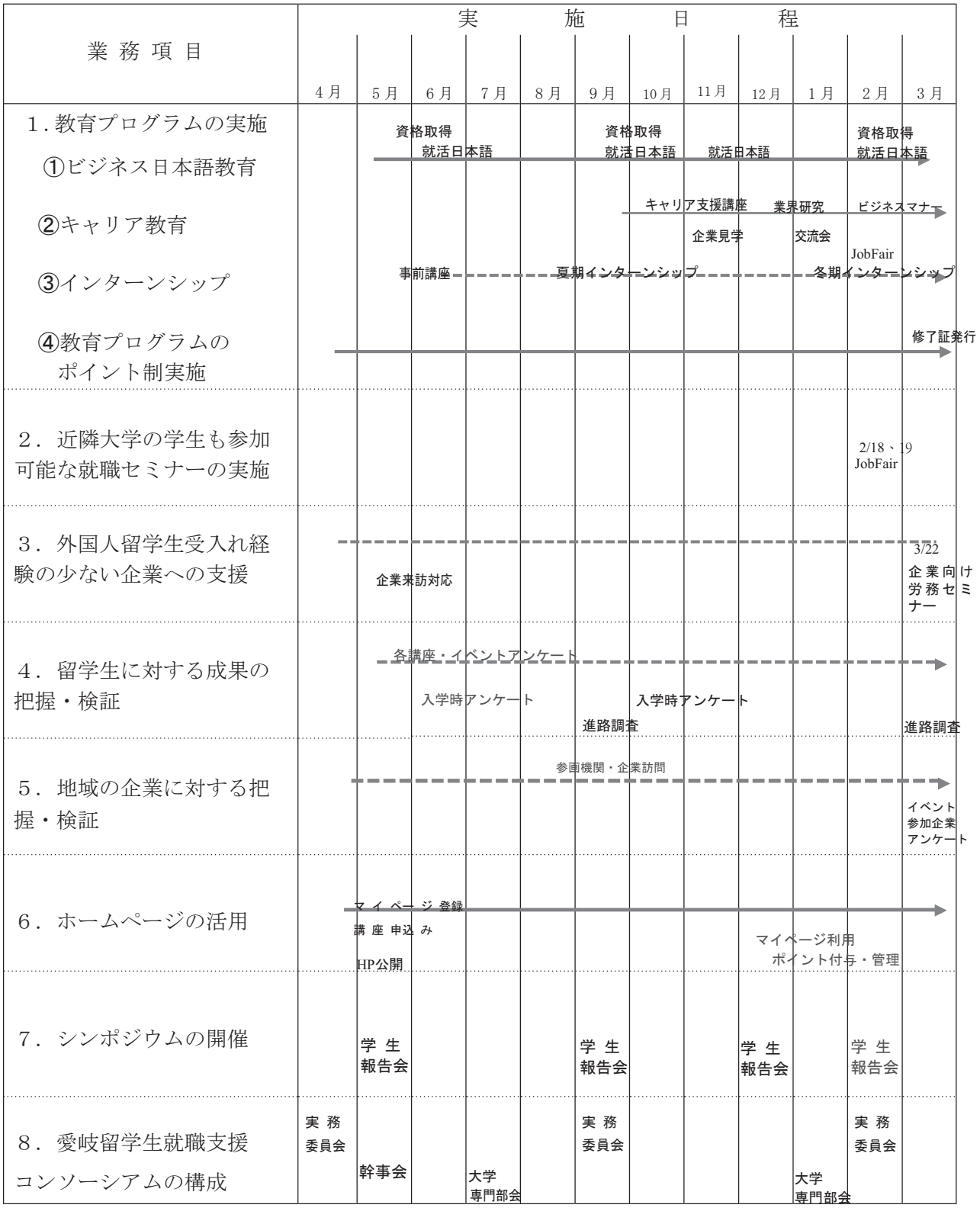
（様式第７－１）

別紙

業 務 結 果 説 明 書

１．業務の実績

(1)業務の実施日程　【名古屋大学】



２．事業実施項目別一覧【岐阜大学】

事業項目（取組）	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
コンソーシアム	4/24①実務委員会 4/11②打合せ	5/8①幹事会 5/29①アドバイザーと打合せ 5/16②打合せ	6/20②打合せ	7/17①大学専門部会 7/25②打合せ		9/26 ①実務委員会 9/26②打合せ		11/29 ①外部評価委員会		1/22 ①大学専門部会 1/11①アドバイザーと打合せ	2/28 ①実務委員会	
ビジネス日本語教育	前期 日本語資格用講座 1、2 前期 キャリア日本語講座 1,2						後期 日本語資格用講座 1、2 後期 キャリア日本語講座 1、2					
キャリア教育	4/18, 4/25, 5/9, 5/23 デザイン思考序論 5/30, 6/6, 6/20, 7/4 デザイン思考序論			7/4 就職活動支援ガイダンス 7/18, 10/10, 10/17, 10/24, 11/7 就職活動支援コース 7 月～2 月 個別カウンセリング			10/31 岐阜地区ワークショップ 10/27, 10/28 Advanced Workshop Design		11/21 ＡＧＰ特別講義 12/19, 12/26, 1/16, 1/23, 1/30 実践型ビジネススキルトレーニング 2/16, 2/17 Design Thinking Training Workshops			
インターンシップ					8 月～９月 愛知県/岐阜県主催インターンシップ							
公的機関、企業との連携イベント								11/14 地元企業との交流会 11/23 日本語弁論大会 11/28 中経連×留学生ワークショップ			1/30 社長懇談会	

コンソーシアムの①はコンソーシアム全体、②は岐阜県内機関の打合せを示す。

２．事業実施項目別一覧【名古屋工業大学】

事業項目(取組)	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
コンソーシアム		7/17 第１回 大学専門部会		9/26 第２回 実務委員会				1/22 第２回 大学専門部会	2/28 第３回 実務委員会	
ビジネス日本語教育				→ 下旬 資格 取得	→ 下旬 ビジネス 日本語	→ 中旬 資格 取得	→	→	→	
キャリア教育	インターンシップ準備講座	エントリーシート対策講座			卒業生によるパネルディスカッション、就職ガイダンス	就職ガイダンス	企業との交流会	就職ガイダンス	ガイダンス	企業研究セミナー
インターンシップ		→ インターンシップ	→							
公的機関、企業との連携イベント	6/22 矢橋ホールディング等見学					11/1 トヨタ自動車等見学	12/7 株式会社エヌテック見学			

２．事業実施項目別一覧

事業項目(取組)		５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月
ビジネス日本語		基礎 5/10～9/27 木曜日 13:10～14:40 実践 5/10～9/27 木曜日 16:30～18:00				13 回講座 13 回講座	実践 10/4～1/10 木曜日 13:10～14:40				13 回講座
キャリア教育	ｷｬﾘｱ教育講座		6/23 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ(イオンハ事)	7/7 ～7/8 合宿(奥三河総合ｾﾝﾀｰ)	8/18 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ(ﾌﾞﾗｻﾞ―ﾐｭｰｼﾞｱﾑ)	9/10 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ(河村電器産業(株))		11/8 課題発表会			
	就職活動支援講座	4/26 ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	6/9 自己分析 6/30 企業分析	7/21 応募書類		9/22 面接訓練 ﾋﾞｼﾞﾈｽﾏﾅｰ	10/20 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ	11/24 専攻内容説明	12/15 集団面接 個人面接		
インターンシップ		5/10 夏季募集説明会および報告会						11/8 春季募集説明会および報告会			
公的機関、企業との連携イベント								11/2 企業見学 ﾓﾘｼﾝ工業㈱ 水明館 ㈱ﾏﾙｲｹ	12/22 ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ 日本企業で働く意義と心構え		2/19 企業見学 ㈱ﾃﾞﾝｿｰ高棚製作所
カウンセリング				5/10～1/10 木曜日 (10:00～13：00) 30 回実施							

2018 年度実施状況報告　資料 3　別紙資料一覧

①ビジネス日本語教育
・名古屋大学　1
・岐阜大学　18
・名古屋工業大学　26
・名城大学　62

②キャリア教育
・名古屋大学　64
・岐阜大学　80
・名古屋工業大学　95
・名城大学　104

③インターンシップ
・岐阜大学　112
・名古屋工業大学　113
・名城大学　119

④公的機関、企業との連携イベント
・名古屋大学　121
・岐阜大学　135
・名古屋工業大学　140
・名城大学　148

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ１対策」

開講日時：５月 18 日、25 日、６月１日、８日、15 日、22 日、29 日 （全７回）

金曜日 ６時間目（18 時 15 分～19 時 45 分）

場所：名古屋大学　国際棟（国際言語センター）308 教室

担当：宗林 由佳　syuka915@yahoo.co.jp

授業の目的：① 日本語能力試験 N1 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。

② 合格に求められる知識(文法･語彙･漢字等)と技能(読む･聞く技能)を身につける。

授業内容

第１回（５月 18 日）　オリエンテーション（試験の形式と内容について）
練習問題①（聴解・文法）と解説
やってみよう①（文字・語彙）

第２回（５月 25 日）　練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう②（文字・語彙）

第３回（６月１日）　練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう③（文字・語彙）

第４回（６月８日）　練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう④（文字・語彙）

第５回（６月 15 日）　練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑤（文字・語彙）

第６回（６月 22 日）　練習問題⑥（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑥（文字・語彙）

第７回（６月 29 日）　練習問題⑦（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑦（文字・語彙）

＊受講上の注意

授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ２対策」

開講日時：５月 14 日、28 日、６月４日、11 日、18 日、25 日（全７回）
月曜日　６時間目（18 時 15 分～19 時 45 分）
場所：名古屋大学　国際棟（国際教育交流センター）308 教室

担当：宗林（そうりん）　由佳（ゆか）　syuka915@yahoo.co.jp

授業の目的：　① 日本語能力試験 N2 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。
② 合格に求められる知識（文法・語彙・漢字等）と技能（読む・聞く技能）を身につける。

授業内容

第１回　オリエンテーション（試験の形式と内容について）
練習問題①（聴解・文法）と解説
やってみよう①（文字・語彙）

第２回　練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう②（文字・語彙）

第３回　練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう③（文字・語彙）

第４回　練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう④（文字・語彙）

第５回　練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑤（文字・語彙）

第６回　練習問題⑥（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑥（文字・語彙）

第７回　練習問題⑦（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑦（文字・語彙）

＊受講上の注意
授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ３対策」

開講日時：５月 18 日、25 日、６月１日、８日、15 日、22 日、29 日 （全７回）

金曜日 ６時間目（18 時 15 分～19 時 45 分）

場所：名古屋大学　国際棟（国際言語センター）201 教室

担当：服部　淳　atshattori@gmail.com

授業の目的：① 日本語能力試験 N3 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。

② 合格に求められる知識（文法・語彙・漢字等）と技能（読む・聞く技能）を身につける。

授業内容

第１回	オリエンテーション（試験の形式と内容について）
（５月 18 日）	模擬試験
第２回	模擬試験解説
（５月 25 日）	練習問題①（聴解・文法・読解）と解説
第３回	練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
（６月１日）	やってみよう①（文字・語彙）
第４回	練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
（６月８日）	やってみよう②（文字・語彙）
第５回	練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
（６月 15 日）	やってみよう③（文字・語彙）
第６回	練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
（６月 22 日）	やってみよう④（文字・語彙）
第７回	練習問題⑥（聴解・文法・読解）と解説
（６月 29 日）	やってみよう⑤（文字・語彙）

＊受講上の注意

授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">就活準備日本語講座（基礎）</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">加藤　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">「日本の企業で働く」準備のための基礎講座。履歴書やエントリーシート、面接やグループディスカッションなどの実践を通して、日本語で適切に発信するための基本的なスキルを磨く。
なお、ビジネス用語や敬語などの日本語だけでなく、基本的なビジネスマナー、信頼される所作、日本の企業文化などについても学ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">講座スケジュール
（全８回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>5月26日　8：45～10：15</td><td>オリエンテーション
日本の就職活動についての情報／自己点検</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>自己紹介の仕方
自分を知る／自分を表現する／敬語／マナー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>6月2日　8：45～10：15</td><td>履歴書・エントリーシートの実践（１）
エントリーシート・履歴書の準備</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>履歴書・エントリーシートの実践（２）
エントリーシート・履歴書の作成／添削</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>6月9日　8：45～10：15</td><td>仕事の日本語（１）
問い合わせ（電話のかけ方／メールの書き方）</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>仕事の日本語（２）
面接／会社訪問（マナー、服装、所作）＋敬語</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>6月16日　8：45～10：15</td><td>仕事の日本語（３）
働く場面の日本語（ホウレンソウ／ウチソト）</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>模擬練習
面接の基礎／グループディスカッションの基礎</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">このコースは全て日本語で行われる（日本語能力試験（JLPT）N2程度以上が目安）。</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 308教室（Internatrional Center, Room308）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">50名</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本での就職を目指す全留学生</td></tr>
</table>

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">就活準備日本語講座（実践）</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">加藤　淳</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">就職活動やインターンシップ参加にも配慮した、より実践的な活動を通して就職活動に必要な日本語の習得を目指す。個々人のキャリアパスを見据えてエントリーシートを書く練習や、職種・業種・企業分析の方法を学び、具体的な進路を描けるようにする。また、企業説明会や就職セミナーなど、学内外で実施されるイベントに参加できる日本語力及びコミュニケーション力も養う。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">講座スケジュール
（全８回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>6月23日　8：45～10：15</td><td>オリエンテーション／自己分析（１）
自己分析の実際：キャリアパスを考える</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>自己分析（２）
自己分析の実際：キャリアデザインを描く</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>6月30日　8：45～10：15</td><td>企業分析（１）
企業分析の必要性と進め方／業界研究・職種研究</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>企業分析（２）
企業分析の実践／企業説明会で質問をしてみよう</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>7月7日　8：45～10：15</td><td>応募書類準備（１）
エントリーシート、履歴書の作成</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>応募書類準備（２）
エントリーシート、履歴書の作成</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>7月14日　8：45～10：15</td><td>マナー研修（１）
面接（個人面接・集団面接）模擬練習</td></tr>
<tr><td>10：30～12：00</td><td>マナー研修（２）
グループディスカッション模擬練習</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">このコースは全て日本語で行われる（日本語能力試験（JLPT）N2程度以上が目安）。</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">な　し</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3">名古屋大学国際棟 308教室（Internatrional Center, Room308）</td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">50名</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本での就職を目指す全留学生
※就活準備日本語講座（基礎）からの継続受講が望ましい。</td></tr>
</table>

留学生就職促進プログラム

「日本語能力試験Ｎ１対策」

開講日時：９月 19 日、９月 20 日、９月 21 日、９月 25 日、９月 26 日、９月 28 日＊
（全７回）＊9 月 28 日（1･2 時限）
１時限　8 時 45 分～10 時 15 分

場所：名古屋大学　国際棟（国際言語センター）

担当：宗林（そうりん）　由佳（ゆか）　syuka915@yahoo.co.jp

授業の目的：① 日本語能力試験 N1 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。
② 合格に求められる知識（文法・語彙・漢字等）と技能（読む・聞く技能）を身につける。

〈授業内容〉

第１回	オリエンテーション（試験の形式と内容について）
（9 月 19 日）	練習問題①（聴解・文法）と解説
	やってみよう①（文字・語彙）
第２回	練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
（9 月 20 日）	やってみよう②（文字・語彙）
第３回	練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
（9 月 21 日）	やってみよう③（文字・語彙）
第４回	練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
（9 月 25 日）	やってみよう④（文字・語彙）
第５回	練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
（9 月 26 日）	やってみよう⑤（文字・語彙）
第６回	模擬試験
（9 月 28 日１時限）	
第７回	模擬試験の解説
（9 月 28 日２時限）	

＊受講上の注意
授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

JLPT N5・N4 Preparation Courses （日本語 能力 試験 N5･N4 対策 コース）

日時 ：９月 10 日、11 日、12 日、13 日、14 日、18 日（全 7 回）

1 時限目（8 時 45 分～10 時 15 分） 18 日のみ 1・2 時限目（8 時 45 分～12 時）

場所 ：名古屋大学 国際棟 （International Center）

教員 ： 服部 淳 atshattori@gmail.com

授業 内容

第 1回（9月 10 日） オリエンテーション（試験 の 形式 と 内容 について）

N5 模擬 試験 ① と 試験 解説

第2回(9 月 11 日） N5 模擬 試験 ② と 試験 解説

第3回(9 月 12 日） N5 文法 ① (Grammar) と 語彙 ① (Vocabulary) の 説明

練習 問題 ①〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕 の 解説

第4回(9 月 13 日） N５文法 ② (Grammar) と 語彙 ② (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ①〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

第5回(9 月 14 日） N５文法 ③ (Grammar) と 語彙 ③ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ②〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

第6回(9 月 18 日） N４文法 ① (Grammar) と 語彙 ④ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ③〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

第7回(9 月 18 日） N４文法 ② (Grammar) と 語彙 ⑤ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ④〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar）・聴 解 (Listening)〕の 解説

JLPT N4 Preparation Courses （日本語 能力 試験 N4 対策 コース）

日時 ：9 月 19 日、20 日、21 日、26 日、27 日、28 日（全 7 回）

2 時限目（10 時 30 分～12 時） 28 日のみ 1・2 時限目（8 時 45 分～12 時）

場所 ：名古屋大学 国際棟 （International Center）

教員 ： 服部 淳 atshattori@gmail.com

授業 内容

第 1回 (9月 19 日） オリエンテーション（試験 の 形式 と 内容 について）

N4 文法 ①② (Grammar) と 語彙 ①② (Vocabulary) の 説明

第2回(9 月 20 日） N4 文法 ③ (Grammar) と 語彙 ③ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ①〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar)・聴 解 (Listening)〕の 解説

第3回(9 月 21 日） N4 文法 ④ (Grammar) と 語彙 ④ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ②〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar)・聴 解 (Listening)〕の 解説

第4回(9 月 26 日） N４文法 ⑤ (Grammar) と 語彙 ⑤ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ③〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar)・聴 解 (Listening)〕の 解説

第5回(9 月 27 日） N４文法 ⑥ (Grammar) と 語彙 ⑥ (Vocabulary) の 説明

課題 問題 ④〔語彙 (Vocabulary)・文法（Grammar)・聴 解 (Listening)〕の 解説

第6回(9 月 28 日） 模擬 試験

第7回(9 月 28 日） 模擬 試験 の 解説

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ１対策」

開講日時：10 月 12 日、19 日、26 日、11 月２日、９日、16 日、30 日 （全７回）

金曜日 ６時間目（18 時 15 分～19 時 45 分）

場所：名古屋大学　国際棟（国際言語センター）308 教室

担当：宗林 由佳　syuka915@yahoo.co.jp

授業の目的：① 日本語能力試験 N1 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。

② 合格に求められる知識(文法･語彙･漢字等)と技能(読む･聞く技能)を身につける。

授業内容

第１回 オリエンテーション（試験の形式と内容について）
(10 月 12 日) 練習問題①（聴解・文法）と解説
やってみよう①（文字・語彙）

第２回 練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
(10 月 19 日) やってみよう②（文字・語彙）

第３回 練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
(10 月 26 日) やってみよう③（文字・語彙）

第４回 練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
(11 月 2 日) やってみよう④（文字・語彙）

第５回 練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
(11 月 9 日) やってみよう⑤（文字・語彙）

第６回 練習問題⑥（聴解・文法・読解）と解説
(11 月 16 日) やってみよう⑥（文字・語彙）

第７回 練習問題⑦（聴解・文法・読解）と解説
(11 月 30 日) やってみよう⑦（文字・語彙）

＊受講上の注意

授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ２対策」

開講日時：10 月 15 日、22 日、29 日、11 月５日、12 日、19 日、26 日
（全７回）
月曜日　６時間目（18 時 15 分～19 時 45 分）

場所：名古屋大学　国際棟（国際教育交流センター）308 教室

担当：宗林（そうりん）　由佳（ゆか）　syuka915@yahoo.co.jp

授業の目的：　① 日本語能力試験 N2 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。
② 合格に求められる知識（文法・語彙・漢字等）と技能（読む・聞く技能）を身につける。

授業内容

第１回　オリエンテーション（試験の形式と内容について）
練習問題①（聴解・文法）と解説
やってみよう①（文字・語彙）

第２回　練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう②（文字・語彙）

第３回　練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう③（文字・語彙）

第４回　練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう④（文字・語彙）

第５回　練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑤（文字・語彙）

第６回　練習問題⑥（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑥（文字・語彙）

第７回　練習問題⑦（聴解・文法・読解）と解説
やってみよう⑦（文字・語彙）

＊受講上の注意
授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ３対策」

開講(かいこう)日時：10 月 12 日、19 日、26 日、11 月２日、９日、16 日、30 日 （全７回）

金曜日 ６時間目（18 時 15 分～19 時 45 分）

場所：名古屋大学　国際棟（国際言語センター）201 教室

担当：服部(はっとり)　淳(あつし)　atshattori@gmail.com

授業の目的：① 日本語能力試験 N3 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。

② 合格に求められる知識(文法･語彙･漢字等)と技能(読む･聞く技能)を身につける。

授業内容

第１回	オリエンテーション（試験の形式と内容について）
(10 月 12 日)	模擬(もぎ)試験
第２回	模擬試験解説
(10 月 19 日)	練習問題①（聴解・文法・読解）と解説
第３回	練習問題②（聴解・文法・読解）と解説
(10 月 26 日)	やってみよう①（文字・語彙）
第４回	練習問題③（聴解・文法・読解）と解説
(11 月２日)	やってみよう②（文字・語彙）
第５回	練習問題④（聴解・文法・読解）と解説
(11 月９日)	やってみよう③（文字・語彙）
第６回	練習問題⑤（聴解・文法・読解）と解説
(11 月 16 日)	やってみよう④（文字・語彙）
第７回	練習問題⑥（聴解・文法・読解）と解説
(11 月 30 日)	やってみよう⑤（文字・語彙）

＊受講上の注意

授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

案）2018 年秋　就活準備日本語講座（基礎／実践）スケジュール　　加藤淳

基礎：2018 年 10 月 13 日、20 日、27 日、11 月 10 日　１日２回×４週（計８回）

回	実施日	時　間	項　目	内　容
1	10／13	8：45 ～10： 15	オリエンテーション	日本の就職活動についての情報 自己点検
2		10：30 ～12： 00	自己紹介の仕方	自分を知る／自分を表現する 敬語／マナー
3	10／20	8：45 ～10： 15	履歴書・エントリーシートの実践 （１）	エントリーシート・履歴書の準備
4		10：30 ～12： 00	履歴書・エントリーシートの実践 （２）	エントリーシート・履歴書の作成
5	10／27	8：45 ～10： 15	仕事の日本語（１）	問い合わせ 電話のかけ方／メールの書き方
6		10：30 ～12： 00	仕事の日本語（２）	面接／会社訪問 （マナー、服装、所作）＋敬語
7	11／10	8：45 ～10： 15	仕事の日本語（３）	働く場面の日本語 （ホウレンソウ／ウチソト）
8		10：30 ～12： 00	模擬練習	面接の基礎 グループディスカッションの基礎

実践：2018 年 11 月 17 日、24 日、12 月 1 日、8 日　１日２回×４週（計８回）

回	実施日	時　間	項　目	内　容
1	11／17	8：45～ 10：15	オリエンテーション ／自己分析（１）	自己分析の実際：キャリアパスを考える
2		10：30～ 12：00	自己分析（２）	自己分析の実際：キャリアデザインを描く
3	11／24	8：45～ 10：15	企業分析（１）	企業分析の必要性と進め方 業界研究、職種研究の視点からの分析
4		10：30～ 12：00	企業分析（２）	企業分析の実践 企業説明会で質問をする
5	12／１	8：45～ 10：15	応募書類準備（１）	エントリーシート、履歴書の作成
6		10：30～ 12：00	応募書類準備（２）	エントリーシート、履歴書の作成
7	12／８	8：45～ 10：15	マナー研修（１）	面接（個人面接・集団面接）模擬練習
8		10：30～ 12：00	マナー研修（２）	グループディスカッション模擬練習

留学生就職促進プログラム「日本語能力試験Ｎ１対策」

開講日時：３月 22 日（金）、25 日（月）、26 日（火）、27 日（水）、
３月 28 日（木）、＊29 日（金）（1 限、２限）　（全７回）
１時限目（8 時 45 分～10 時 15 分）

場所：名古屋大学　国際棟（国際言語センター）207 教室

担当：宗林 由佳　syuka915@yahoo.co.jp

授業の目的：① 日本語能力試験 N1 の問題形式を知り、出題傾向をつかむ。
② N1 レベルで求められる知識（文法・語彙・漢字等）と技能（読む・聞く技能）について理解し、合格にむけての基礎的な知識を身につける。

授業内容

第１回	オリエンテーション（試験の形式と内容について）
（3 月 22 日）	文法理解①と練習①、語彙練習１
	やってみよう①（文字・語彙）
第２回	文法理解②と練習②、語彙練習２
（3 月 25 日）	やってみよう②（文字・語彙）
第３回	文法理解③と練習③、語彙練習３
（3 月 26 日）	やってみよう③（文字・語彙）
第４回	文法理解④と練習④、語彙練習４
（3 月 27 日）	やってみよう④（文字・語彙）
第５回	文法理解⑤と練習⑤、語彙練習５
（3 月 28 日）	やってみよう⑤（文字・語彙）
第 6 回	文法理解⑥と練習⑥、語彙練習６
（3 月 29 日）	やってみよう⑥（文字・語彙）
第７回	理解確認テストと解説
（3 月 29 日）	

＊受講上の注意
授業では毎回課題が出されるので、次の授業までに必ず課題をしておくこと。

JLPTN5 Preparation Courses （日本語 能力 試験 N5 対策 コース）

日時 ：2 月 12 日、13 日、14 日、15 日（全 4 回）

1 、2 時限目（8 時 45 分～10 時 15 分、10 時 30 分～12 時）
15 日は 1 時限目のみ

場所 ：名古屋大学 国際棟 （International Center） ３０８

教員 ： 服部 淳 atshattori@gmail.com

授業 内容

第 1回（2 月12日） オリエンテーション（試験 の 形式 と 内容 について）

N5 文法 ① （Grammar） の 説明

練習 問題 ①〔文法（Grammar）・聴 解 （Listening）・語彙 （Vocabulary）〕 の 解説

第2回（2 月13 日） N5 文法 ② （Grammar） の 説明

練習 問題 ②〔文法（Grammar）・聴 解 （Listening）・語彙 （Vocabulary）〕 の 解説

第3回（2 月 14 日） N5 文法 ③ （Grammar） の 説明

練習 問題 ③〔文法（Grammar）・聴 解 （Listening）・語彙 （Vocabulary）〕 の 解説

第4回（2 月 15 日） N5 文法 ④ （Grammar） の 説明

課題 問題 ④〔文法（Grammar）・聴 解 （Listening）・語彙 （Vocabulary）〕 の 解説

JLPTN5・N4 Preparation Courses （日本語 能力 試験 N5･N4 対策 コース）

日時 ：2 月 15 日、18 日、19 日、20 日（全 ４ 回 ）

1 、2 時限目（8 時 45 分～10 時 15 分、10 時 30 分～12 時）
15 日は２時限目のみ

場所 ：名古屋大学 国際棟 （International Center） ３０８

教員 ： 服部 淳 atshattori@gmail.com

授業 内容

第 1回（2 月15 日） オリエンテーション（試験 の 形式 と 内容 について）

模擬 試験 （文法 ・読解 ）と 解説

第2回（2 月18 日） 模擬 試験 （文字 ・語彙 ・聴 解 ）と 解説

N4 文法 ① （Grammar） の 説明

練習 問題 ①〔文法（Grammar）・聴 解 （Listening）・語彙 （Vocabulary）〕の 解説

第3回（2 月 19 日） N4 文法 ② （Grammar） の 説明

練習 問題 ②〔文法（Grammar）・聴 解 （Listening）・語彙 （Vocabulary）〕の 解説

第4回（2 月 20 日） N5 文法 ③ （Grammar） の 説明

課題 問題 ③〔文法（Grammar）・聴 解 （Listening）・語彙 （Vocabulary）〕の 解説

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

<table>
<tr><td>講座タイトル</td><td colspan="3">ビジネスコミュニケーションのための日本語</td></tr>
<tr><td>教員</td><td colspan="3">品田　潤子</td></tr>
<tr><td>講義概要</td><td colspan="3">ビジネスの場では、多様な背景をもつ人々と協力し合って課題を解決する能力が求められる。このコースでは、「ケース学習」の手法を使い、
職場で実際に生じたトラブルケースを二つ取り上げ、話し合いによる課題解決のプロセスを経験する。その経験を通して、ビジネスを円滑に　遂行できる日本語力をつけることを目指す。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">講座スケジュール
（全6回）</td><td></td><td>日時</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>1</td><td>2月12日　　8:45～10：15</td><td>ビジネスコミュニケーションに必要な日本語力とは何か
自己の日本語力の課題分析と改善目標の設定</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2月12日　10：30～12：00</td><td>「ケース学習」　（1）
・手法の理解
・CASE 01の実践　（各自ケースを理解→グループ討論）</td></tr>
<tr><td>3</td><td>2月12日　　13：00～14：30</td><td>「ケース学習」(2)
・CASE 01の実践　（解決案に基づくロールプレイ）
・CASE 01の実践　（実施レポート（振り返り）の作成）</td></tr>
<tr><td>4</td><td>2月13日　　8:45～10：15</td><td>「ケース学習」(3)
・レポートに関するフィードバック
・CASE 02の実践　（各自ケースを理解→グループ討論）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>2月13日　10：30～12：00</td><td>「ケース学習」（4）
・CASE 02の実践　（解決案に基づくロールプレイ）
・CASE 02の実践　（実施レポート（振り返り）の作成）</td></tr>
<tr><td>6</td><td>2月13日　　13：00～14：30</td><td>改善目標の達成度チェック</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="3">２日間の集中講義ですので、全講義の出席を原則とします。</td></tr>
<tr><td>申込期限</td><td colspan="3">2019/2/0</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>定　員</td><td colspan="3">20～25名（30名）</td></tr>
<tr><td>対　象</td><td colspan="3">日本での就職を目指す留学生（Ｇ３０学部生・大学院生／全学大学院生）</td></tr>
</table>

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	日本語資格用講座1 JLPT N4　Preparation Courses		
教員	野原美和子		
講義概要	日本語能力試験N4レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。 This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N4 level Japanese language skills.		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	4月12日　13：00～14：30	N4文法①
	2	4月19日　13：00～14：30	N4文法②
	3	4月26日　13：00～14：30	N4文法③
	4	5月10日　13：00～14：30	N4文法④
	5	5月17日　13：00～14：30	N4文法⑤
	6	5月24日　13：00～14：30	N4文法⑥
	7	5月31日　13：00～14：30	N4文法⑦
	8	6月7日　13：00～14：30	N4文法⑧
	9	6月14日　13：00～14：30	N4文法⑨
	10	6月21日　13：00～14：30	N4文法⑩
	11	6月28日　13：00～14：30	N4文法⑪
	12	7月5日　13：00～14：30	N4文法⑫
	13	7月12日　13：00～14：30	N4文法⑬
	14	7月19日　13：00～14：30	N4文法⑭
会　場	全学共通教育棟第1語学演習室（University-wide Core Curriculum Building Language Seminor room		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合もあります。 （Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）		
対　象	日本語能力試験N4の取得を目指す全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	日本語資格用講座2 JLPT N2　Preparation Courses		
教員	秋山容子		
講義概要	日本語能力試験N2レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。 This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N2 level Japanese language skills.		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	4月13日　13：00～14：30	N2文法①
	2	4月20日　13：00～14：30	N2文法②
	3	4月27日　13：00～14：30	N2文法③
	4	5月11日　13：00～14：30	N2文法④
	5	5月18日　13：00～14：30	N2文法⑤
	6	5月25日　13：00～14：30	N2文法⑥
	7	6月1日　13：00～14：30	N2文法⑦
	8	6月8日　13：00～14：30	N2文法⑧
	9	6月15日　13：00～14：30	N2文法⑨
	10	6月22日　13：00～14：30	N2文法⑩
	11	6月29日　13：00～14：30	N2文法⑪
	12	7月6日　13：00～14：30	N2文法⑫
	13	7月13日　13：00～14：30	N2文法⑬
	14	7月20日　13：00～14：30	N2文法⑭
会　場	全学共通教育棟第2語学演習室（University-wide Core Curriculum Building Language Seminor room		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合もあります。 （Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）		
対　象	日本語能力試験N2の取得を目指す全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	キャリア日本語講座1 Career Japanese Course 1		
教員	田辺淳子		
講義概要	日本語口頭表現スキルを身につけることを目標とした内容です。		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	4月12日　10：30～12：00	口頭表現①
	2	4月19日　10：30～12：00	口頭表現②
	3	4月26日　10：30～12：00	口頭表現③
	4	5月10日　10：30～12：00	口頭表現④
	5	5月17日　10：30～12：00	口頭表現⑤
	6	5月24日　10：30～12：00	口頭表現⑥
	7	5月31日　10：30～12：00	口頭表現⑦
	8	6月7日　10：30～12：00	口頭表現⑧
	9	6月14日　10：30～12：00	口頭表現⑨
	10	6月21日　10：30～12：00	口頭表現⑩
	11	6月28日　10：30～12：00	口頭表現⑪
	12	7月5日　10：30～12：00	口頭表現⑫
	13	7月12日　10：30～12：00	口頭表現⑬
	14	7月19日　10：30～12：00	口頭表現⑭
会　場	全学共通教育棟第1セミナー室		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合があります。		
対　象	全留学生（日本語能力試験Ｎ１相当レベル）		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	キャリア日本語講座2 Career Japanese Course 2		
教員	石井由美		
講義概要	日本語文章理解スキルを身につけることを目標とした内容です。		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	4月17日　10：30～12：00	文章理解①
	2	4月24日　10：30～12：00	文章理解②
	3	5月8日　10：30～12：00	文章理解③
	4	5月15日　10：30～12：00	文章理解④
	5	5月22日　10：30～12：00	文章理解⑤
	6	5月29日　10：30～12：00	文章理解⑥
	7	6月5日　10：30～12：00	文章理解⑦
	8	6月12日　10：30～12：00	文章理解⑧
	9	6月19日　10：30～12：00	文章理解⑨
	10	6月26日　10：30～12：00	文章理解⑩
	11	7月3日　10：30～12：00	文章理解⑪
	12	7月10日　10：30～12：00	文章理解⑫
	13	7月17日　10：30～12：00	文章理解⑬
	14	7月24日　10：30～12：00	文章理解⑭
会　場	全学共通教育棟第1セミナー室		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合があります。		
対　象	全留学生（日本語能力試験Ｎ１相当レベル）		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	日本語資格用講座1 JLPT N4　Preparation Courses		
教員	野原美和子		
講義概要	日本語能力試験N4レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。 This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N4 level Japanese language skills.		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	10月15日　10：30～12：00	N4文法①
	2	10月22日　10：30～12：00	N4文法②
	3	10月29日　10：30～12：00	N4文法③
	4	11月5日　10：30～12：00	N4文法④
	5	11月12日　10：30～12：00	N4文法⑤
	6	11月19日　10：30～12：00	N4文法⑥
	7	11月26日　10：30～12：00	N4文法⑦
	8	12月3日　10：30～12：00	N4文法⑧
	9	12月10日　10：30～12：00	N4文法⑨
	10	12月17日　10：30～12：00	N4文法⑩
	11	1月7日　10：30～12：00	N4文法⑪
	12	1月21日　10：30～12：00	N4文法⑫
	13	1月28日　10：30～12：00	N4文法⑬
	14	2月4日　10：30～12：00	N4文法⑭
会　場	全学共通教育棟第1語学演習室（University-wide Core Curriculum Building Language Seminor room 1）		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合もあります。 （Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）		
対　象	日本語能力試験N4の取得を目指す全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	日本語資格用講座2 JLPT N2　Preparation Courses		
教員	富田久仁子		
講義概要	日本語能力試験N2レベルの日本語スキルを身につけることを目標とした内容です。 This course is for international students who aim at obtaining JLPT (Japanese-Language Proficiency Test) N2 level Japanese language skills.		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	10月12日　10：30～12：00	N2文法①
	2	10月19日　10：30～12：00	N2文法②
	3	11月2日　10：30～12：00	N2文法③
	4	11月9日　10：30～12：00	N2文法④
	5	11月16日　10：30～12：00	N2文法⑤
	6	11月30日　10：30～12：00	N2文法⑥
	7	12月7日　10：30～12：00	N2文法⑦
	8	12月14日　10：30～12：00	N2文法⑧
	9	12月21日　10：30～12：00	N2文法⑨
	10	1月11日　10：30～12：00	N2文法⑩
	11	1月16日　10：30～12：00	N2文法⑪
	12	1月25日　10：30～12：00	N2文法⑫
	13	2月1日　10：30～12：00	N2文法⑬
	14	2月5日　10：30～12：00	N2文法⑭
会　場	全学共通教育棟第2語学演習室（University-wide Core Curriculum Building Language Seminor room 2）		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合もあります。 （Please note that there may be the case that your course enrollment is not permitted because of the class capacity.）		
対　象	日本語能力試験N2の取得を目指す全留学生		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	キャリア日本語講座1 Career Japanese Course 1		
教員	田辺淳子		
講義概要	日本語口頭表現スキルを身につけることを目標とした内容です。		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	10月11日　8：45～10：15	口頭表現①
	2	10月18日　8：45～10：15	口頭表現②
	3	11月1日　8：45～10：15	口頭表現③
	4	11月8日　8：45～10：15	口頭表現④
	5	11月15日　8：45～10：15	口頭表現⑤
	6	11月22日　8：45～10：15	口頭表現⑥
	7	11月29日　8：45～10：15	口頭表現⑦
	8	12月6日　8：45～10：15	口頭表現⑧
	9	12月13日　8：45～10：15	口頭表現⑨
	10	12月20日　8：45～10：15	口頭表現⑩
	11	1月10日　8：45～10：15	口頭表現⑪
	12	1月17日　8：45～10：15	口頭表現⑫
	13	1月24日　8：45～10：15	口頭表現⑬
	14	1月31日　8：45～10：15	口頭表現⑭
会　場	全学共通教育棟第1セミナー室		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合があります。		
対　象	全留学生（日本語能力試験Ｎ１相当レベル）		

留学生就職促進プログラム　ビジネス日本語教育講座データ

講座タイトル	キャリア日本語講座2 Career Japanese Course 2		
教員	石井由美		
講義概要	日本語文章理解スキルを身につけることを目標とした内容です。		
講座スケジュール （全14回）		日時	内容
	1	10月9日　10：30～12：00	文章理解①
	2	10月16日　10：30～12：00	文章理解②
	3	10月23日　10：30～12：00	文章理解③
	4	10月30日　10：30～12：00	文章理解④
	5	11月6日　10：30～12：00	文章理解⑤
	6	11月13日　10：30～12：00	文章理解⑥
	7	11月27日　10：30～12：00	文章理解⑦
	8	12月4日　10：30～12：00	文章理解⑧
	9	12月11日　10：30～12：00	文章理解⑨
	10	12月18日　10：30～12：00	文章理解⑩
	11	1月8日　10：30～12：00	文章理解⑪
	12	1月15日　10：30～12：00	文章理解⑫
	13	1月22日　10：30～12：00	文章理解⑬
	14	1月29日　10：30～12：00	文章理解⑭
会　場	全学共通教育棟第1セミナー室		
定　員	な　し ※定員は原則ありませんが、教室の大きさ等により早期に締め切る場合があります。		
対　象	全留学生（日本語能力試験Ｎ１相当レベル）		

コース名：日本語補講コース（General Japanese Course）

科目名　：文字 Japanese Character	対象者　：全留学生および外国人研究者（初級）All NIT international students and foreign researcher (Beginner)
担当者名：小室 輝代（KOMURO, Teruyo）	開講時間：月曜日(Mon)　5／6 時限

◎ 授業の目的・達成目標　Goals of the class:

目的：文字の入門（Introduction to Japanese character）

達成目標：ひらがな、かたかな、漢字の読み書きができる

（To be able to read and write Hiragana, Katakana and Kanji）

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：ひらがな L1, 2　あ行～は行（Hiragana a-row ～ ha-row）

第２回　：ひらがな L3, 4　ま行～ら行　わ　を　ん　が行　ざ行

（Hiragana ma-row ～ ra-row, wa, o, n, ga-row, za-row）

第３回　：ひらがな L5, Review L1~5　だ行　ば行　ぱ行

Hiragana da-row, ba-row, pa-row, Review L1~5）

第４回　：ひらがな L6, 7　Small size っ(Double consonants), Long vowels

第５回　：ひらがな L8, 9　きゃ　しゃ　ちゃ　にゃ　ひゃ　みゃ　りゃ

（Hiragana kya, sha, cha, nya, hya, mya, rya: combined letters）

第６回　：ひらがな L10, Review L6~10　How to write particles, Review L6~10

第７回　：かたかな L1　ア行～ラ行　ワ　ン　（Katakana a-row ～ ra-row, wa, n）

第８回　：かたかな L2　ガ行　ザ行　ダ行　バ行　パ行

（Katakana ga-row, za-row, da-row, ba-row, pa-row）

第９回　：かたかな L3 , Review L1~3

キャ　シャ　チャ…　（Katakana kya, sha, cha…：combined letters）

第１０回　：『Basic Kanji Book vol.1』1, 2 課　Kanji from Pictures 1, 2

第１１回　：『Basic Kanji Book vol.1』3, 4 課　Numbers, Kanji from Symbols

第１２回　：『Basic Kanji Book vol.1』5 課　Combining Meanings, Review L1~5

第１３回　：『Basic Kanji Book vol.1』6, 7 課　Kanji from Pictures 3, 4

第１４回　：『Basic Kanji Book vol.1』8, 9 課　Adjectives 1, Verbs 1

第１５回　：『Basic Kanji Book vol.1』10 課　Telling Time, Review L6~10

＊状況によっては変更することもある。

成績評価 Assessment：

出席を重視。授業への参加態度、quizにより、総合的に判断し、評価する。

Attendance, class participation and quiz. Participation record is very important.

◎ 教科書 Textbook 『日本語かな入門』　（国際交流基金） 『Basic Kanji Book』Vol. 1　（凡人社）	参考書 Reference book 授業進度に応じて指示する。Show in the class.

◎ その他注意すべき事項 Other important notice

・欠席する場合は必ず連絡すること。 Students cannot be absent without notice.

・習ったことを復習すること。 Review what you have learned in the class.

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：　初級Ⅰa Beginners Ⅰa	対象者　：　全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：李　芝賢　Yi Jihyun	開講時間：　火（TUE）１／２限

◎　授業の目的・達成目標

目的：　基本的な文法を応用した会話力の獲得

達成目標：初級前期レベル修了

Aims and goals：learn how to make essential conversations by using　basic grammar

授業計画（第1～15週　計15回）

1	名詞文	Noun sentences
2	時間の言い方	Time expressions
3	動詞文	Verbal sentences
4	形容詞	Adjectives
5	存在表現	Substantive verbs
6	復習	review
7	過去形	Past tense
8	～てください	「Please do~」
9	～してから	*verb a* and then *verb b*
10	名詞句	how to make a noun phrase
11	復習	review
12	普通形	the plain style
13	連体形	attributive form
14	くれます、～てあげます・もらいます、くれます	Giving & receiving verbs
15	復習	review

成績評価：出席，授業への参加態度，宿題，修了テストにより総合的に判断し、評価する。

Assessment　：　Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎　教科書	◎参考書
『みんなの日本語初級Ⅰ』（スリーエーネットワーク） Text: Minna no Nihongo Ⅰ (3A Corporation)	なし

◎　その他注意すべき事項：授業を欠席しなければならない時は，必ず連絡すること。

Others: If you are unable to attend the class , please contact office in advance.

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：　初級Ｉb Beginners　Ｉb	対象者　：　全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：李　芝賢　Yi Jihyun	開講時間：　水（Wed）３／４限

◎　授業の目的・達成目標

目的：基本的な文法を応用した会話力の獲得

達成目標：初級前期レベル修了

Aims and goals :learn how to make essential conversations by using　basic grammar

授業計画（第1～15週　計15回）

1	自己紹介	self introduction
2	場所表現	Location　expressions
3	～へ行きます/来ます	Come and go
4	～にあげます/もらいます	Giving & receiving verbs
5	～がわかります/好きです/嫌いです	「understand」「like」
6	復習	review
7	ものの数え方	Counters
8	～が欲しいです／したいです	Wishes
9	動詞のて形	*Te*-forms
10	動詞のない形／～ないでください	*nai*-form
11	動詞のた形	*ta*-form
12	間接話法	indirect speech
13	～と	Whenever~
14	条件表現	conditional expressions
15	修了テスト	final test

成績評価：出席，授業への参加態度，宿題，修了テストにより総合的に判断し、評価する。

Assessment　:　Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎　教科書	◎参考書
『みんなの日本語初級Ｉ』（スリーエーネットワーク） Text: Minna no Nihongo Ⅰ (3A Corporation)	なし

◎　その他注意すべき事項：授業を欠席しなければならない時は，必ず連絡すること。

Others: If you are unable to attend class , please contact office in advance.

コース名：日本語補講コース General Japanese Course

科目名　：初級Ⅱa Beginners Ⅱ a	対象者　：全留学生 All NITech international students
担当者名：山本百合子 YAMAMOTO Yuriko	開講時間：木曜日(Tue.)　５／６時限

◎ 授業の目的・達成目標

初級前半を修了した学習者（日本語を150時間程度学習[after studying Japanese for around 150 hours]し、漢字100字程度と語彙800語程度習得[knows around 100 kanji and 800 words]）が対象。

Aims and goals: learn how to make essential conversations by using basic grammar.

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：Lesson26「ごみは　どこに　出したら　いいですか」
第２回　：Lesson28「出張も　多いし、試験も　あるし」
第３回　：Lesson30「非常袋を　準備して　おかないと」
第４回　：Lesson31「料理を　習おうと　思って　います」
第５回　：Lesson33「これは　どういう　意味ですか」
第６回　：Lesson35「どこか　いい　所、ありませんか」
第７回　：Lesson36「毎日　運動するように　して　います」
第８回　：Lesson38「片づけるのが　好きなんです」
第９回　：Lesson40「友達が　できたか　どうか、心配です」
第１０回　：Lesson41「ご結婚　おめでとう　ございます」
第１１回　：Lesson43「毎日　楽しそうです」
第１２回　：Lesson45「コースを　まちがえた場合は、どう　したら　いいですか」
第１３回　：Lesson46「先週　直して　もらった　ばかりなのに、また…」
第１４回　：Lesson48「休ませて　いただけませんか」
第１５回　：Lesson50「心から　感謝いたします」

成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し評価する。

Assessment: Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎ 教科書(Textbook)	参考書(Reference book)
『みんなの日本語　初級Ⅱ本冊』第2版 『みんなの日本語　初級Ⅱ翻訳・文法解説』第2版（スリーエーネットワーク）	授業の進度に応じ、適宜指示する。 Show as occasion demands.

◎ その他注意すべき事項(note)

初級Ⅱbと併せて受講することが望ましい。

It is recommended to take Beginners II b in conjunction with this class.

コース名：日本語補講コース General Japanese Course	
科目名　：初級Ⅱ b Beginners Ⅱ b	対象者　：全留学生 All NITech international students
担当者名：山本百合子 YAMAMOTO Yuriko	開講時間：金曜日(Fri.)　３／４時限

◎ 授業の目的・達成目標

初級前半を修了した学習者（日本語を150時間程度学習[after studying Japanese for around 150 hours]し、漢字100字程度と語彙800語程度習得[knows around 100 kanji and 800 words]）が対象。

Aims and goals: learn how to make essential conversations by using basic grammar.

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：Lesson27「何でも　作れるんですね」
第２回　：Lesson29「忘れ物を　して　しまったんです」
第３回　：復習(Review) L26～L30
第４回　：Lesson32「無理を　しない　ほうが　いいですよ」
第５回　：Lesson34「わたしが　した　とおりに、して　ください」
第６回　：復習(Review) L31～L35
第７回　：Lesson37「金閣寺は　14世紀に　建てられました」
第８回　：Lesson39「遅れて、すみません」
第９回　：復習(Review), 中間テスト(Achievement Test)
第１０回　：Lesson42「ボーナスは　何に　使いますか」
第１１回　：Lesson44「この　写真みたいに　して　ください」
第１２回　：復習(Review) L41～L45
第１３回　：Lesson47「婚約したそうです」
第１４回　：Lesson49「よろしく　お伝え　ください」
第１５回　：修了テスト(Final Test)

成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し評価する。

Assessment: Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎ 教科書(Textbook)	参考書(Reference book)
『みんなの日本語　初級Ⅱ本冊』第2版 『みんなの日本語　初級Ⅱ翻訳・文法解説』第2版（スリーエーネットワーク）	授業の進度に応じ、適宜指示する。 Show as occasion demands.

◎ その他注意すべき事項(note)

初級Ⅱ a と併せて受講することが望ましい。

It is recommended to take Beginners II a in conjunction with this class.

コース名：日本語補講コース

科目名　：中級 Ia/Ib	対象者　：全留学生
担当者名：眞野道子	開講時間：火曜日 3/4時限　水曜日 3/4 時限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業の目的は、初級の勉強をしたけれどまだ日本語を上手に話せない人を対象として、初級で勉強したことを復習しながら中級レベルのことばや文法を身につけることです。

具体的な目標は初級レベルの文法・語彙を使ってスムーズな会話ができるようになること、中級レベルの文法・語彙を覚えて会話の中で使えるようになることです。

◎ 授業計画（15週・全30回）

［1］『みんなの日本語・中級Ⅰ』を使って授業をします。

［2］各課を2回にわけて、1週間で1課ずつすすみます。

火曜日は文法を、水曜日は聴解・読解を中心におこないます。

［3］4課、8課、12課が終わった後に復習のためのテストをおこないます。

［4］予定

第1週：第1課　「お願いがあるんですが」「畳」

第2週：第2課　「何のことですか」「外来語」

第3週：第3課　「遅れそうなんです」「時間よ、止まれ！」

第4週：第4課　「伝言、お願いできますか」「電話嫌い」

第5週：復習テスト・解説

第6週：第5課　「どう行ったらいいでしょうか」「地図」

第7週：第6課　「行かせていただきたいんですが」「メンタルトレーニング」

第8週：第7課　「楽しみにしてます・遠慮させてください」「まんじゅう、怖い」

第9週：第8課　「迷子になっちゃったんです」「科学者ってどう見える？」

第10週：復習テスト・解説

第11週：第9課　「どこが違うんですか？」「カラオケ」

第12週：第10課　「そんなはずはありません」「記憶型と注意型」

第13週：第11課　「お勧めのところ、ありませんか」「白川郷の黄金伝説」

第14週：第12課　「ご迷惑をかけてすみませんでした」「【座談会】日本で暮らす」

第15週：期末テスト・解説

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：出席、復習テスト、期末テスト

◎ 教科書	参考書
『みんなの日本語　中級Ⅰ』 （スリーエーネットワーク）	『みんなの日本語　中級Ⅰ翻訳・文法解説』 （スリーエーネットワーク）

◎ その他注意すべき事項

コース名：日本語補講コース	
科目名　：中級Ⅱ a, b	対象者　：全留学生および外国人研究者（中上級）
担当者名：小室　輝代	開講時間：月曜　7／8時限・木曜　7／8時限
◎ 授業の目的・達成目標 中級Ⅰのクラスに続き、さらにもう一段上のレベル（上級）をめざすことを目的としたクラスです。中級後半レベルの漢字・語彙・表現・文法を学習します。また、学習した表現を使って、話したり、聞いたり、読んだり、書いたりする練習もします。具体的には、あるテーマについて、ディスカッションしたり、文章を書いたり、発表したりします。	
◎ 授業計画（第１～15週　全15回）　＊授業進度は変更することもあります [1]『みんなの日本語　中級Ⅱ』を使って勉強します。 [2]各課を2回に分けて勉強し、1週間で1課ずつ進みます。 [3] 16課、20課、24課が終わった後に、まとめのテストをします。 第１回　：第13課 第２回　：第14課 第３回　：第15課 第４回　：第16課 第５回　：第13～16課　まとめのテスト 第６回　：第17課 第７回　：第18課 第８回　：第19課 第９回　：第20課 第１０回　：第17～20課　まとめのテスト 第１１回　：第21課 第１２回　：第22課 第１３回　：第23課 第１４回　：第24課 第１５回　：第21～24課　まとめのテスト	
成績評価：出席、漢字読み Quiz（課ごと）、文法・語彙 Quiz（課ごと）、まとめのテスト、 宿題などから、総合的に判断して評価します。	
◎ 教科書：『みんなの日本語中級Ⅱ』(スリーエーネットワーク)	参考書：『みんなの日本語中級Ⅱ 翻訳・文法解説』(各国語版が出ています)
◎ その他注意すべき事項：必ず予習・復習をすること。中級Ⅱbと併せて受講することが望ましい。	

コース名：日本語補講コース	
科目名　：N2級a	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：李芝賢　Yi Jihyun	開講時間：水曜日　1／2限
◎ 授業の目的・達成目標 幅広い場面で用いられる日本語を理解できるようになることを目標とする。 文法表現や言い回し,語彙の習得を通して最終的には日本語能力試験2級程度に相当する日本語能力を身につけることを目指す。	
◎ 授業計画（第１～15週　計15回） 第1回：オリエンテーション・レベルチェック 第2回：文法① 第3回：読解①（身の回りの文書） 第4回：文法② 第5回：読解②（お知らせ・通知） 第6回：文法③ 第7回：読解③（意見文・説明文） 第8回：文法④ 第9回：読解④（エッセイ・小説） 第10回：文法⑤ 第12回：読解⑤（新聞） 第13回：文法⑥ 第14回：読解⑥（論説文） 第15回：修了テスト	
成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により総合的に判断し、評価する。	
◎教科書：プリント配布	◎参考書：授業の進度に応じ、適宜指示する。
◎ その他注意すべき事項：欠席する場合は必ず連絡すること。	

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：日本語能力試験Ｎ２ｂ	対象者　：全留学生 All NITech international students
担当者名：伊藤亜希子　ITO Akiko	開講時間：月曜日（Mon）　1／2限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業の目標は、日常的な場面で使われる日本語に加え、幅広い場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることである。日本語能力試験Ｎ２合格をめざす。

この授業では、主に語彙・聴解について日本語能力の育成を行う。文法・読解についてはＮ２ａ（水 1／2限）で扱うので、合わせて受講すればより効果的である。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　聴解①　間違えやすい音、音の変化
第３回　：　語彙①
第４回　：　聴解②　語彙・表現を聞き取る(1)
第５回　：　語彙②
第６回　：　聴解③　語彙・表現を聞き取る(2)：即時応答
第７回　：　語彙③
第８回　：　聴解④　何をするか理解する、主張を理解する
第９回　：　語彙④
第１０回　：　聴解⑤　どのような話か理解する
第１１回　：　語彙⑤
第１２回　：　聴解⑥　統合理解
第１３回　：　語彙⑥
第１４回　：　まとめ
第１５回　：　修了テスト

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し、評価する。

◎ 教科書 プリント配布	参考書 授業の進度に応じ、適宜指示する。

◎ その他注意すべき事項：
欠席する場合は必ず連絡すること。

コース名：日本語補講コース	
科目名　：日本語能力試験Ｎ１級ａ	対象者　：全留学生
担当者名：眞野道子	開講時間：火曜日　7／8 限

◎ 授業の目的・達成目標

日本語能力試験Ｎ１級合格を目指して、問題演習を中心に実践力を養う。

Ｎ１の認定基準は「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」こと、つまり高度の文法・漢字・語彙を習得し、社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力を持つこととされている。普段の会話で使っている以上の、大学における学習・研究の基盤としても役立つようなレベルの日本語能力が求められることになる。

この授業では、主に文字・語彙・聴解についてＮ１レベルの日本語能力の育成を行う。文法・読解については日本語能力試験Ｎ１級ｂ（水 7／8 限）で扱うので、合わせて受講すればより効果的である。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　聴解①（課題理解）
第３回　：　聴解②（ポイント理解）
第４回　：　聴解③（概要理解）
第５回　：　聴解④（即時応答）
第６回　：　聴解⑤（統合理解）
第７回　：　文字・語彙①（性格・気持ち・動作などを表す言葉）
第８回　：　文字・語彙②（様子・程度などを表す言葉）
第９回　：　文字・語彙③（副詞）
第１０回　：　文字・語彙④（初級漢字の語彙）
第１１回　：　文字・語彙⑤（中級漢字の語彙）
第１２回　：　文字・語彙⑥（意味が多い言葉）
第１３回　：　文字・語彙⑦（カタカナ語・組み合わせの言葉）
第１４回　：　文字・語彙⑧（似ている言葉・慣用表現）
第１５回　：　修了テスト

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席および授業への参加態度、課題、テストなどにより、総合的に判断する。

◎ 教科書	参考書
プリント配布	授業の進度に応じ、適宜指示する。

◎ その他注意すべき事項

特になし

コース名：日本語補講コース	
科目名　：日本語能力試験Ｎ１級ｂ	対象者　：全留学生
担当者名：眞野道子	開講時間：水曜日　7／8 限

◎ 授業の目的・達成目標

日本語能力試験Ｎ１級合格を目指して、問題演習を中心に実践力を養う。

Ｎ１の認定基準は「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」こと、つまり高度の文法・漢字・語彙を習得し、社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力を持つこととされている。普段の会話で使っている以上の、大学における学習・研究の基盤としても役立つようなレベルの日本語能力が求められることになる。

この授業では、主に文法・読解についてＮ１レベルの日本語能力の育成を行う。文字・語彙・聴解については日本語能力試験Ｎ１級ａ（火 7／8 限）で扱うので、合わせて受講すればより効果的である。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　文法①（～こそすれ・～ものとして・～ことだから　など）
第３回　：　文法②（～なりに・どんなに～うが・～か～まいか　など）
第４回　：　文法③（～までも・～を限りに・～といえども　など）
第５回　：　文法④（～ものを・～ですら・～ぐるみ　など）
第６回　：　文法⑤（～ではすまない・～そうもない・～ごとく　など）
第７回　：　文法⑥（～に即して・～つもりで・～ながらも　など）
第８回　：　文法⑦（～だに・～ぶり・～に堪えない　など）
第９回　：　文法⑧（～ならいざ知らず・～てやまない・～に越したことはない　など）
第１０回　：　読解①（内容理解（短文・中文））
第１１回　：　読解②（内容理解（長文））
第１２回　：　読解③（統合理解）
第１３回　：　読解④（主張理解（長文））
第１４回　：　読解⑤（情報検索）
第１５回　：　修了テスト

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席および授業への参加態度、課題、テストなどにより、総合的に判断する。

◎ 教科書	参考書
プリント配布	授業の進度に応じ、適宜指示する。

◎ その他注意すべき事項

特になし

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：日本語能力試験Ｎ３ａ	対象者　：全留学生 All NITech international students
担当者名：伊藤亜希子　ITO Akiko	開講時間：月曜日（Mon）　3／4限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業の目標は、日常的な場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることです。日本語能力試験Ｎ３合格をめざします。初級の勉強が終わった人のレベルです。

この授業では、語彙・聴解について勉強します。文法・読解についてはＮ３ｂ（火5／6限）で勉強しますので、両方受けると効果的です。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　聴解①　聞き取りの練習
第３回　：　語彙①
第４回　：　聴解②　何といいますか：発話表現
第５回　：　語彙②
第６回　：　聴解③　何をするか理解する：課題理解
第７回　：　語彙③
第８回　：　聴解④　ポイントを理解する：ポイント理解
第９回　：　語彙④
第１０回　：　聴解⑤　表現・返事の仕方：即時応答
第１１回　：　語彙⑤
第１２回　：　聴解⑥　どのような話か理解する：概要理解
第１３回　：　語彙⑥
第１４回　：　修了テスト
第１５回　：　解説

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席、宿題、期末テスト成績。

◎ 教科書 プリント配布	参考書 なし

◎ その他注意すべき事項：
欠席する場合は必ず連絡すること。

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：日本語能力試験Ｎ３ｂ	対象者　：全留学生 All NITech international students
担当者名：伊藤亜希子　ITO Akiko	開講時間：火曜日（Tue）　5／6限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業の目標は、日常的な場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることです。日本語能力試験Ｎ３合格をめざします。初級の勉強が終わった人のレベルです。

この授業では、文法・読解について勉強します。聴解・語彙についてはＮ３ａ（月３／4限）で勉強しますので、両方受けると効果的です。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　読解①　お知らせ・案内を読む
第３回　：　文法①
第４回　：　読解②　通信文を読む
第５回　：　文法②
第６回　：　読解③　内容理解（短文）
第７回　：　文法③
第８回　：　読解④　内容理解（中文）
第９回　：　文法④
第１０回　：　読解⑤　内容理解（長文）
第１１回　：　文法⑤
第１２回　：　読解⑥　情報検索
第１３回　：　文法⑥
第１４回　：　修了テスト
第１５回　：　解説

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席、宿題、期末テスト成績。

◎ 教科書 プリント配布	参考書 なし

◎ その他注意すべき事項：
欠席する場合は必ず連絡すること。

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（書）	対象者　：全留学生
担当者名：山本百合子	開講時間：金曜日　１／２時限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業は、様々なビジネス場面において必要とされる、日本語を「書く」能力の基礎を身につけ、ビジネス定型文からまとまりのある長文へと練習を積み上げることで、最終的には各種ビジネス文書が作成できることを目標とする。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　　：オリエンテーション・レベルチェック
第２回　　：表記・待遇表現
第３回　　：三段論法１（履歴書・自己 PR）
第４回　　：三段論法２（社内報・自己紹介）
第５回　　：正しい構造の文
第６回　　：箇条書き　(E メール)
第７回　　：文のつながり（申請書）
第８回　　：客観的に書く（報告書）
第９回　　：説明文を書く
第１０回　：意見文を書く
第１１回　：要約文を書く
第１２回　：社外文書の書き方１
第１３回　：社外文書の書き方２
第１４回　：社外文書の書き方３
第１５回　：総まとめ・修了テスト
＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席および授業への参加態度、課題、テスト等により、総合的に判断する。

◎ 教科書	参考書
プリント配布	授業の進度に応じ、適宜指示する

◎ その他注意すべき事項

特になし。

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（聞く）	対象者　：全留学生および外国人研究者（上級）
担当者名：眞野道子	開講時間：水曜日　5／6 時限

◎ 授業の目的・達成目標

就職活動をするための日本語力、就職後のビジネス活動を行うための日本語力を身につけます。ビジネスでよくある場面についての聞き取りを行い、そこで用いられている文法や表現を確認しつつ、それを自分でも使えるようになることを目標とします。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：オリエンテーション　新人を歓迎する
第２回　：仕事の引き継ぎをする
第３回　：取引先を訪問する
第４回　：営業報告会に出る
第５回　：職場の人とランチに行く
第６回　：家族と休みの計画を立てる
第７回　：人材紹介会社の人と会う約束をする
第８回　：人材紹介会社の人と面談をする
第９回　：面接を受ける
第１０回　：お世話になった人にあいさつをする
第１１回　：クライアントに提案をする
第１２回　：プロジェクトの打ち上げをする
第１３回　：トラブルに対応する
第１４回　：引っ越しについて話し合う
第１５回　：修了テスト

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：出席・授業への参加態度、発表、テストなどから、総合的に判断して評価する。

◎ 教科書	参考書
プリント配布	授業の進度に応じ、適宜指示する。

◎ その他注意すべき事項

特になし

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（会話）	対象者　：全留学生および外国人研究者 （中上級）
担当者名：小室　輝代	開講時間：木曜日　5／6 時限
◎ 授業の目的・達成目標 日本での就職活動や日本で実際に働くための，ビジネス日本語会話を勉強するクラスです。また，日本語での会話だけではなく，日本のビジネス現場での常識や習慣なども学びます。実際の教室活動は，ビジネス語彙の習得と敬語を使った会話練習などを行います。	
◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回） 第１回　　：日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー① 第２回　　：日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー② 第３回　　：日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー③ 第４回　　：電話対応・伝言メモ① 第５回　　：電話対応・伝言メモ② 第６回　　：電話対応・伝言メモ③ 第７回　　：ビジネスメール 第８回　　：基本的なビジネス日本語　アポイントを取る 第９回　　：基本的なビジネス日本語　アポイントを変更する 第１０回　：基本的なビジネス日本語　正式に挨拶する・名刺交換① 第１１回　：基本的なビジネス日本語　正式に挨拶する・名刺交換② 第１２回　：基本的なビジネス日本語　会議に参加する 第１３回　：基本的なビジネス日本語　クレームを受ける・お詫びをする① 第１４回　：基本的なビジネス日本語　クレームを受ける・お詫びをする② 第１５回　：期末テスト・解説 ＊状況によっては変更することもある。	
成績評価：出席、授業への参加態度、発表、期末テストなどから総合的に判断して評価します。	
◎ 教科書 なし（プリントを配布します。）	参考書 授業の進度に応じ、適宜指示します。
◎ その他注意すべき事項 特になし。	

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（読解）	対象者　：全留学生
担当者名：伊藤亜希子	開講時間：火曜日 3/4 時限

◎ 授業の目的・達成目標

就職活動をするための日本語、就職後のビジネス活動を行なうための日本語の読解力を身につける。社会問題等に関する新聞記事やビジネス雑誌の記事などを読み、内容を正しく理解する。

◎ 授業計画（15 週・全 30 回）

第 1 回：現在のレベルチェック、自分のレベルの把握
第 2 回～第 4 回：新聞を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
第 5 回～第 7 回：雑誌を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
第 8 回～第 9 回：メモを取る練習
第 10 回：関連資料を読み取る 1（質問に答える、内容を箇条書きにする）
第 11 回：関連資料を読み取る 2（内容を箇条書きにする）
第 12 回：情報を読み取る 1
第 13 回：情報を読み取る 2
第 14 回：情報を読み取る 3
第 15 回：最終レベルチェック

毎回、用いた資料の中の語彙、言い回しのチェックを行なう。覚えた言い回しを実際に使えるように単文作りなども毎回行なう。

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：出席・授業への参加態度・発表などから、総合的に判断して評価します。

◎ 教科書	参考書
なし	授業の進度に応じ、適宜準備します。

◎ その他注意すべき事項

・遅刻・欠席は必ず連絡してください。

コース名：予備教育コース	
クラス名： 大学院入学前予備教育Ｉａｂ （院前Ｉａｂ※）	対象者　：本学大学院へ入学または入学を予定している国費留学生およびそれに準ずる者
担当者名：（運営）山本い、金、松野 （実施）山本い、金、松野、山本ゆ、小室	開講時間：　月１～６、火１～４、水１～４、木１～４、金１～４（以上毎週 11 コマ） 集中１コマ、合計 12 コマ

◎ 授業の目的・達成目標

目的：本学大学院での学究活動に必要となる基礎的な日本語力を身につける。

達成目標：初級レベル修了

◎ 授業計画（第 1～15 週）

1　日本語実力診断テスト，オリエンテーション、ひらがな、カタカナ
2　『みんなの日本語初級１』１～３課，漢字導入
3　『みんなの日本語初級１』４～７課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (1)
4　『みんなの日本語初級１』８～12 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (2),達成度テスト(1)
5　『みんなの日本語初級１』13～15 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (3)
6　『みんなの日本語初級１』16～19 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (4),達成度テスト(2)
7　『みんなの日本語初級１』20～23 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (5)
8　『みんなの日本語初級１』24～25 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (6)，中間テスト
9　『みんなの日本語初級２』26～29 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (7)
10　『みんなの日本語初級２』30～33 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (8),達成度テスト(3)
11　『みんなの日本語初級２』34～36 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (9)
12　『みんなの日本語初級２』37～40 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (10)，達成度テスト(4)
13　『みんなの日本語初級２』41～44 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (11)
14　『みんなの日本語初級２』45～48 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (12)
15　『みんなの日本語初級２』49～50 課，ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ (発表)，期末テスト

成績評価：授業態度、数回のテスト（達成度・中間・期末）などにより判断する。

◎ 教科書	参考書
『みんなの日本語本冊』初級１・２（スリーエーネットワーク） 『日本語かな入門』（国際交流基金） 『Basic Kanji Book vol.1』（凡人社）	『みんなの日本語翻訳・文法解説』初級１・２（スリーエーネットワーク）ほか，授業進度に応じて指示する。

◎ その他注意すべき事項：

※目的別（就職・進学）に２クラスに分かれて授業を行う。進度は同じ。

・『みんなの日本語』シリーズは「第２版（改定版）」を使用する。（第１版は使用不可）
・授業前に、当該課の翻訳・文法解説を熟読してくること。
・宿題が出るので，必ず行うこと。
・AT４回、中間、期末、計６回のテストがあり、目標値に届かない者には追試を行う。

コース名：日本語補講コース	
科目名　：日本語能力試験Ｎ１級ｂ	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：眞野道子	開講時間：水曜日　7／8 限

◎ 授業の目的・達成目標

日本語能力試験Ｎ１級合格を目指して、問題演習を中心に実践力を養います。

Ｎ１の認定基準は「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」こと、つまり高度の文法・漢字・語彙を習得し、社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力を持つこととされています。普段の会話で使っている以上の、大学における学習・研究の基盤としても役立つようなレベルの日本語能力が求められることになります。

この授業では、主に文法・読解についてＮ１レベルの日本語能力の育成を行います。文字・語彙・聴解については日本語能力試験Ｎ１級ａ（火 5／6 限）で扱うので、合わせて受講すればより効果的です。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　文法①（～こそすれ・～ものとして・～ことだから　など）
第３回　：　文法②（～なりに・どんなに～うが・～か～まいか　など）
第４回　：　文法③（～までも・～を限りに・～といえども　など）
第５回　：　文法④（～ものを・～ですら・～ぐるみ　など）
第６回　：　文法⑤（～ではすまない・～そうもない・～ごとく　など）
第７回　：　文法⑥（～に即して・～つもりで・～ながらも　など）
第８回　：　文法⑦（～だに・～ぶり・～に堪えない　など）
第９回　：　文法⑧（～ならいざ知らず・～てやまない・～に越したことはない　など）
第１０回　：　読解①（内容理解（短文・中文））
第１１回　：　読解②（内容理解（長文））
第１２回　：　読解③（統合理解）
第１３回　：　読解④（主張理解（長文））
第１４回　：　読解⑤（情報検索）
第１５回　：　修了テスト

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席および授業への参加態度、課題、テストなどにより、総合的に判断する。

◎ 教科書	参考書
プリント配布	授業の進度に応じ、適宜指示する。

◎ その他注意すべき事項

特になし

コース名：日本語補講コース	
科目名　：日本語能力試験Ｎ１級ａ	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：眞野道子	開講時間：火曜日　5／6 限

◎ 授業の目的・達成目標

日本語能力試験Ｎ１級合格を目指して、問題演習を中心に実践力を養います。

Ｎ１の認定基準は「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」こと、つまり高度の文法・漢字・語彙を習得し、社会生活をする上で必要な、総合的な日本語能力を持つこととされています。普段の会話で使っている以上の、大学における学習・研究の基盤としても役立つようなレベルの日本語能力が求められることになります。

この授業では、主に文字・語彙・聴解についてＮ１レベルの日本語能力の育成を行います。文法・読解については日本語能力試験Ｎ１級ｂ（水 7／8 限）で扱うので、合わせて受講すればより効果的です。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　聴解①（課題理解）
第３回　：　聴解②（ポイント理解）
第４回　：　聴解③（概要理解）
第５回　：　聴解④（即時応答）
第６回　：　聴解⑤（統合理解）
第７回　：　文字・語彙①（性格・気持ち・動作などを表す言葉）
第８回　：　文字・語彙②（様子・程度などを表す言葉）
第９回　：　文字・語彙③（副詞）
第１０回　：　文字・語彙④（初級漢字の語彙）
第１１回　：　文字・語彙⑤（中級漢字の語彙）
第１２回　：　文字・語彙⑥（意味が多い言葉）
第１３回　：　文字・語彙⑦（カタカナ語・組み合わせの言葉）
第１４回　：　文字・語彙⑧（似ている言葉・慣用表現）
第１５回　：　修了テスト

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席および授業への参加態度、課題、テストなどにより、総合的に判断する。

◎ 教科書	参考書
プリント配布	授業の進度に応じ、適宜指示する。

◎ その他注意すべき事項

特になし

コース名：日本語補講コース	
科目名　：日本語能力試験 N2 級 a	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：李芝賢　Yi Jihyun	開講時間：火曜日　1・2 限
◎ 授業の目的・達成目標 幅広い場面で用いられる日本語を理解できるようになることを目標とする。 文法表現や言い回し，語彙の習得を通して日本語文の読解力を高め、最終的には日本語能力試験 2 級程度に相当する日本語能力を身につけることを目指す。	
◎ 授業計画（第１～15 週　計 15 回） 第１回：オリエンテーション・レベルチェック 第２回：聴解①(課題理解) 第３回：語彙①（語形成） 第４回：聴解②(ポイント理解) 第５回：語彙②（文脈規定） 第６回：聴解③(概要理解) 第７回：語彙③（言い換え類義 1） 第８回：聴解④(即時応答) 第９回：語彙④（言い換え・類義 2） 第 10 回：聴解⑤(総合理解 1) 第 11 回：語彙⑤（用法 1） 第 12 回：聴解⑥（総合理解 2） 第 13 回：語彙⑥（用法 2） 第 14 回：期末テスト 第 15 回：期末テスト解説 なお、以上の予定は受講者の数やレベルに応じて変更されることがあります。	
成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により総合的に判断し、評価する。	
◎教科書：プリント配布	◎参考書：授業の進度に応じ、適宜指示する。
◎ その他注意すべき事項：欠席する場合は必ず連絡すること。	

コース名：日本語補講コース	
科目名　：日本語能力試験 N2 級 b	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：李芝賢　Yi Jihyun	開講時間：水曜日　1・2 限
◎ 授業の目的・達成目標 語彙と聴解に焦点を合わせ、さまざまな場面で用いられる日本語を理解できるようになることを目指す。目安としては日本語能力試験 2 級程度の日本語力を習得することを目標とする。	
◎ 授業計画（第１～15 週　計 15 回） 第１回：オリエンテーション・レベルチェック 第２回：文法① 第３回：読解①（身の回りの文書） 第４回：文法② 第５回：読解②（お知らせ・通知） 第６回：文法③ 第７回：読解③（意見文・説明文） 第８回：文法④ 第９回：読解④（エッセイ・小説） 第 10 回：文法⑤ 第 11 回：読解⑤（新聞） 第 12 回：文法⑥ 第 13 回：読解⑥（論説文） 第 14 回：期末テスト 第 15 回：期末テスト解説 なお、以上の予定は受講者の数やレベルに応じて変更されることがあります。	
成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により総合的に判断し、評価する。	
◎教科書：プリント配布	◎参考書：授業の進度に応じ、適宜指示する。
◎ その他注意すべき事項：欠席する場合は必ず連絡すること。	

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：日本語能力試験Ｎ３ａ	対象者　：全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：伊藤亜希子　ITO Akiko	開講時間：火曜日（Tue）　7／8限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業の目標は、日常的な場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることです。日本語能力試験Ｎ３合格をめざします。初級の勉強が終わった人のレベルです。

この授業では、語彙・聴解について勉強します。文法・読解についてはＮ３ｂ（水5／6限）で勉強しますので、両方受けると効果的です。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　聴解①　聞き取りの練習
第３回　：　語彙①
第４回　：　聴解②　何といいますか：発話表現
第５回　：　語彙②
第６回　：　聴解③　何をするか理解する：課題理解
第７回　：　語彙③
第８回　：　聴解④　ポイントを理解する：ポイント理解
第９回　：　語彙④
第１０回　：　聴解⑤　表現・返事の仕方：即時応答
第１１回　：　語彙⑤
第１２回　：　聴解⑥　どのような話か理解する：概要理解
第１３回　：　語彙⑥
第１４回　：　修了テスト
第１５回　：　解説

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席、宿題、期末テスト成績。

◎ 教科書	参考書
『日本語総まとめＮ３語彙』（アスク出版）	なし

◎ その他注意すべき事項：

欠席する場合は必ず連絡すること。

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：日本語能力試験Ｎ３ｂ	対象者　：全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：伊藤亜希子　ITO Akiko	開講時間：水曜日（Wed）　5／6限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業の目標は、日常的な場面で使われる中級レベルの日本語をある程度理解できるようになることです。日本語能力試験Ｎ３合格をめざします。初級の勉強が終わった人のレベルです。

この授業では、文法・読解について勉強します。聴解・語彙についてはＮ３ａ（火7／8限）で勉強しますので、両方受けると効果的です。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：　オリエンテーション・レベルチェック
第２回　：　読解①　お知らせ・案内を読む
第３回　：　文法①
第４回　：　読解②　通信文を読む
第５回　：　文法②
第６回　：　読解③　内容理解（短文）
第７回　：　文法③
第８回　：　読解④　内容理解（中文）
第９回　：　文法④
第１０回　：　読解⑤　内容理解（長文）
第１１回　：　文法⑤
第１２回　：　読解⑥　情報検索
第１３回　：　文法⑥
第１４回　：　修了テスト
第１５回　：　解説

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：　出席、宿題、期末テスト成績。

◎ 教科書	参考書
『日本語総まとめＮ３文法』（アスク出版）	なし

◎ その他注意すべき事項：

欠席する場合は必ず連絡すること。

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（書）	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：山本百合子	開講時間：月曜日　７／８時限
◎ 授業の目的・達成目標 この授業は、様々なビジネス場面において必要とされる、日本語を「書く」能力の基礎を身につけ、ビジネス定型文からまとまりのある長文へと練習を積み上げることで、最終的には各種ビジネス文書が作成できることを目標とする。	
◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回） 第１回　　：オリエンテーション・レベルチェック 第２回　　：表記・待遇表現 第３回　　：三段論法１（履歴書・自己 PR） 第４回　　：三段論法２（社内報・自己紹介） 第５回　　：正しい構造の文 第６回　　：箇条書き　(E メール) 第７回　　：文のつながり（申請書） 第８回　　：客観的に書く（報告書） 第９回　　：説明文を書く 第１０回　：意見文を書く 第１１回　：要約文を書く 第１２回　：社外文書の書き方１ 第１３回　：社外文書の書き方２ 第１４回　：社外文書の書き方３ 第１５回　：総まとめ・修了テスト ＊状況によっては変更することもある。	
成績評価：　出席および授業への参加態度、課題、テスト等により、総合的に判断する。	
◎ 教科書 プリント配布	参考書 授業の進度に応じ、適宜指示する
◎ その他注意すべき事項 特になし。	

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（読解）	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：伊藤亜希子	開講時間：火曜日 3/4 時限

◎ 授業の目的・達成目標

就職活動をするための日本語、就職後のビジネス活動を行なうための日本語の読解力を身につける。社会問題等に関する新聞記事やビジネス雑誌の記事などを読み、内容を正しく理解する。

◎ 授業計画（15 週・全 30 回）

第 1 回：現在のレベルチェック、自分のレベルの把握
第 2 回〜第 4 回：新聞を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
第 5 回〜第 7 回：雑誌を読む（質問に答える、内容を箇条書きにする）
第 8 回〜第 9 回：メモを取る練習
第 10 回：関連資料を読み取る 1（質問に答える、内容を箇条書きにする）
第 11 回：関連資料を読み取る 2（内容を箇条書きにする）
第 12 回：情報を読み取る 1
第 13 回：情報を読み取る 2
第 14 回：最終レベルチェック
第 15 回：フィードバック

毎回、用いた資料の中の語彙、言い回しのチェックを行なう。覚えた言い回しを実際に使えるように単文作りなども毎回行なう。

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：出席・授業への参加態度・発表などから、総合的に判断して評価します。

◎ 教科書	参考書
なし	授業の進度に応じ、適宜準備します。

◎ その他注意すべき事項

・遅刻・欠席は必ず連絡してください。

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（聞く）	対象者　：全留学生および外国人研究者（上級）
担当者名：眞野道子	開講時間：水曜日　5／6 時限

◎ 授業の目的・達成目標

就職活動をするための日本語力、就職後のビジネス活動を行うための日本語力を身につけます。ビジネスでよくある場面についての聞き取りを行い、そこで用いられている文法や表現を確認しつつ、それを自分でも使えるようになることを目標とします。

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：オリエンテーション　新人を歓迎する
第２回　：仕事の引き継ぎをする
第３回　：取引先を訪問する
第４回　：営業報告会に出る
第５回　：職場の人とランチに行く
第６回　：家族と休みの計画を立てる
第７回　：人材紹介会社の人と会う約束をする
第８回　：人材紹介会社の人と面談をする
第９回　：面接を受ける
第１０回　：お世話になった人にあいさつをする
第１１回　：クライアントに提案をする
第１２回　：プロジェクトの打ち上げをする
第１３回　：トラブルに対応する
第１４回　：引っ越しについて話し合う
第１５回　：修了テスト

＊状況によっては変更することもある。

成績評価：出席・授業への参加態度、発表、テストなどから、総合的に判断して評価する。

◎ 教科書	参考書
プリント配布	授業の進度に応じ、適宜指示する。

◎ その他注意すべき事項

特になし

コース名：日本語補講コース	
科目名　：ビジネス日本語（会話）	対象者　：全留学生および外国人研究者 （中上級）
担当者名：小室　輝代	開講時間：木曜日　7／8 時限
◎ 授業の目的・達成目標 日本での就職活動や日本で実際に働くための，ビジネス日本語会話を勉強するクラスです。また，日本語での会話だけではなく，日本のビジネス現場での常識や習慣なども学びます。実際の教室活動は，ビジネス語彙の習得と敬語を使った会話練習などを行います。	
◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回） 第１回　　：日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー① 第２回　　：日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー② 第３回　　：日本の就活事情、敬語、ビジネスマナー③ 第４回　　：電話対応・伝言メモ① 第５回　　：電話対応・伝言メモ② 第６回　　：電話対応・伝言メモ③ 第７回　　：ビジネスメール 第８回　　：基本的なビジネス日本語　アポイントを取る 第９回　　：基本的なビジネス日本語　アポイントを変更する 第１０回　：基本的なビジネス日本語　正式に挨拶する・名刺交換① 第１１回　：基本的なビジネス日本語　正式に挨拶する・名刺交換② 第１２回　：基本的なビジネス日本語　会議に参加する 第１３回　：基本的なビジネス日本語　クレームを受ける・お詫びをする① 第１４回　：基本的なビジネス日本語　クレームを受ける・お詫びをする② 第１５回　：期末テスト・解説 ＊状況によっては変更することもある。	
成績評価：出席、授業への参加態度、発表、期末テストなどから総合的に判断して評価します。	
◎ 教科書 なし（プリントを配布します。）	参考書 授業の進度に応じ、適宜指示します。
◎ その他注意すべき事項 特になし。	

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：　初級Ⅰa beginners Ⅰa	対象者　：　全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：李　芝賢　Yi Jihyun	開講時間：　火（TUE）3・4限

◎ 授業の目的・達成目標

目的： 基本的な文法を応用した会話力の獲得

達成目標：初級前期レベル修了

Aims and goals：learn how to make essential conversations by using basic grammar

授業計画（第1～15週　計15回）

1	名詞文	Noun sentences
2	時間の言い方	Time expressions
3	動詞文	Verbal sentences
4	形容詞	Adjectives
5	存在表現	Substantive verbs
6	復習	review
7	過去形	Past tense
8	～てください	「Please do~」
9	～してから	*verb a* and then *verb b*
10	名詞句	how to make a noun phrase
11	復習	review
12	普通形	the plain style
13	連体形	attributive form
14	くれます、～てあげます・もらいます、くれます	Giving & receiving verbs
15	復習	review

成績評価：出席，授業への参加態度，宿題，修了テストにより総合的に判断し、評価する。

Assessment　：　Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎ 教科書	◎参考書
『みんなの日本語初級Ⅰ』（スリーエーネットワーク） Text: Minna no Nihongo Ⅰ (3A Corporation)	なし

◎ その他注意すべき事項：授業を欠席しなければならない時は，必ず連絡すること。

Others: If you are unable to attend the class , please contact office in advance.

コース名：日本語補講コース　General Japanese Course	
科目名　：　初級Ｉb beginners　Ｉb	対象者　：　全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：李　芝賢　Yi Jihyun	開講時間：　水（Wed）3・4限

◎　授業の目的・達成目標

目的：基本的な文法を応用した会話力の獲得

達成目標：初級前期レベル修了

Aims and goals：learn how to make essential conversations by using basic grammar

1　自己紹介	self introduction
2　場所表現	Location expressions
3　～へ行きます/来ます	Come and go
4　～にあげます/もらいます	Giving & receiving verbs
5　～がわかります/好きです/嫌いです	「understand」「like」
6　復習	review
7　ものの数え方	Counters
8　～が欲しいです／したいです	Wishes
9　動詞のて形	*Te*-forms
10　動詞のない形／～ないでください	*nai*-form
11　動詞のた形	*ta*-form
12　間接話法	indirect speech
13　～と	Whenever~
14　条件表現	conditional expressions
15　修了テスト	final test

成績評価：出席，授業への参加態度，宿題，修了テストにより総合的に判断し、評価する。

Assessment　：　Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎　教科書	◎参考書
『みんなの日本語初級Ｉ』（スリーエーネットワーク） Text: Minna no Nihongo (3A Corporation)	なし

◎　その他注意すべき事項：授業を欠席しなければならない時は，必ず連絡すること。

Others: If you are unable to attend class , please contact office in advance.

コース名：日本語補講コース General Japanese Course

科目名　：初級 II a Beginners II a	対象者　：全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：山本百合子 YAMAMOTO Yuriko	開講時間：月曜日 (Mon.)　５／６時限

◎ 授業の目的・達成目標

初級前半を修了した学習者（日本語を150時間程度学習[after studying Japanese for around 150 hours]し、漢字100字程度と語彙800語程度習得[knows around 100 kanji and 800 words]）が対象。

Aims and goals: learn how to make essential conversations by using basic grammar.

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：Lesson26「ごみは　どこに　出したら　いいですか」
第２回　：Lesson28「出張も　多いし、試験も　あるし」
第３回　：Lesson30「非常袋を　準備して　おかないと」
第４回　：Lesson31「料理を　習おうと　思って　います」
第５回　：Lesson33「これは　どういう　意味ですか」
第６回　：Lesson35「どこか　いい　所、ありませんか」
第７回　：Lesson36「毎日　運動するように　して　います」
第８回　：Lesson38「片づけるのが　好きなんです」
第９回　：Lesson40「友達が　できたか　どうか、心配です」
第１０回　：Lesson41「ご結婚　おめでとう　ございます」
第１１回　：Lesson43「毎日　楽しそうです」
第１２回　：復習 (Review) L41～L45
第１３回　：Lesson47「婚約したそうです」
第１４回　：Lesson49「よろしく　お伝え　ください」
第１５回　：Lesson50「心から　感謝いたします」

成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し評価する。

Assessment: Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎ 教科書(Textbook)

『みんなの日本語　初級 II本冊』第２版

『みんなの日本語　初級 II翻訳・文法解説』第２版（スリーエーネットワーク）

参考書(Reference book)

授業の進度に応じ、適宜指示する。

Show as occasion demands.

◎ その他注意すべき事項(note)

初級 II b と併せて受講することが望ましい。

It is recommended to take Beginners II b in conjunction with this class.

コース名：日本語補講コース General Japanese Course

科目名　：初級 II b Beginners II b	対象者　：全留学生および外国人研究者 All NITech international students and researchers
担当者名：山本百合子 YAMAMOTO Yuriko	開講時間：木曜日 (Thu.)　7／8時限

◎ 授業の目的・達成目標

初級前半を修了した学習者（日本語を150時間程度学習[after studying Japanese for around 150 hours]し、漢字100字程度と語彙800語程度習得[knows around 100 kanji and 800 words]）が対象。

Aims and goals: learn how to make essential conversations by using basic grammar.

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：動詞活用・普通体(Verb conjugation・Plain style)
第２回　：Lesson27「何でも　作れるんですね」
第３回　：Lesson29「忘れ物を　して　しまったんです」
第４回　：Lesson32「無理を　しない　ほうが　いいですよ」
第５回　：Lesson34「わたしが　した　とおりに、して　ください」
第６回　：復習(Review) L26～L35
第７回　：Lesson37「金閣寺は　14世紀に　建てられました」
第８回　：Lesson39「遅れて、すみません」
第９回　：復習(Review), 中間テスト(Achievement Test)
第１０回　：Lesson42「ボーナスは　何に　使いますか」
第１１回　：Lesson44「この　写真みたいに　して　ください」
第１２回　：Lesson45「コースを　まちがえた場合は、どう　したら　いいですか」
第１３回　：Lesson46「先週　直して　もらった　ばかりなのに、また…」
第１４回　：Lesson48「休ませて　いただけませんか」
第１５回　：修了テスト(Final Exam)

成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し評価する。

Assessment: Attendance, class participation, homework, and final exam.

◎ 教科書(Textbook)

『みんなの日本語　初級 II本冊』第２版

『みんなの日本語　初級 II翻訳・文法解説』第２版（スリーエーネットワーク）

参考書(Reference book)

授業の進度に応じ、適宜指示する。

Show as occasion demands.

◎ その他注意すべき事項(note)

初級 II a と併せて受講することが望ましい。

It is recommended to take Beginners II a in conjunction with this class.

コース名：日本語補講コース	
科目名　：中級Ⅰ a, b	対象者　：全留学生および外国人研究者
担当者名：小室　輝代	開講時間：月曜　7／8時限・木曜　5／6時限

◎ 授業の目的・達成目標

この授業は、初級の勉強をしたけれど、まだ日本語を上手に話せない人を対象としています。初級で勉強したことを復習しながら中級レベルのことばや文法を身につけることが目標です。

具体的な目標は、初級レベルの文法・語彙を使ってスムーズな会話ができるようになること、中級レベルの文法・語彙を覚えて会話の中で使えるようになることです。

◎ 授業計画（第1～15週　全15回）　＊授業進度は変更することもあります

[1]『みんなの日本語　中級Ⅰ』を使って勉強します。

[2]各課を2回に分けて勉強し、1週間で1課ずつ進みます。

[3] 4課、8課、12課が終わった後に、まとめのテストをします。

[4]予定

第1週：第1課　「お願いがあるんですが」「畳」

第2週：第2課　「何のことですか」「外来語」

第3週：第3課　「遅れそうなんです」「時間よ、止まれ!」

第4週：第4課　「伝言、お願いできますか」「電話嫌い」

第5週：復習テスト・解説

第6週：第5課　「どう行ったらいいでしょうか」「地図」

第7週：第6課　「行かせていただきたいんですが」「メンタルトレーニング」

第8週：第7課　「楽しみにしてます・遠慮させてください」「まんじゅう、怖い」

第9週：第8課　「迷子になっちゃったんです」「科学者ってどう見える?」

第10週：復習テスト・解説

第11週：第9課「どこが違うんですか?」「カラオケ」

第12週：第10課　「そんなはずはありません」「記憶型と注意型」

第13週：第11課　「お勧めのところ、ありませんか」「白川郷の黄金伝説」

第14週：第12課　「ご迷惑をかけてすみませんでした」「【座談会】日本で暮らす」

第15週：期末テスト・解説

成績評価：出席、復習テスト、期末テスト、宿題などから、総合的に判断して評価します。

◎ 教科書：『みんなの日本語中級Ⅰ』(スリーエーネットワーク)	参考書：『みんなの日本語中級1翻訳・文法解説』(スリーエーネットワーク)

◎ その他注意すべき事項：必ず予習・復習をすること。中級Ⅰa,bと併せて受講することが望ましい。

コース名：日本語補講コース（General Japanese Course）

科目名　：文字 Japanese Character	対象者　：全留学生および外国人研究者（初級）All NIT international students and foreign researcher (Beginner)
担当者名：伊藤亜希子（ITO, Akiko）	開講時間：火曜日(Tue)　5／6 時限

◎ 授業の目的・達成目標　Goals of the class:

目的：文字の入門（Introduction to Japanese character）

達成目標：ひらがな、かたかな、漢字の読み書きができる

（To be able to read and write Hiragana, Katakana and Kanji）

◎ 授業計画（第１～１５週　計１５回）

第１回　：ひらがな L1, 2　あ行～は行（Hiragana a-row ～ ha-row）

第２回　：ひらがな L3, 4　ま行～ら行　わ　を　ん　が行　ざ行

（Hiragana ma-row ～ ra-row, wa, o, n, ga-row, za-row）

第３回　：ひらがな L5, Review L1~5　だ行　ば行　ぱ行

Hiragana da-row, ba-row, pa-row, Review L1~5）

第４回　：ひらがな L6, 7　Small size っ(Double consonants), Long vowels

第５回　：ひらがな L8, 9　きゃ　しゃ　ちゃ　にゃ　ひゃ　みゃ　りゃ

（Hiragana kya, sha, cha, nya, hya, mya, rya: combined letters）

第６回　：ひらがな L10, Review L6~10　How to write particles, Review L6~10

第７回　：かたかな L1　ア行～ラ行　ワ　ン　（Katakana a-row ～ ra-row, wa, n）

第８回　：かたかな L2　ガ行　ザ行　ダ行　バ行　パ行

（Katakana ga-row, za-row, da-row, ba-row, pa-row）

第９回　：かたかな L3 , Review L1~3

キャ　シャ　チャ…　（Katakana kya, sha, cha…：combined letters）

第１０回　：『Basic Kanji Book vol.1』1, 2 課　Kanji from Pictures 1, 2

第１１回　：『Basic Kanji Book vol.1』3, 4 課　Numbers, Kanji from Symbols

第１２回　：『Basic Kanji Book vol.1』5 課　Combining Meanings, Review L1~5

第１３回　：『Basic Kanji Book vol.1』6, 7 課　Kanji from Pictures 3, 4

第１４回　：『Basic Kanji Book vol.1』8, 9 課　Adjectives 1, Verbs 1

第１５回　：『Basic Kanji Book vol.1』10 課　Telling Time, Review L6~10

＊状況によっては変更することもある。

成績評価 Assessment：

出席を重視。授業への参加態度、quizにより、総合的に判断し、評価する。

Attendance, class participation and quiz. Participation record is very important.

◎ 教科書 Textbook 『日本語かな入門』　（国際交流基金） 『Basic Kanji Book』Vol. 1　（凡人社）	参考書 Reference book 授業進度に応じて指示する。Show in the class.

◎ その他注意すべき事項 Other important notice

・欠席する場合は必ず連絡すること。 Students cannot be absent without notice.

・習ったことを復習すること。 Review what you have learned in the class.

コース名：予備教育コース	
クラス名： 大学院入学前予備教育Ｉａｂ （院前Ｉａｂ※）	対象者　：本学大学院へ入学または入学を予定している国費留学生およびそれに準ずる者
担当者名：（運営）金、松野、山本い （実施）伊藤、小室、眞野、山本ゆ、金、松野、山本い	開講時間：　月１～４、火１～６、水１～４、木１～４、金１～４（以上毎週 11 コマ） 集中１コマ、合計 12 コマ

◎ 授業の目的・達成目標

目的：本学大学院での学究活動に必要となる基礎的な日本語力を身につける。

達成目標：初級レベル修了

◎ 授業計画（第 1～15 週）

1　日本語実力診断テスト，オリエンテーション、ひらがな、カタカナ
2　『みんなの日本語初級１』１～３課，漢字導入
3　『みんなの日本語初級１』４～７課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（1）
4　『みんなの日本語初級１』８～12 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（2），達成度テスト(1)
5　『みんなの日本語初級１』13～15 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（3）
6　『みんなの日本語初級１』16～19 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（4），達成度テスト(2)
7　『みんなの日本語初級１』20～23 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（5）
8　『みんなの日本語初級１』24～25 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（6），中間テスト
9　『みんなの日本語初級２』26～29 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（7）
10　『みんなの日本語初級２』30～33 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（8），達成度テスト(3)
11　『みんなの日本語初級２』34～36 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（9）
12　『みんなの日本語初級２』37～40 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（10），達成度テスト(4)
13　『みんなの日本語初級２』41～44 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（11）
14　『みんなの日本語初級２』45～48 課，工学事情・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（12）
15　『みんなの日本語初級２』49～50 課，ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ（発表），期末テスト

成績評価：授業態度、数回のテスト（達成度・中間・期末）などにより判断する。

◎ 教科書	参考書
『みんなの日本語本冊』初級１・２（スリーエーネットワーク） 『日本語かな入門』（国際交流基金） 『Basic Kanji Book vol.1』（凡人社）	『みんなの日本語翻訳・文法解説』初級１・２（スリーエーネットワーク）ほか，授業進度に応じて指示する。

◎ その他注意すべき事項：

※目的別（就職・進学）の２クラスに分かれて授業を行う。進度は同じ。

・『みんなの日本語』シリーズは「第２版（改定版）」を使用する。（第１版は使用不可）
・授業前に、当該課の翻訳・文法解説を熟読してくること。
・宿題が出るので，必ず行うこと。

コース名：予備教育コース	
クラス名： 大学院入学前予備教育Ⅱ （院前Ⅱ）	対象者：本学大学院入学試験に合格し、入学を確約した者。中級レベル以上の国費生等。
担当者名：（運営）金、松野、山本い （実施）コア科目：松野、山本い、選択科目： 伊藤、小室、李、眞野、山本ゆ	開講時間： コア科目：月１～４（２コマ）、集中１コマ 選択科目：日本語補講コース参照
◎ 授業の目的・達成目標 目的：大学院（特に博士前期課程）での学究活動に必要となる日本語力を身につける。 達成目標：中級レベル以上（各自の既習レベルより１ランク以上上げること）	
◎ 授業計画（第 1～15 週） ○コア科目（日本語プレゼンテーション３・４） １ 日本語実力診断テスト，オリエンテーション ２～７ 原稿の書き方 プレゼンテーションの基礎 ８ 達成度チェック ９～14 日本語プレゼンテーション準備 発表原稿作成 パワーポイント作成 発表練習 15 成果発表（プレゼンテーション） ○コア科目（工学事情２） １～５ 実地見学１（詳細未定） ６～10 実地見学２（詳細未定） 11～15 実地見学３（詳細未定） ○選択科目（日本語補講コース科目） 各自の日本語レベルに応じ、日本語補講コース科目から適当なものを履修する。シラバス等は、日本語補講コースに同じ。（参照のこと）	
成績評価：出席を重視する。	
◎ 教科書 各科目の指示に従う。	参考書 各科目の指示に従う。
◎ その他注意すべき事項： ・参考書を使って毎日予習・復習をすること。 ・宿題が出た場合は，必ずしてくること。	

名城大学　留学生就職促進プログラム2018　シラバス

講座番号②　《科目名》　**ビジネス日本語(基礎)講座**

《担当者》　松木　玲子

《開講曜日・時限》　前期　木曜日・３時限

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－412教室

《授業の概要と目的》　日本語を用いたビジネス・就職などを行う際に必要とされる日本語能力を身につける。特に口頭表現について練習する。

《到達目標》　ビジネスの場面で使う日本語を学ぶ。具体的には、敬語等の待遇表現やそれにまつわるイントネーション、語彙・表現などを身につけ、円滑なコミュニケーションが行えるようにすることを目標とする。

《授業計画》

	実施日	項目	内容
1	5月10日(木)	オリエンテーション 「紹介する」①	入社、配属、他社訪問時等の自己紹介 敬語表現の確認
2	5月17日(木)	「紹介する」② 「挨拶をする」①	他社の人に自社の人を紹介する 担当交代の挨拶
3	5月24日(木)	「挨拶をする」②	休んだり早退したりした時の挨拶
4	5月31日(木)	「電話をかける・受ける」①	電話をかける・受ける際の定型表現
5	6月 7日(木)	「電話をかける・受ける」②	伝言を頼む・伝える
6	6月14日(木)	「注意をする・受ける」	婉曲に注意をする・受ける 上司に注意をうける・謝る
7	6月21日(木)	復習 「頼む・断る」①	これまでの復習・確認 上司に依頼する・断る
8	6月28日(木)	「頼む・断る」②	値段の交渉をする・答える
9	7月 5日(木)	「許可をもらう」	上司・他社の人に許可を求める
10	7月12日(木)	「アポイントをとる」①	自社・他社の人にアポイントをとる
11	7月19日(木)	「アポイントをとる」②	面識のない人にアポイントをとる 約束の日時を変更する
12	9月20日(木)	「訪問する」	取り次ぎを頼む 辞去する
13	9月27日(木)	復習	これまでの復習・確認

《授業方法の形式》

・ビジネス場面でよく使われる語句や表現を確認する。
・各項目の機能表現を確認し、イントネーションやスピード、動作なども含めて自然な日本語でやりとりが行えるように練習する。
・ロールプレイを通して各項目で学んだことを完成させる。
・必要であれば、文法項目を取り上げた口頭練習や、会話文の作成などを行う。

《受講生へのメッセージ》

大学生活で使われる日本語とはひと味違うビジネス日本語を身につけるチャンスです。ビジネスの様々な場面で使われる語彙や表現を学習します。さらに、ビジネス日本語では敬語が大変重要です。この敬語も各項目を通じて使いこなせるように学習していきましょう。また言葉だけではなく、ビジネスマナー等も紹介していきたいと思います。積極的にチャレンジしてください。

名城大学　留学生就職促進プログラム2018　シラバス

講座番号②　《科目名》　**ビジネス日本語(実践)講座**

《担当者》　張　　敬清

《開講曜日・時限》　前期　木曜日・５時限
後期　木曜日・３時限

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－412教室

《授業の概要と目的》　就活及び企業で働く時に必要な日本語をシーン毎に相応しい行動と共に学ぶ。

《到達目標》　企業訪問、自己紹介、電話応対、ビジネス文書などの日本語を実践の中で学ぶことにより、就活場面及び企業に勤める際の不安を無くすこと。

《授業計画》

	実施日		項目	内容	ゲスト講師
	前期	後期			
1	5月10日(木)	10月 4日(木)	説明・発表スキル	分かりやすく説明をすること。相手との関係を考慮した表現	
2	5月17日(木)	10月11日(木)	質問	短い時間での意思伝達。問題意識等要点の明確化	
3	5月24日(木)	10月18日(木)	相手や場面に応じた表現	相手を敬う表現や丁寧な表現と自己を素直に表現する方法	
4	5月31日(木)	10月25日(木)	面接や訪問などの場面に応じた自己紹介	名刺の受け渡し、自己紹介・他者紹介時等の日本語と行動	
5	6月 7日(木)	11月 8日(木)	場面に応じた挨拶	挨拶時の日本語及び注意点	
6	6月14日(木)	11月15日(木)	電話応対の仕方及びルール	電話でできることできないことと電話時の決まり文句	
7	6月21日(木)	11月22日(木)	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の仕方及びタイミング	
8	6月28日(木)	11月29日(木)	ビジネス文書・メールの表現	書き言葉と話し言葉の違い、常套句等	
9	7月 5日(木)	12月 6日(木)	依頼する・断る	緊張を伴う企業への依頼・断りを行うときの言葉使い	
10	7月12日(木)	12月13日(木)	許可をもらう	当事者のみでなく関係者への配慮・気配り及びその時の言葉	今井範行
11	7月19日(木)	12月20日(木)	アポイントを取る・約束を変更する	時間厳守や約束事の重要性とその変更を依頼するときの言葉	
12	9月20日(木)	12月27日(木)	訪問する	訪問時のマナーと各シーンでの常套句	
13	9月27日(木)	1月10日(木)	まとめ	これまでのまとめ	

《授業方法の形式》　講義、ロールプレイング

《受講生へのメッセージ》　外国人が陥りやすい間違いを就活及びビジネスシーンごとに拾っています。コミュニケーションを行う際の不安をなくし、自己表現が生き生きとできることを目指しています。

【名古屋大学 平成 30 年度留学生就職促進プログラム】

留学生のための就職・キャリア支援プログラム

２０１８年度 受講生募集 のお知らせ

日本企業での就職やキャリア形成を希望する留学生の皆さんを支援するプログラムです。今年度は、秋・冬に行なわれるインターンシップへの準備を含め、日本で働くことについて一緒に理解を深めます。いよいよ本格的に始まる就職活動ですが、留学生の皆さんが上手く対策を進められるよう、私たちキャリアサポート室（Career Services Office）が全力でサポートします。

日　　程	２０１８年１０月２５日（木）～　２０１９年1月２４日（木）　16:30～18:00 **（日程及び内容は、今後変更する可能性があります。）**
場　　所	名古屋大学アジア法交流館２階　レクチャールーム１
受講対象	日本企業に就職する意思のある留学生（対象大学：名古屋大学、名古屋工業大学、岐阜大学、名城大学、南山大学）（日本人学生の方の参加も歓迎します。）
担　　当	**坂井 伸彰（さかい　のぶあき）**　名古屋大学キャリアサポート室　准教授 **川平　英里（かびら　えり）**　名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門　学術専門職
注意事項	このコースは全て日本語で行われます(JLPT N2 or higher level is required)。 ※講義中内容が分からなければ英語での質問も受付けますので、G30 の学生さんも歓迎です。

	実 施 日	項 目	内 容
1	１０月２５日（木）	オリエンテーション	就活の進め方・スケジュール・情報共有
2	１１月　１日（木）	企業分析（１）	「日本で働く」実態を知る（理想と現実や、労働環境などを理解する）
3	１１月　８日（木）	企業分析（２）	日本企業が考える採用基準を知る、入社後の一般的なキャリアパスを知る
4	１１月１５日（木）	模擬面接体験会 ＆内定者座談会（１）	自分の現状を把握する、先輩の経験を教えてもらう
5	１１月２２日（木）	自己分析（１）	「なぜ日本で働くか？」を考え、気持ちを整理する
6	１１月２９日（木）	自己分析（２）	何のために「自己分析」をするのか、理解する
7	１２月　６日（木）	自己分析（３）	今までの自分を具体的に振り返る
8	１２月１３日（木）	就活スキル講座（ES 編）	ES の書き方を具体的に学ぶ
9	１２月２０日（木）	就活スキル講座（SPI・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ編）	留学生が苦手とする SPI、グループディスカッションへの対策を学ぶ
10	１月１０日（木）	自己分析まとめ ＆内定者座談会（２）	自己分析を仕上げ、留学生の先輩から意見をもらう
11	１月１７日（木）	何でも相談会	今までの講座で分からなかったことを、みんなで話し合う
12	１月２４日（木）	企業との交流会	中部経済同友会加盟企業との交流会（16:30-19:00）

◆講座申し込み◆

本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当講義「就職・キャリア支援講座」に進み、“講座お申し込みはこちら”から、お申し込みください。
※初めての方はマイページ登録が必要となります。
ホームページ：https://ag-int.org/

64

◆問合せ◆

名古屋大学キャリアサポート室
工学部７号館Ｂ棟
TEL：052-789-2176
EMAIL：info-iscsp@adm.Nagoya-u.ac.jp
WEBSITE：http://ag-int.org/

Nagoya University AY2018 Career Development Program for International Students

Job-Hunting Support Program for Int'l Students

Calling for 2018 season participants!

This is the support program for international students who are willing to work for Japanese companies. We, Career Services Office, will help you understand working in Japan and prepare for Shu-katsu through the lectures.

Date	Every Thu from Oct/25/2018 to Jan/24/2019 (16:30 – 18:00) ***The Schedule may be subject to change.**
Location	Lecture Room #1, 2nd Floor of of Asian Legal Exchange Plaza, Nagoya Univ.
Eligible Students	Int'l students of Nagoya University, Nagoya Institute of Technology, Gifu University, Meijo University, and Nanzan University who are interested in working in Japan.（Japanese students are welcome to join the program, too）
Lecturer	**Nobuaki Sakai**　/ Associate Prof., Career Services Office, Nagoya Univ. **Eri Kabira** / Academic Specialist, the Division of Advising & Counseling Servises, International Exchange and Education Center
Note	All sessions are conducted in Japanese (JLPT N2 or higher level is required) ※If you don't understand the content in the program, you can ask your questions in English. G30 students are also welcome to join the program.

	Date	Session	Content
1	Oct 25（Thu）	Orientation	Job hunting schedule & program outline
2	Nov 1（Thu）	Company Analysis (I)	Learn working in Japan and working environment in Japanese companies
3	Nov 8 (Thu)	Company Analysis (II)	Learn the Japanese companies' recruiting criteria
4	Nov 15 (Thu)	Mock Interview ＆ Talk Session w/Sempai（I）	know the current status on your job-hunting and learn the tips from Sempai
5	Nov 22 (Thu)	Self-Assessment (I)	Understand why you want to work in Japan
6	Nov 29（Thu）	Self-Assessment (II)	Understand why you need to do “Self-Assesment”
7	Dec 6（Thu）	Self-Assessment (III)	Look back your life events and find some hints for your career development
8	Dec 13（Thu）	Lesson on ES	Learn how to write ES
9	Dec 20（Thu）	Lesson on SPI & Group Discussion	Learn how to cope with SPI & Group Discussion
10	Jan 10（Thu）	Wrap up on Self-Assessment & Talk Session w/Sempai (II)	Try to complete self-assessment & get feedback from Sempai
11	Jan 17（Thu）	Wrap up session	Ask any questions to sensei
12	Jan 24（Thu）	Mixer w/ Companies	Talk session w/companies of Chubu Association of Corporate Executives （16:30-19：00）

◆Application◆

For course enrollment, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of the course information page on our website.
*For first-time users, it is necessary to register “My Page”.
Website: https://ag-int.org/

65

◆Contact information◆

Career Services Office, Nagoya university
“Career Development Program for International Students” Office
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
TEL: 052-789-2171
Website: http://ag-int.org/

名古屋大学 平成30年度留学生就職促進プログラム

-留学生のための就職・キャリア支援プログラム（第5～7回）-

「自己分析講座」

66

就職活動で最も重要になる「自己分析」について、どのように進めるべきか？一緒に考えます。秋・冬のインターンシップに申し込んだ人も、これから申し込みを考えている人も、一緒に考えましょう。

日　時	2018年 11月22日、29日、12月6日（木）　16：30～18：00
場　所	アジア法交流館２階　レクチャールーム１
内　容	**①「自己分析（１）」　（11/22）** 「なぜ日本で働くか？」を考え、気持ちを整理する **②「自己分析（2）」　（11/29）** 何のために「自己分析」をするのか、理解する **③「自己分析（2）」　（12/6）** 今までの自分を具体的に振り返る

◆参加申込み◆

本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当講義「就職・キャリア支援講座」に進み、“講座お申し込みはこちら”から、お申し込みください。
※初めての方はマイページ登録が必要となります。
ホームページ：https://ag-int.org/

◆問合せ◆

名古屋大学キャリアサポート室
工学部７号館Ｂ棟
TEL：052-789-2176
EMAIL：info-iscsp@adm.Nagoya-u.ac.jp
WEBSITE：http://ag-int.org/

Nagoya University AY2018 Career Development Program for International Students

-Job-Hunting Support Program for Int'l Students（5～7th classes）-

“Self Assessment”

67

“Self Assessment” is the most important thing in job hunting in Japan.　Let's learn how to assess yourself for job hunting!

Schedule	November 22nd, 29th, December 6th (Thu) 4:30～6:00 p.m.
Place	Lecture Room#1, 2nd floor of CALE Building
Content	**1) Self-Assessment (I)** Understand why you want to work in Japan. **2) Self-Assessment (II)** Understand why you need to do “Self-assessment” **3) Self-Assessment (III)** Look back your life events and search some hints for your career.

◆Application◆

For course enrollment, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)“ of each course information page on our website.

*For first-time users, it is necessary to register “My Page”.

Website: https://ag-int.org/

◆Contact information◆

Career Services Office, Nagoya university
“Career Development Program for International Students” Office
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
TEL: 052-789-2171
Website: http://ag-int.org/

名古屋大学 平成30年度留学生就職促進プログラム

-留学生のための就職・キャリア支援プログラム（第8～11回）-
「就活スキル講座」＆「内定者座談会」＆「何でも相談会」

就職活動で必要となるスキルやテクニックを一緒に学びます。また留学生の先輩に意見を聞いたり、何でも相談できる「まとめの時間」もありますので、就職活動を行う予定の方は、積極的に参加してください。

日　時	2018年 12月13日、20日、2019年1月10日、17日（木）16：30～18：00
場　所	アジア法交流館２階　レクチャールーム１
内　容	**①「就活スキル講座（ES編）」　（12/13）** ESの書き方を具体的に学ぶ **②「就活スキル講座（SPI・グループディスカッション編）」　（12/20）** 留学生が苦手とするSPI、グループディスカッションへの対策を学ぶ **③「自己分析まとめ＆内定者座談会」　（1/10）** 自己分析を仕上げ、留学生の先輩から意見をもらう **④「何でも相談会」　（1/17）** 今までの講座で分からなかったことを、みんなで話し合う

◆参加申込み◆
本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当講義「就職・キャリア支援講座」に進み、"講座お申し込みはこちら"から、お申し込みください。
※初めての方はマイページ登録が必要となります。
ホームページ：https://ag-int.org/

◆問合せ◆
名古屋大学キャリアサポート室
工学部７号館Ｂ棟
TEL：052-789-2176
EMAIL：info-iscsp@adm.Nagoya-u.ac.jp
WEBSITE：http://ag-int.org/

Nagoya University AY2018 Career Development Program for International Students

-Job-Hunting Support Program for Int'l Students（8～11th classes）-
"Lessons on ES, SPI, Group Discussion" & "Talk Session w/Senpai"

You will learn some know-how on job-hunting through the classes. Also, you can talk with senpai on how you prepare for job-hunting. We will wait for your participation.

Schedule	December 13th, 20th, January 10th, 17th (Thu) 4:30～6:00 p.m.
Place	Lecture Room#1, 2nd floor of CALE Building
Content	**1) Lesson on ES** Learn how to write ES **2) Lesson on SPI & Group Discussion** Learn how to cope with SPI & Group Discussion **3) Wrap up on Self-Assessment & Talk Session w/Senpai (II)** Try to complete self-assessment & get feedback from Senpai **4) Wrap up on Self-Assessment & Talk Session w/Sempai (II)** Ask any questions to sensei

◆Application◆
For course enrollment, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of each course information page on our website.
*For first-time users, it is necessary to register "My Page".
Website: https://ag-int.org/

◆Contact information◆
Career Services Office, Nagoya university
"Career Development Program for International Students" Office
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
TEL: 052-789-2171
Website: http://ag-int.org/

平成30年度 愛岐留学生就職支援コンソーシアム

留学生のための仕事理解講座

日本を代表する優良企業の人事担当者をお招きし 各々の業界について留学生の皆さんに説明頂きます。

各業界の特徴や予測される変化について説明頂くのは もちろん、留学生にどのような活躍や働き方を期待しているのか、 企業の方々から直接お話し頂きます。

企業の方々とのQ&Aの時間も、たっぷりあります。 日本や世界で働く上で気になる不安や疑問を、 少しでも解消することに役立てて下さい!

<質問例>
＃留学生への期待って何？
＃会社や仕事って、今までどのように変わってきたの？
＃５年後、10年後、どのような働き方になるの？



DAY１：２月12日（火）13時～16時
協力企業：中部国際空港株式会社、株式会社ジェイアール東海高島屋
テーマ「東海地区で高まるインバウンド（外国人観光客）需要について」

DAY２：２月14日（木）13時～16時
協力企業：サンスター株式会社、日立造船株式会社
テーマ「時代や世界の変化を踏まえた製造業の在り方とは？」

DAY３：２月15日（金）13時～16時
協力企業：オリックス株式会社、株式会社one visa
テーマ「ベンチャー精神や新規事業で必要なことは？」

場 所：名古屋大学(東山キャンパス)ES総合館2階022教室
※スーツ着用不要

使用言語:日本語

申込方法 オンラインフォームから申込み
（１日だけの参加でもご登録をお願いします）

https://ag-int.org/nu/career/?no=114

会場MAP：名古屋大学(東山キャンパス)ES総合館2階 022教室



問合せ先 名古屋大学 キャリアサポート室
TEL: 052-789-2176　MAIL : info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp

FY2018 Aigi Career Supporting Consortium for Int'l Students

Industry Understanding Sessions for Int'l Students

W. e'll invite HR personnel from famous companies in Japan and will hold industry understanding session for int'l students Characteristics of each industry and the expected change, what companies are looking for in international students will be the some of the points which will be explained in the sessions.
There will be Q&A time with the people of the company. Use this chance to solve any concerns or doubts about working in Japan!

<Questions Examples>
#What are the expectations to int'l students from the companies?
#How has the companies changed their missions?
#How should we change to work in a company in 5 or 10 years later?



DAY 1 : Feb. 12th (Tue), 13:00-16:00
Participating Companies :
Central International Airport Co., Ltd.
JR Tokai Takashimaya Co., Ltd.
Theme: *Expanding inbound demand in Tokai area*

DAY 2 : Feb. 14th (Thu), 13:00-16:00
Participating Companies :
Sunstar Inc. , Hitachi Zosen Corporation
Theme: *How has the manufacturing company's business shifted based on changes in the times and the world?*

DAY 3 : Feb, 15th (Fri) 13:00-16:00
Participating Companies :
Orix Corporation, One Visa Inc.
Theme: *What are needed in venture spirits and start-up business?*

Venue : Room022, 2nd Floor of ES Sogo-kan (ES 総合館), Nagoya Univ.
※You don't need to wear a suit.

Language: Japanese

Application: Apply from the online form
(Please register your name in case you attend just only one day.)
https://ag-int.org/nu/career/?no=114

MAP : Venue : Room022, 2nd Floor of ES Sogo-kan (ES 総合館), Nagoya Univ.



Contact Info.: Career Services Office, Nagoya Univ.
TEL: 052-789-2176 MAIL : info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学　留学生就職促進プログラム

ANA ビジネスマナー講座

～日本型ビジネスコミュニケーションの特徴～

日本企業への就職を希望する学生のため、日本型コミュニケーションの特徴を紹介します。日本の職場環境特有のルールやビジネスマナーを理解し、円滑な人間関係を築き、良好な職場環境で活躍することを目指します。

日時　2019年２月15日（金）10：30～12：00

場所　名古屋大学　国際棟2階
CALEフォーラム

講師　ANAビジネスソリューション株式会社
美濱 ナナ氏
ANA（全日本空輸株式会社）客室乗務員として国内線・国際線に乗務。在米生活を経て、現在はANAビジネスソリューション株式会社にて講師として活動中。

詳細　言語：日本語（英語での質問も受付けます）
対象：留学生　服装: 自由
定員：先着40名

申込方法　留学生就職促進プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベントに進み、“講座申込みはこちら”からお申込み下さい。
※初めての方はマイページ登録が必要となります。
ホームページ：https://ag-int.org/nu/#2
締切：2019年2月1日

連絡先　名古屋大学キャリアサポート室（工学部７号館Ｂ棟２階）
TEL: 052-789-2176　Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp

Job-Hunting Support Program for International Students

ANA Business Manner Seminar

～Japanese Business Communication～

Nagoya University will hold a lecture by ANA business solutions Co., Ltd. This seminar will cover business communication and manner in Japanese companies and the tips will work on your job-hunting and internship program.

Date　2019 February 15th (Fri)
10：30～12：00

Place　CALE Forum
International Center 2nd floor, Nagoya University

Lecturer　Ms. Nana Mihama
(ANA business solutions Co., Ltd.)

Eligible applicants　International students
(You can ask your questions in English. G30 students are also welcome to join the class.)

Application　For application, you visit the application form from the bottom part “Apply Here（講座お申し込みはこちら）” of this event information page on our website.
※For first-time users, it is necessary to register “My Page”.
Website : https://ag-int.org/nu/#2
Deadline : February 1st

Contact　Career Services Office, Nagoya University
“Career Development Program for International Students” Office
TEL: 052-789-2176
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp

外国人留学生のための
JOB FAIR@名古屋大学

外資系、大手、地元企業に関わらず、名大の元留学生をはじめ外国籍社員を積極的に採用している優良企業の方々と、外国人留学生の皆さんが交流できるチャンスです！日本で働くことに興味のある方、これから就職活動（シュウカツ）を始める方は、是非ご参加ください。

参加対象:
名古屋大、名古屋工業大、岐阜大、名城大、南山大の外国人留学生（日本人学生の方の参加も歓迎です）

日 時：２０１９年2月１８日(月)・１９日(火)

第１部 10:00~13:00 受付: 9:30~
（1 回目 10:10-10:35, 2 回目 10:40-11:05, 3 回目 11:10-11:35, 4 回目 11:40-12:05, 5 回目 12:10-12:35）

第２部 14:00~17:00 受付: 13:30~
（1 回目 14:10-14:35, 2 回目 14:40-15:05, 3 回目 15:10-15:35, 4 回目 15:40-16:05, 5 回目 16:10-16:35）

場 所：名古屋大学 アジア法交流館２階
アジアコミュニティフォーラム

使用言語：主に日本語　服装:自由
（幾つかの企業様には、英語でも説明して頂ける予定です。）

参加予定企業

<2/18(月)AM>
株式会社ジェイテクト、ヤマハ発動機株式会社、パナソニックエコシステムズ株式会社、LEGOLAND Japan 株式会社、中部国際空港株式会社、株式会社レオパレス 21、スズキ株式会社、株式会社 FUJI、CKD 株式会社、日本テトラパック株式会社、オリックス株式会社、豊田合成株式会社

<2/18(月)PM>
豊島株式会社、京セラ株式会社、株式会社 MTG、三栄ハイテックス株式会社、ミネベアミツミ株式会社、豊田通商株式会社、株式会社デンソー、NTT コミュニケーションズ株式会社、UD トラックス株式会社、九鬼産業株式会社、東邦ガス株式会社、株式会社 FTS

<2/19(火)AM>
株式会社ジェイエイシーリクルートメント、株式会社錢高組、東朋テクノロジー株式会社、リンナイ株式会社、株式会社小糸製作所、株式会社光庭インフォー名古屋、Torrecid Japan、積水メディカル株式会社、日立造船株式会社、マイクロンメモリジャパン合同会社、東海エレクトロニクス株式会社

<2/19(火)PM>
中央発條株式会社、アイシン・エィ・ダブリュ株式会社、昭和電工株式会社、トヨタ紡織株式会社、アマゾンジャパン合同会社、アクセンチュア株式会社、AGC 株式会社、ハウス食品グループ本社株式会社、ホーユー株式会社、大冷工業株式会社、（順不同：1/25 時点）

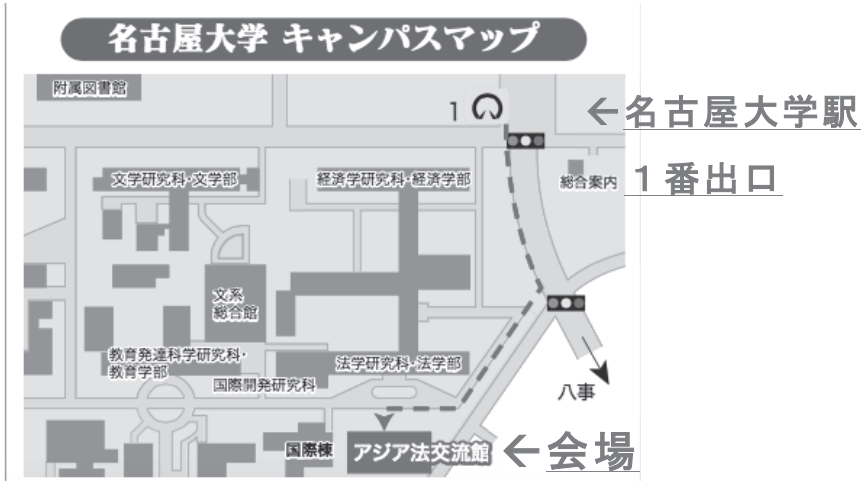
参加方法
参加には、事前予約が必要です！
（予約済の方に、参加企業の説明資料を事前にメールにて配布いたします。1 日だけの参加の場合でも、必ずご登録ください。）

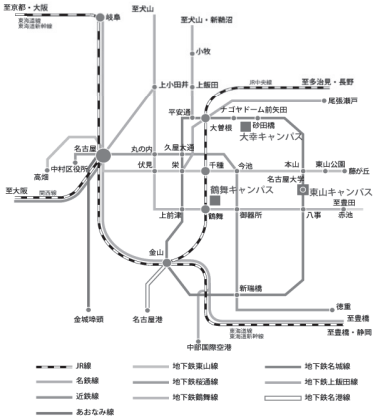
URL：
https://ag-int.org/nu/ career/?no=115

連絡先
名古屋大学　キャリアサポート室
（工学部７号館　B 棟　2 階）
TEL:052-789-2176
MAIL:info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp

HP：　http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp
　　https://ag-int.org

外国人留学生のための
Job Fair
@名古屋大学 アジア法交流館２階
アジアコミュニティフォーラム





お問合せ先：

名古屋大学キャリアサポート室
（工学部７号館Ｂ棟　２階）

TEL: 052-789-2176
MAIL：info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
HP: http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp
　　http://nu-cso.jp/index.php
平日：8:30～17:15

JOB FAIR for International Students

@Nagoya University

This is a chance for international students to interact with excellent companies in Japan recruiting international employees. If you are interested in working in Japan or starting job hunting (Shukatsu) now, don't miss this chance!

Scope : all international students of Nagoya Univ., Nagoya Institute of Technology, Gifu Univ., Meijo Univ., and Nanzan Univ. (Japanese students are also welcome!)

Schedule : February 18th (Mon) & 19th (Tue) , 2019

1st session 10:00〜〜 13:00 reception: 9:30〜〜

（#1/10:10-10:35, #2/10:40-11:05, #3/11:10-11:35, #4:11:40-12:05, #5:12:10-12:35）

2nd session 14:00〜〜 17:00 reception: 13:30〜〜

（#1/14:10-14:35, #2/14:40-15:05, #3/15:10-15:35, # 1415:40-16:05, # 5/16:10-16:35）

Place : Asia Community Forum, Asia Legal Exchange Bldg., Nagoya Univ. (名古屋大大学アジア法交流流館 2 階アジアコミュニティフォーラム)

Dress code: free

Language: mainly Japanese (some companies' sessions are available in English)

Participating Companies

<Feb. 18th (Mon) AM>

JTEKT CORPORATION, Yamaha Motor Co., Ltd., Panasonic Ecology Systems Co., Ltd., LEGOLAND Japan Ltd., CENTRAL JAPAN INTERNATIONAL AIRPORT COMPANY, LIMITED, LEOPALACE21 CORPORATION, SUZUKI MOTOR CORPORATION, FUJI CORPORATION, CKD Corporation, Nihon Tetra Pak K.K, ORIX Corporation, Toyoda Gosei Co., LTD.

<Feb. 18th (Mon) PM>

TOYOSHIMA & CO.,LTD., Kyocera Corporation, MTG CO.,LTD, SANEI HYTECHS co.,ltd., MinebeaMitsumi Inc., TOYOTA TSUSHO CORPORATION, DENSO Corporation, UD Trucks Corporation, KUKI SANGYO CORPORATION, TOHO GAS Co., Ltd., FTS CO., LTD

<Feb. 19th (Tue) AM>

JAC Recruitment Co., Ltd., The Zenitaka Corporation, Toho Technology Corporation, Rinnai Corporation, KOITO MANUFACTURING CO., LTD., KOTEI Informatics Co., Ltd., Torrecid Japan, SEKISUI MEDICAL CO., LTD., Hitachi Zosen Corporation, Micron Memory Japan, G.K., TOKAI ELECTRONICS CO., LTD.

<Feb. 19th (Tue) PM>

Chuo Spring Co., Ltd., AISIN AW CO., LTD., Showa Denko K.K., TOYOTA BOUSHOKU CORPORATION, Amazon Japan G.K., Accenture Japan Ltd., AGC Inc., HOUSE FOODS GROUP INC., Hoyu Co.,Ltd., Dairei Kogyo LTD.

(as of Jan. 25th)

How to Register

Register in advance from the URL or QR code below. (We will send the company '' s profile information to those who complete the registration in advance by e-mail.)

https://ag-int.org/nu/ career/?no=115

Contact Us

Career Services Office, Nagoya Univ.
TEL:052-789-2176
MAIL:info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp HP :
http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp

https://ag-int.org

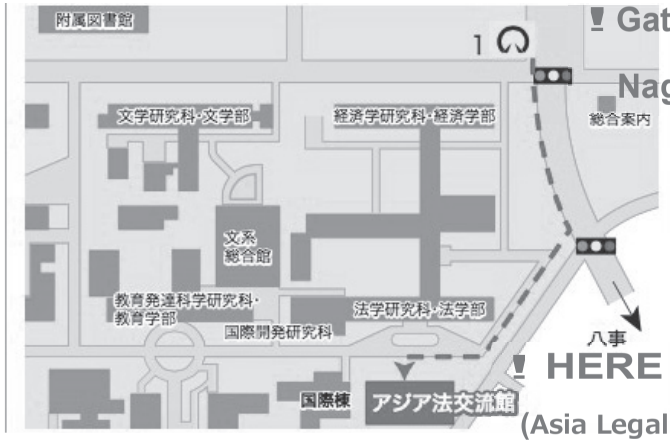
Job Fair for Int''l Students @ Nagoya Univ.

MAP

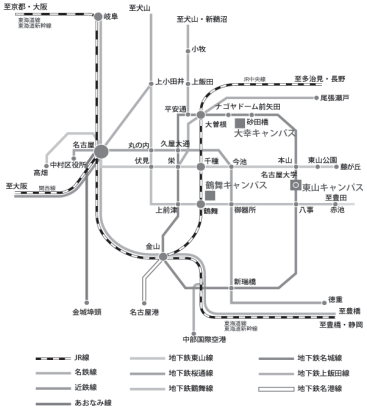
Asia Community Forum, Asia Legal Exchange Bldg.,

Nagoya Univ.

(名古屋大大学アジア法交流流館 2 階アジアコミュニティフォーラム)



(Asia Legal Exchange Bldg.)



Inquiries

Career Services Office, Nagoya Univ.

TEL:052-789-2176
MAIL:info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp HP :
http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp

https://ag-int.org

就職活動

留学生向け

7月4日（水）

外国人留学生向け ガイダンス



就職活動支援ガイダンス

外国人留学生向けの**就職活動支援コース**を学外から講師を招き，秋頃から行う予定ですので，そのためのガイダンスを次のとおり行います。日本国内で就職を考えている留学生の方は，ぜひ参加してください。



■日　時　7月4日（水）　13：00～14：30
■会　場　全学共通教育講義棟　21番教室
■対　象　主としてＭ１，Ｂ３
※他の学年の方もＯＫです。
■講　師　㈱Keisei代表取締役　**張　敬清 氏**

（英国、日本で留学を経験し，2005年には自動車部品メーカーで人事を務める。また，ボランティアで留学生対象の就活支援を行う。2009年9月には，外国人留学生，外国人社員を対象とした就職支援教育・研修を行う（株）keiseiを設立。）

■内　容　・日本での就活スケジュール及び進め方
・日本企業の特徴，留学生に求めるもの
・就活に向けたインターンシップの参加　等

Free　外国人留学生向け



就職活動支援コース 2018年度

第１回　自己分析



・なぜ日本では自己分析が重要か？その進め方
・各自の強み、売りの特定
７月１８日（水）　14:40～17:10

第2回　企業分析



企業分析の必要性と進め方
１０月３日（水）　14:40～17:10

第3回　応募書類



ＥＳとＣＶの違い、競争力をどうつけるか？
１０月１７日（水）　14:40～ 17:10

第4回　面接訓練



各種選考の基本、評価ポイント及び対策
１０月２４日（水）　14:40～ 17:10

開催場所：図書館2Ｆ プレゼンルーム（定員：30名・狭い時は全共棟22教室）

【申込先・問合せ先】岐阜大学 就職支援室 E-mail: job@gifu-u.ac.jp ・Tel: 058-293-2147
希望者は7月17日までに右記内容をメールしてください：1.氏名 2.学部・専攻・学年 3.連絡先（E-mail ,Tel）

上記４回の講座以外、別途実践型ワークショップも開催します。

㈱keiseiが実施した講座の卒業生就職先一部（順不同）

【理系】トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、三菱自動車㈱、㈱日立製作所、㈱豊田自動織機、㈱デンソー、アイシン精機（㈱）、太平洋工業㈱、㈱ナベヤ、㈱東京アールアンドデー　など
【文系】㈱日立物流、日本メナード化粧品㈱、豊島㈱、㈱ＪＴＢコミュニケーションズ、㈱桃谷順天館、ダイナパック㈱、㈱スズケン、オオサキメディカル㈱、㈱テンポスなど



講　師
㈱keisei 張 敬清

主催：岐阜大学 就職支援室・留学支援室
愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

Free 外国人留学生向け (For Foreign Students)

就職活動支援コース 2018年度

Job Hunting seminar

第１回 自己分析（Self-analysis）



・自分の強み、なにをPRするか分からない！
・将来の方向性について迷う！
10月１０日（水）　14:40～17:10

第2回 企業分析 (Enterprise-analysis)



企業をどう探す？企業のなにをみるか？
１０月１７日（水）　14:40～17:10

第3回 応募書類 (Application documents)



履歴書（CV）をうまく書けない！何を書く？
１０月２４日（水）　14:40～ 17:10

第4回 面接訓練 (Interview training)



個人、集団面接、GDではなにが評価点？
１１月７日（水）　14:40～ 17:10

開催場所：図書館2F プレゼンルーム（定員：30名・狭い時は全共棟22教室）

【申込先・問合せ先】岐阜大学 就職支援室 E-mail: job@gifu-u.ac.jp ・Tel: 058-293-2147

希望者は10月10日までに右記内容をメールしてください：1.氏名 2.学部・専攻・学年 3.連絡先（E-mail,Tel）

講座使用言語：日本語、英語、中国語対応可能、別途個別相談もあり
各講座には、先輩就職体験談及び質問会を実施。出席先輩一覧。



工学部 化学生命工学科
Lee huiyuanさん
内定先：化粧品メーカー
㈱桃谷順天館



工学研究科（博士後期課程）
WEILISIさん
内定先：コンサルティング会社
アジア航測㈱



地域科学部 地域文化学科
趙錦程さん
内定先：電子機器メーカー
三幸電機㈱

主催：岐阜大学 就職支援室・留学支援室

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム



愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

Free 無料

外国人留学生のための

実践型ビジネススキルトレーニング

Job Hunting Training for International Students

日時 2018年12月19日(水)　14:40－17:10 (全5回)

会場 図書館２Ｆプレゼンルーム
Presentation Room
2nd Floor of Library

定員 先着30名

第1回 12/19(水)14:40－17:10
ビジネスマナー
Business Manner Training

第2回 12/26(水)14:40－17:10
グループディスカッション
Group Discussion Training

第3回 1/16(水)14:40－17:10
研究紹介
How to present your research

第4回 1/23(水)14:40－17:10
集団面接
Group Interview Training

第5回 1/30(水)14:40－17:10
個人面接
Personal Interview Training

【申込み方法　How to Apply】

MAIL gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp　　問合せ 058-293-2011

希望者は岐阜大学グローカル推進本部留学支援室のアドレスに以下の内容をメールしてください。
Please send your email to us with the following contents
1.氏名Name 2.学部Faculty・専攻Course・学年Grade 3.連絡先Contact（E-mail,Tel）

外国人留学生対象
就職活動 個別相談
申込受付中！（2019年2月）

履歴書の作成で困っている！ 企業分析のポイントとは？
就活の準備はいまから・・・　日本語には不安・・・・



個別相談実施日程（2月） 約1時間/人
日　　時：2/20（水） 11:00～、13:00～、15:30～
実施場所：図書館1F　海外学術交流協定大学オフィス
（受付：留学支援室）

参加申込み：
以下の内容をメールしてください。
1. 氏名、2. 学部/研究科、3. 学年、4. 連絡先（e-mail, Tel）、
5. 希望時間（先着順）

岐阜大学　グローカル推進本部留学支援室
E-mail:gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp
Tel: 058-293-2011

シラバス参照

開講年度	2018
授業科目名	デザイン思考序論
授業科目名（英文）	Design Thinking Introduction
担当教員	川瀬　真弓 木村　浩 國枝　稔 小林　信介 嶋津　光鑑 中川　寅 前澤　重禮 三輪　真一 毛利　哲也 森部　絢嗣
科目開講学部・学科	自然科学技術
科目区分	講義
科目分類	研究科共通科目
対象学年	1年生
開講学期・時間割・教室	前学期（前半）水曜日 1時限 工　111 前学期（前半）水曜日 1時限 応生　104 前学期（前半）水曜日 1時限 講堂 前学期（前半）水曜日 2時限 工　111 前学期（前半）水曜日 2時限 応生　104 前学期（前半）水曜日 2時限 講堂
授業の形態	講義
単位	1
履修コード	1ULL006701
備考1	春学期（1ターム）は学籍番号の末尾が奇数の学生が対象 夏学期（2ターム）は学籍番号の末尾が偶数の学生が対象 詳細な開講時間割及び教室は、下記「授業計画と準備学習」を確認すること。
シラバスURL	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?risyunen=2018&semekikn=1&kougicd=1ULL006701
科目ナンバリング	

授業概要	自然科学技術研究科におけるデザイン思考教育は，基礎編と応用編の2段階構成で設計されている．基礎編として，デザイン思考序論（必修）を春学期（学籍番号の奇数番号付与者，約220名）ならびに夏学期（学籍番号の偶数番号付与者，約220名）に実施し，応用編として，デザイン思考トレーニング（選択）を秋学期に実施する．春学期・夏学期ともに通常8回からなる1セメスターの授業は，1・2限目2コマ連続で実施するため4回ずつの開講となる． デザイン思考序論では，実際に実践されている企業の取組事例からデザイン思考の理論，活用事例を聞く，そのあと理論を確認しながら基本的なやり方を演習することで，デザイン思考の理論体系が定着する．短い期間ではあるものの，第1回から第4回まではデザイン思考のエッセンスが詰まっているためしっかり吸収してもらいたい． 授業概要は次のとおりである． 最初の講義時間に，実際にデザイン思考を使って業務に取り組まれている企業の実践者（※）に委嘱し，デザイン思考を使って問題解決している実践例をお話しいただく．実践者は日ごろから社会的課題を人中心に問題解決することに慣れている人である．デザイン思考の理論を理解し，第2回以降でしっかり演習に取り組んでもらいたい．授業の到達目標，授業計画の 詳細については，3，4の項目を参照すること．
到達目標	1．デザイン思考について理解し，問題解決に使えるようになる 2．デザイン思考を使って，人中心の問題解決をしてみる 3．デザイン思考スキルを身に付け，抽象度の高い社会の問題を解いてみる （第1回）プロの問題解決のデザイン方法を理解し，ワークシートに沿ってデザイン方法をまとめ，自分の言葉で語ることができるようになる （第2回）デザイン思考を使って，人中心の設計するときの基本を押さえ，問題構造を把握することができる． （第3回）デザイン思考を使って，よりよい解決策を構築し，それを具体化することができる．解決策ならびに具体化するときの評価項目がいえる． （第4回）デザイン思考を使って考えた解決策の提案会ならびに品評会から，比較検討のポイントを語ることができる．授業のまとめとして，第1回―第4回までのプロセスを自分の言葉で語ることができる（筆記試験）
授業計画と準備学習	※春学期・夏学期ともに，第1回の講義は大講堂で実施する． ※川瀬クラス（111番教室@学務系事務室手前の 教室），森部クラス（104教室@応用生物科学部棟） （第1回）【春】4/18 【夏】5/30　春学期の授業対象者は学籍番号の末番が奇数番号の者，@大講堂 デザイン思考を使って，個人の問題の範囲を超えた，大きな問題を解決するプロの創造技法，デザイン技法の基本，活用方法を理解する．今期の課題はこの回で発表する．課題例：社会的課題を人中心に解決するもの・サービスを設計する内容．第2回以降グループで取り組む課題を理解し，第2回までに何をするのか理解する． 【持ち物】筆記用具，講義後，リフレクションシートを提出 して帰ること（リフレクションシートは次回返却する）． 【次回までの課題】講義内で提示する （第2回）【春】4/25 【夏】6/6　川瀬クラス：111教室，森 部クラス：104教室

デザイン思考前半：発想から問題発見まで実施．第1回の宿題を用いてブレインストーミングを実践．創造的思考を用いて発想をしっかり広げ，問題空間を認識する．授業の後半は問題構造を構築し，問題を定義する．←人中心の設計時に必要な，主人公の認知プロセスをしっかり洗い出し，抽象度の高い問題として定義できているかどうかが評価ポイント．
【持ち物】第1回に発表された課題のレポート
【次回までの課題】講義内で提示する

（第3回）【春】5/9 【夏】6/20 川瀬クラス：111教室，森部クラス：104教室
デザイン思考後半：創造的問題解決策の特定，プロトタイプの内容の特定，評価項目の特定まで実施．★問題を解決する機能の組み合わせができているかどうかが評価ポイント．加えて問題点と解決策が論理的な整合性を持っているかどうかも評価ポイント．
【持ち物】第2回での話し合ったプロセスが分かるシート
【次回までの課題】約1週間後までに各グループのプロトタイプ（動画）提出．

（第4回）【春】5/23 【夏】7/4 川瀬クラス：工学部講義棟4階 41番 and 43番 教室，森部クラス：104教室
デザイン思考後半：テスト実施．プロトタイプ（動画）の発表会，評価軸を用いた評価実施．自分のグループと他のグループとの違いや参考になった箇所について語れるようになることが評価ポイント．授業後半は，第1回から第4回までの取組について，デザインプロセスを記述する（筆記試験）．
【持ち物】今までに話し合ったプロセスが分かるシート

授業の特色

✔	討論やプレゼンテーションなど、学生による対話や発表
	フィールドワーク、インターンシップ、ものづくり等の体験型学習
	図書館やラーニングコモンズなど、教室以外の場所を活用
✔	ゲストスピーカーの 招聘
✔	AIMS-Gifuを活用した授業と学習支援
✔	レポートの添削や提出物の返却
	その他

学生のアクティブ・ラーニングを促す取組

デザイン思考の目指すところはイノベーションであり，イノベーションは，ワイワイ，がやがやしながら手を動かし，柔軟な思考でアイデアをたくさん出すと生まれやすいことがわかっている．

本授業は，グループ形態で演習を進め，新しい内容を自分の中に取り込んでいくよう授業設計されている．他学科の学生さんと，ワイワイがやがや対話をし，デザインプロセスを楽しみながら価値創出を進めてほしい．

使用言語

✔	日本語
	英語
	その他

If the foreign students would need to explain the contents in English, we could support them so.

TA,SA配置予定

✔	TAによる授業支援
	SAによるピアサポート
✔	その他

デザイン思考教育をサポートする教員が支援教員として参加することもある．

基盤的能力 専門的能力

1. 基盤的能力に関する重点指導項目

進:	✔	計画	✔	実行	✔	管理
伝:	✔	傾聴	✔	発信	✔	把握
考:	✔	課題	✔	創造	✔	論理

2. 専門的能力や資質・能力に関して、育成を意図する指導

◎―話し合いが活性化する補助ツール：ビジュアルツール

付せん，ホワイトボード，ペンを使って，問題解決のパターンに沿って情報を構造化するよう支援する．

特に指導する必要はないと思われるが，話し合いがうまくいくコツは，話し合いで確定した内容を，ビジュアルツールを使ってどんどん構造化していくことである．構造を変更したい場合は付せんを張り替えれば（書き換えれば）よい．言語化したり，図化したりすることで互いの思考の構造が明らかとなり，合意形成がスムーズになるため，ある意味，グローバルな時代のリーダーに必要な技術といえる．

授業時間外の学習

◎―デザイン思 考の定着に向けて
デザイン思考序 論は，技能系の知識構築タイプの授業であるため，演習をとおして自分で理論 体系を構築し，抽象化したり理解を深めたりするものである（Learning by Doingの精神/ Jデューイ）．そのため，デザインを二重に実施することになる．1つは，授業の共通課題としての課題へのデザイン，もう1つは，自身の知識を構築していくデザインである．2つのデザインが同時進行で進むため，整理するための言語化を必要とする．そのために，発想を広げる段階と論理的にまとめる段階に分けて整理し，情報処理したうえで，記述してほしい．

◎―授業外の時間でのグループワークについて
授業回数が少ないことから，授業時間外にグループで課題解決型学習を進める機会を設けた．話し合いにより課題を分けて分担し，それぞれが責任をもって調べることを進める必要がある．話し合いの成果物はなるべく授業内に作成し終えてほしいが，超過した場合は話し合って完成させるようにしてほしい．

成績評価

・2／3以上の出席がない場合成績をつけない．特別の事情がある場合は，担当教員である川瀬（mkawase@gifu-u.ac.jp），森部（jmoribe@gifu-u.ac.jp）に必ず相談すること．

・グループでのデザインプロセスがわかる情報の提出（30%程度の比率），毎時授業後に提出するリフレクションの内容（20%程度の比率），授業最終日の発表（20%程度の比率），筆記記述（30%程度の比率）により評価する．

到達度評価方法

到達目標に対する自信の到達度を5段階に分けて評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった

1. デザイン思考について理解し，問題解決に使えるようになる
2. デザイン思考を使って，人中心の問題解決をしてみる
3. デザイン思考スキルを身に付け，抽象度の高い社会の問題を解いてみる

（第1回）「プロの問題解決のデザイン方法を理解し，ワークシートに沿ってデザイン方法をまとめ，自分の言葉で語ることができるようになる」ことに対し，どれくらいできるようになったか，5段階評価で自己評価する（以下同），5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった

（第2回）①デザイン思考を使って，人中心の設計するときの基本を押さえることができる．②人中心の設計をするとき問題構造を把握することができる．①②について，5段階評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった

（第3回）①デザイン思考を使って，よりよい解決策を構築し，それを具体化することができる．②解決策ならびに具体化するときの評価項目がいえる．について，5段階評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった

（第4回）①デザイン思考を使って考えた解決策の提案の発表会ならびに品評会から，比較検討のポイントを語ることができる．②第1回―第4回までのプロセスを自分の言葉で語ることができる（筆記試験） ①②について，5段階評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった．

本授業は知識系の授業ではないため，「デザイン思考でやるべきことがわかること」で終わりではなく，「デザイン思考を使って抽象度の高い問題解決ができるようになること」できれば，「抽象度が高い問題であっても問題解決のパターンを見究め，デザイン思考を活用できるようになること」までを目指して，問題解決の手法を自身でつくり上げてもらいたい．デザイン思考の基本に慣れ，デザイン思考が社会で活躍するときの一助となれば幸いである．

テキスト

テキスト（詳細）

参考文献

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN
1.	『ファシリテーション入門』	堀 公俊	日経文庫	2004	
2.	『システム×デザイン思考で世界を変える 慶應SDM「イノベーションのつくり方」』	前野隆司・保井俊之	日経BP社	2014	
3.	『誰のためのデザイン？―認知科学者のデザイン原論』	ノーマンドナルド・A（著），野島久雄（翻訳）	新曜社	1990	
4.	『デザイン思考が世界を変える』	ティム・ブラウン(著)，千葉敏生(翻訳)	早川書房	2014	
5.	『世界を変えるデザイン』	シンシア・スミス著，北村陽子訳	英治出版	2011	

参考文献（詳細）

1. グループワークの進め方を，4つに分けて捉える方法を紹介．入門書ながら必携の内容
2. ゼロから1を生み出すアイデアをどうつくっていくか，考え方，フレームを事例紹介している入門書
3. デザインを認知科学からとらえた著作．デザイン思考の原点と言われている歴史的名著．
4. IDEOのCEOであるティム・ブラウンによって書かれた著作．コラボレーションやコミュニケーション，デザイン思考を使って，社会に変化をもたらす新しいアイデア，イノベーションを起こそうとする方法，試みについて書かれた名著．購入しやすい廉価版を紹介した．

備考

本授業で獲得したデザイン思考の基礎的な手法を，身近な問題解決に応用して発展させてほしい．今後，グローバル社会で活躍するリーダーになりたいのであれば，本授業の発展版であるデザイン思考トレーニングを受講し，さらなるデザインリテラシーのスキルを磨いてほしいと願っている．

シラバス参照

開講年度	2018
授業科目名	デザイン思考序論
授業科目名（英文）	Design Thinking Introduction
担当教員	川瀬　真弓 木村　浩 國枝　稔 小林　信介 嶋津　光鑑 中川　寅 前澤　重禮 三輪　真一 毛利　哲也 森部　絢嗣
科目開講学部・学科	自然科学技術
科目区分	講義
科目分類	研究科共通科目
対象学年	1年生
開講学期・時間割・教室	前学期(後半) 水曜日 1時限 工　111 前学期(後半) 水曜日 1時限 応生　104 前学期(後半) 水曜日 1時限 講堂 前学期(後半) 水曜日 2時限 工　111 前学期(後半) 水曜日 2時限 応生　104 前学期(後半) 水曜日 2時限 講堂
授業の形態	講義
単位	1
履修コード	1ULL006702
備考1	春学期(1ターム)は学籍番号の末尾が奇数の学生が対象 夏学期(2ターム)は学籍番号の末尾が偶数の学生が対象 詳細な開講時間割及び教室は、下記「授業計画と準備学習」を確認すること。
シラバスURL	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?risyunen=2018&semekikn=1&kougicd=1ULL006702
科目ナンバリング	

授業概要	自然科学技術研究科におけるデザイン思考教育は，基礎編と応用編の2段階構成で設計されている．基礎編として，デザイン思考序論（必修）を春学期（学籍番号の奇数番号付与者，約220名）ならびに夏学期（学籍番号の偶数番号付与者，約220名）に実施し，応用編として，デザイン思考トレーニング（選択）を秋学期に実施する．春学期・夏学期ともに通常8回からなる1セメスターの授業は，1・2限目2コマ連続で実施するため4回ずつの開講となる． デザイン思考序論では，実際に実践されている企業の取組事例からデザイン思考の理論，活用事例を聞く．そのあと理論を確認しながら基本的なやり方を演習することで，デザイン思考の理論体系が定着する．短い期間ではあるものの，第1回から第4回まではデザイン思考のエッセンスが話まっているためしっかり吸収してもらいたい． 授業概要は次のとおりである． 最初の講義時間に，実際にデザイン思考を使って業務に取り組まれている企業の実践者（※）に委嘱し，デザイン思考を使って問題解決している実践例をお話しいただく．実践者は日ごろから社会的課題を人中心に問題解決することに慣れている人である．デザイン思考の理論を理解し，第2回以降でしっかり演習に取り組んでもらいたい．授業の到達目標，授業計画の 詳細については，3，4の項目を参照すること．
到達目標	1. デザイン思考について理解し，問題解決に使えるようになる 2. デザイン思考を使って，人中心の問題解決をしてみる 3. デザイン思考スキルを身に付け，抽象度の高い社会の問題を解いてみる （第1回）プロの問題解決のデザイン方法を理解し，ワークシートに沿ってデザイン方法をまとめ，自分の言葉で語ることができるようになる （第2回）デザイン思考を使って，人中心の設計するときの基本を押さえ，問題構造を把握することができる． （第3回）デザイン思考を使って，よりよい解決策を構築し，それを具体化することができる．解決策ならびに具体化するときの評価項目がいえる． （第4回）デザイン思考を使って考えた解決策の提案の発表会ならびに品評会から，比較検討のポイントを語ることができる．授業のまとめとして，第1回―第4回までのプロセスを自分の言葉で語ることができる（筆記試験）
授業計画と準備学習	※春学期・夏学期ともに，第1回の講義は大講堂で実施する． ※川瀬クラス（111番教室＠学務系事務室手前の教室），森部クラス（104教室＠応用生物科学部棟） （第1回）【春】4/18 【夏】5/30　夏学期の授業対象者は学籍番号の末番が偶数番号の者，＠大講堂 デザイン思考を使って，個人の問題の範囲を超えた，大きな問題を解決するプロの創造技法，デザイン技法の基本，活用方法を理解する．今期の課題はこの回で発表する．課題例：社会的課題を人中心に解決するもの・サービスを設計する内容．第2回以降グループで取り組む課題を理解し，第2回までに何をするのか理解する． 【持ち物】筆記用具，講義後，リフレクションシートを提出 して帰ること（リフレクションシートは次回返却する）． 【次回までの課題】講義内で提示する （第2回）【春】4/25 【夏】6/6　川瀬クラス：111教室，森部クラス：104教室 デザイン思考前半：発想から問題発見まで実施．第1回の宿題を用いてブレインストーミングを実践．創造的思考を用いて発想をしっかり広げ，問題空間を認識する．授業の後半は問題構造を構築し，問題を定義する．←人中心の設計時に必要な，主人公の認知プロセスをしっかり洗い出し，抽象度の高い問題として定義できているかどうかが評価ポイント． 【持ち物】第1回に発表された課題のレポート 【次回までの課題】講義内で提示する （第3回）【春】5/9 【夏】6/20　川瀬クラス：111教室，森部クラス：104教室 デザイン思考後半：創造的問題解決策の特定，プロトタイプの内容の特定，評価項目の特定まで実施．★問題を解決する機能の組み合わせができているかどうかが評価ポイント．加えて問題点と解決策が論理的な整合性を持っているかどうかも評価ポイント． 【持ち物】第2回での話し合ったプロセスが分かるシート 【次回までの課題】約1週間後までに各グループのプロトタイプ（動画）提出． （第4回）【春】5/23 【夏】7/4　川瀬クラス：工学部講義棟4階 41番 and 43番，森部クラス：104教室 デザイン思考後半：テスト実施，プロトタイプ（動画）の発表会，評価軸を用いた評価実施，自分のグループと他のグループとの違いや参考になった箇所について語れるようになることが評価ポイント．授業後半は，第1回から第4回までの取組について，デザインプロセスを記述する（筆記試験）． 【持ち物】今までに話し合ったプロセスが分かるシート

授業の特色

✔	討論やプレゼンテーションなど、学生による対話や発表
	フィールドワーク、インターンシップ、ものづくり等の体験型学習
	図書館やラーニングコモンズなど、教室以外の場所を活用
✔	ゲストスピーカーの招聘
✔	AIMS-Gifuを活用した授業と学習支援
✔	レポートの添削や提出物の返却
	その他

学生のアクティブ・ラーニングを促す取組

デザイン思考の 目指すところはイノベーションであり，イノベーションは，ワイワイ，がやがやしながら手を動かし，柔軟な思考でアイデアをたくさん出すと生まれやすいことがわかっている．

本授業は，グループ形態で演習を進め，新しい内容を自分の中に取り込んでいくよう授業設計されている．他学科の学生さんと，ワイワイがやがや対話をし，デザインプロセスを楽しみながら価値創出を進めてほしい．

使用言語

✔	日本語
	英語
	その他

If the foreign students would need to explain the contents in English, we could support them so.

TA,SA配置予定

✔	TAによる授業支援
	SAによるピアサポート
✔	その他

デザイン思考教育をサポートする教員が支援教員として参加することもある．

基盤的能力 専門的能力

1. 基盤的能力に関する重点指導項目

進:	✔	計画	✔	実行	✔	管理
伝:	✔	傾聴	✔	発信	✔	把握
考:	✔	課題	✔	創造	✔	論理

2. 専門的能力や資質・能力に関して、育成を意図する指導

	◎―話し合いが活性化する補助ツール：ビジュアルツール 付せん，ホワイトボード，ペンを使って，問題解決のパターンに沿って情報を構造化するよう支援する． 特に指導する必要はないと思われるが，話し合いがうまくいくコツは，話し合いで確定した内容を，ビジュアルツールを使ってどんどん構造化していくことである．構造を変更したい場合は付せんを張り替えれば（書き換えれば）よい．言語化したり，図化したりすることで互いの思考の構造が明らかとなり，合意形成がスムーズになるため，ある意味，グローバルな時代のリーダーに必要な技術といえる．
授業時間外の学習	◎―デザイン思考の定着に向けて デザイン思考序論は，技能系の知識構築タイプの授業であるため，演習をとおして自分で理論体系を構築し，抽象化したり理解を深めたりするものである（Learning by Doingの精神／J.デューイ）．そのため，デザインを二重に実施することになる．1つは，授業の共通課題としての課題へのデザイン，もう1つは，自身の知識を構築していくデザインである．2つのデザインが同時進行で進むため，整理するための言語化を必要とする．そのために，発想を広げる段階と論理的にまとめる段階に分けて整理し，情報処理したうえで，記述してほしい． ◎―授業外の時間でのグループワークについて 授業回数が少ないことから，授業時間外にグループで課題解決型学習を進める機会を設けた．話し合いにより課題を分けて分担し，それぞれが責任をもって調べることを進める必要がある．話し合いの成果物はなるべく授業内に作成し終えてほしいが，超過した場合は話し合って完成させるようにしてほしい．
成績評価	・2／3以上の出席がない場合成績をつけない．特別の事情がある場合は，担当教員である川瀬（mkawase@gifu-u.ac.jp），森部（jmoribe@gifu-u.ac.jp）に必ず相談すること． ・グループでのデザインプロセスがわかる情報の提出（30%程度の比率），毎時授業後に提出するリフレクションの内容（20%程度の比率），授業最終日の発表（20%程度の 比率），筆記 記述（30%程度の比率）により評価する．
到達度評価方法	到達目標に対する自信の到達度を5段階に分けて評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝ あまりできなかった，1＝まったくできなかった 1. デザイン思考について理解し，問題解決に使えるようになる 2. デザイン 思考を使って，人中心の問題解決をしてみる 3. デザイン思考スキルを身に付け，抽象度の高い社会の問題を解いてみる （第1回）「プロの問題解決のデザイン方法を理解し，ワークシートに沿ってデザイン方法をまとめ，自分の言葉で語ることができるようになる」ことに対し，どれくらいできるようになったか，5段階評価で自己評価する（以下同），5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった （第2回）①デザイン思考を使って，人中心の設計するときの基本を押さえることができる．②人中心の設計をするとき問題構造を把握することができる．①②について，5段階評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった （第3回）①デザイン思考を使って，よりよい解決策を構築し，それを具体化することができる．②解決策ならびに具体 化するときの評 価項目がいえる．について，5段階評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった （第4回）①デザイン思考を使って考えた解決策の提案の発表会ならびに品評会から，比 較検討のポイントを語ることができる．②第1回―第4回までのプロセスを自分の言葉で語ることができる（筆記試験） ①②について，5段階評価する．5＝とてもよくできた，4＝できた，3＝少しできた，2＝あまりできなかった，1＝まったくできなかった． 本授業は知識系の授業ではないため，「デザイン思考でやるべきことがわかること」で終わりではなく，「デザイン思考を使って抽象度の高い問題解決ができるようになること」，できれば，「抽象度が高い問題であっても問題解決のパターンを 見究め，デザイン思考を活用できるようになること」までを目指して，問題解決の手法を自身でつくり上げてもらいたい．デザイン 思考の基本に慣れ，デザイン思考が社会で活躍するときの一助となれば幸いである．
テキスト	
テキスト（詳細）	
参考文献	No / 書籍名 / 著者名 / 出版社 / 出版年 / ISBN/ISSN 1. / 『ファシリテーション入門』 / 堀　公俊 / 日経文庫 / 2004 / 2. / 『システム×デザイン思考で世界を変える 慶應SDM「イノベーションのつくり方」』 / 前野隆司・保井俊之 / 日経BP社 / 2014 / 3. / 『誰のためのデザイン？―認知科学者のデザイン原 論』 / ノーマン,ドナルド・A（著），野島久雄（翻訳） / 新曜社 / 1990 / 4. / 『デザイン思考が世界を変える』 / ティム・ブラウン(著)，千葉敏生(翻訳) / 早川書房 / 2014 / 5. / 『世界を変えるデザイン』 / シンシア・スミス著，北村陽子訳 / 英治出版 / 2011 /
参考文献（詳細）	1. グループワークの進め方を，4つに分けて捉える方法を紹介．入門書ながら必携の内容 2. ゼロから1を生み出すアイデアをどうつくっていくか，考え方，フレームを事例紹介している入門書 3. デザインを認知 科学からとらえた著作．デザイン思考の原点と言われている歴史的名著． 4. IDEOのCEOであるティム・ブラウンによって書かれた著作．コラボレーションやコミュニケーション，デザイン思考を使って，社会に変化をもたらす新しいアイデア，イノベーションを起こそうとする方法，試みについて書かれた名著．購入しやすい廉価版を紹介した．
備考	本授業で獲得したデザイン思考の基礎的な手法を，身近な問題解決に応用して発展させてほしい．今後，グローバル社会で活躍するリーダーになりたいのであれば，本授業の発展版であるデザイン思考トレーニングを受講し，さらなるデザインリテラシーのスキルを磨いてほしいと願っている．

シラバス参照

開講年度	2018
授業科目名	Design Thinking Training Workshops
授業科目名（英文）	Design Thinking Training Workshops
担当教員	川瀬　真弓
科目開講学部・学科	自然科学技術
科目区分	講義
科目分類	研究科共通科目
対象学年	1年生
開講学期・時間 割・教室	後期（集中・随時） その他 未定 後日指定
授業の形態	講義
単位	1
履修コード	2ULL00661
備考1	
シラバスURL	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?risyunen=2018&semekikn=1&kougicd=2ULL00661
科目ナンバリング	

授業概要	In this class, you will learn how to design a new artifact by using Design Thinking. And then we think about problems in sustainable development society and learn how to solve the problem through workshops using design thinking. In Advanced Workshop Design, you would understand basic theory to grasp various problems and practice workshops using theory. Using the idea concept considered in this class, we actually would do prototyping and simulation activities in the Design Thinking Training Workshop. If it is possible, we would like to have classes taken together.
到達目標	1. It is possible for you to apply how to design by Design Thinking 2. It is possible for you to construct the true problem space by the way of human-centered design 3. Applying the design thinking skill and you could solve the social problem with high level of abstraction
授業計画と準備学習	This class is compulsory, it will be held in an intensive lecture. The professor will be in charge of not only Kawase but also Ms. Kuniko Urashima. Last year's example: · It took 4 periods a day and carried out in 2 days. · I will announce it by e-mail before the fall semester starts, so prepare for the lecture.
授業の特色	☑ 討論やプレゼンテーションなど、学生による対話や発表 ☐ フィールドワーク、インターンシップ、ものづくり等の体験型学習 ☐ 図書館やラーニングコモンズなど、教室以外の場所を活用 ☐ ゲストスピーカーの招聘 ☑ AIMS-Gifuを活用した授業と学習支援 ☑ レポートの添削や提出物の返却 ☐ その他

学生のアクティブ・ラーニングを促す取組	This class is conducted by the group work entity, with the aim of becoming active learning. I want you to advance thinking while managing thought so that it will be a good discussion.
使用言語	☐ 日本語 ☑ 英語 ☐ その他 We have a class in English.
TA,SA配置予定	☐ TAによる授業支援 ☐ SAによるピアサポート ☑ その他 We give a support each group by facilitation.
基盤的能力 専門的能力	**1. 基盤的能力に関する重点指導項目** **進:** ☑ 計画 ☑ 実行 ☑ 管理 **伝:** ☑ 傾聴 ☑ 発信 ☑ 把握 **考:** ☑ 課題 ☑ 創造 ☑ 論理 **2. 専門的能力や資質・能力に関して、育成を意図する指導** 1. Important guidance on basic capabilities The three skills recommended by Gifu University will be extended by Design Thinking. [Progress] includes planning, execution and management. [Transmission] includes listening, transmission, grasping. [Thought] includes issues, creation, logic
授業時間外の学習	To solve the problem, investigation may be necessary. At that time, I would like you to collect information method as much as possible.
成績評価	Based on objective indicators. ・2/3 attendance required ・Group work on an individual basis
到達度評価方法	We evaluate according to participation attitude of group work and the contents of report. Evaluation criteria are as follows; 1. It is possible for you to apply how to design by Design Thinking…【B】 2. It is possible for you to construct the true problem space by the way of human-centered design…【A】 3. Applying the design thinking skill and you could solve the social problem with high level of abstraction…【S】
テキスト	
テキスト（詳細）	We distribute the materials within class as necessary.
参考文献	
参考文献（詳細）	
備考	

シラバス参照

開講年度	2018
授業科目名	Advanced Workshop Design
授業科目名（英文）	Advanced Workshop Design
担当教員	川瀬　真弓
科目開講学部・学科	自然科学技術
科目区分	講義
科目分類	研究科共通科目
対象学年	1年生
開講学期・時間割・教室	後期（集中・随時）その他 未定 後日指定
授業の形態	講義
単位	1
履修コード	2ULL00671
備考1	
シラバスURL	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/slbssbdr.do?risyunen=2018&semekikn=1&kougicd=2ULL00671
科目ナンバリング	

授業概要	In this class, you will learn how to design a new artifact by using Design Thinking. And then we think about problems in sustainable development society and learn how to solve the problem through workshops using design thinking. In Advanced Workshop Design, you would understand basic theory to grasp various problems and practice workshops using theory. Using the idea concept considered in this class, we actually would do prototyping and simulation activities in the Design Thinking Training Workshop. If it is possible, we would like to have classes taken together.
到達目標	1. It is possible for you to understand how to design by Design Thinking 2. It is possible for you to solve the true problem by the way of human-centered design 3. Getting the design thinking skill and it trys to solve the problem of the society with high abstraction
授業計画と準備学習	This class is compulsory, it will be held in an intensive lecture. The professor will be in charge of not only Kawase but also Ms. Kuniko Urashima. Last year's example: ・It took 4 periods a day and carried out in 2 days. ・I will announce it by e-mail before the fall semester starts, so prepare for the lecture.
授業の特色	☑ 討論やプレゼンテーションなど、学生による対話や発表 ☐ フィールドワーク、インターンシップ、ものづくり等の体験型学習 ☐ 図書館やラーニングコモンズなど、教室以外の場所を活用 ☐ ゲストスピーカーの招聘 ☑ AIMS-Gifuを活用した授業と学習支援 ☑ レポートの添削や提出物の返却 ☐ その他

学生のアクティブ・ラーニングを促す取組	This class is conducted by the group work entity, with the aim of becoming active learning. I want you to advance thinking while managing thought so that it will be a good discussion.
使用言語	☐ 日本語 ☑ 英語 ☐ その他
TA,SA配置予定	☐ TAによる授業支援 ☐ SAによるピアサポート ☑ その他
基盤的能力 専門的能力	**1. 基盤的能力に関する重点指導項目** **進:** ☑ 計画 ☑ 実行 ☑ 管理 **伝:** ☑ 傾聴 ☑ 発信 ☑ 把握 **考:** ☑ 課題 ☑ 創造 ☑ 論理 **2. 専門的能力や資質・能力に関して、育成を意図する指導** 1. Important guidance on basic capabilities The three skills recommended by Gifu University will be extended by Design Thinking. [Progress] includes planning, execution and management. [Transmission] includes listening, transmission, grasping. [Thought] includes issues, creation, logic
授業時間外の学習	To solve the problem, investigation may be necessary. At that time, I would like you to collect information method as much as possible.
成績評価	Based on objective indicators. ・2/3 attendance required ・Group work on an individual basis
到達度評価方法	1. It is possible for you to understand how to design by Design Thinking…【B】 2. It is possible for you to solve the true problem by the way of human-centered design…【A】 3. Getting the design thinking skill and it trys to solve the problem of the society with high abstraction…【S】
テキスト	
テキスト（詳細）	
参考文献	
参考文献（詳細）	
備考	

外国人 留学生 のための就職ガイダンス

Career Guidance for International Students

前期は主にインターンシップについて説明をします。
日本で就職を希望する学生は、インターンシップに参加しましょう。
そのためにガイダンスに積極的に参加してください。お待ちしています。

In the first semester, we will mainly talk about “Internship” in our guidance. We highly recommend you to take part in the company’s internship if you want a job in Japan. To make it successful, you should attend our guidance as much as possible. We look forward to seeing you there.

１．日本での就職活動やインターンシップについて

What are Japanese job hunting and company’s internship like?

日時：2018年5月8（火）
時間：15：00～16：30
場所：19号館219室
講師：ハローワーク（Hello Work: Public Employment Security Office）
※英語での通訳します
※The guidance will be explained in both Japanese and English.

２．インターンシップの応募方法や筆記試験（ＳＰＩ）について

How to apply for an internship and written test (SPI).

日時：2018年6月1（金）
時間：15：00～16：30
場所：19号館203室（PC room）
講師：リクナビ
※できればパソコンかタブレット端末を持ってきてください
※Please bring your own PC or tablet if possible.

３．インターンシップの企業選択やエントリー方法について

How to select companies and make an “entry” for an internship.

日時：2018年6月8（金）
時間：15：00～16：30
場所：19号館203室（PC room）
講師：マイナビ
※できればパソコンかタブレット端末を持ってきてください
※Please bring your own PC or tablet if possible.

問い合わせ先

学生センター１０番窓口
If you have any questions, please come to student center window 10.

外国人留学生向け
For International Students

エントリーシート対策講座
Entry Sheet Preparatory Seminar

＜日時＞
２０１８年７月１１日（水）１３：３０～１５：３０

＜場所＞　19号館 2階 219教室

＜内容＞　エントリーシートの書き方

＜Date & Time＞
Wednesday, July 11th　１３：３０～１５：３０

＜Venue＞　Bldg.19 , 2nd floor Class Room 219

＜content＞　How to write Entry sheets



・予約制です。（先着２０名）
学生センター７番窓口　留学生支援室で予約をして下さい。
・Please make a reservation at International Student Affairs Office.
20 seats available. First come, first served basis.

問い合わせ先：留学生支援室 / Contact : International Students Affairs Office
international@adm.nitech.ac.jp

活躍する卒業生を迎えて
就職セミナー　パネルディスカッション

Career Seminar by Indian graduates

2018年 10/27 SAT

４号館 会議室３
4th Building.
Meeting Room 3

＜プログラム＞ <program>

15:00 ～ 16:00　就職セミナー　Career Seminar

日本国内、自国へ帰国し就職した留学生に就職時の
体験と仕事の内容など現況の講演。

Lecture of the present situation of work and job hunting experience by graduates who found a job in Japan.

16:30 ～ 17:30　情報交換会　Information Exchange Meeting

講演者、セミナー参加者、日本人学生と就職、学生生活の情報
又は互いの文化について交流を図ります。

Exchange information on each other's cultures, job hunting activities, student life.

＜講演者・パネリスト＞<panelist>

Mr. UTKARSH PRAKASH
スズキ株式会社
四輪ハイブリット設計部
SUZUKI Motor Corporation
Four Wheels Hybrid Designing Department
2017年卒　Graduated in 2017

Mr. NIKHIL KUMAR
大同メタル工業株式会社
研究開発センター鋳造技術G
DAIDO Metal Co.,Ltd
R&D Center, Molding Tech. Group
2017年卒　Graduated in 2017

問い合わせ先：学生生活課留学生支援室　Contact: International Student Affairs Office

外国人留学生のための就職ガイダンス
Career Guidance for International Students

全学年対象
All Students are Welcome

外国人留学生が知っておくべき日本の就活
What Int'l students need to know about Job-hunting in Japan
企業研究・企業選択の仕方
How to research/How to select Companies

外国人留学生の就活って日本人学生のと違うの？
What is the difference between Job-hunting for Japanese students and International Students?



企業研究ってなに？
What is Company Research?

どうやって自分に合う企業を見つけるの？
How can I find the suitable company for myself?

留学生の就職支援を専門に行っている講師が、あなたの疑問に答えます。
日本での就職を考える人はぜひ参加してください。
Career Consultant for International Students gives you an advice for better job-hunting.

講師：須藤　歩　先生　株式会社オリジネーター
Instructor : Ms. Ayumi Sudo from Originator Co., Ltd.

＜株式会社オリジネーター＞2001年から留学生の就職をサポートしている、グローバル人材就職サポート事業のパイオニア企業です。このガイダンスで登録をすれば、今後のインターンシップ情報なども得ることができます。Originator Co., Ltd., a pioneer in the global recruiting industry, has been supporting international students' job-hunting since 2001. You can also get internship information after registration.

【日時】**１０月３１日（水） October 31st (Wed)**
① **14:00～15:30 (日本語で進行)** ① **2:00~3:30p.m. (In Japanese)**
② **15:40～17:10 (英語で進行)** ② **3:40~5:10p.m. (In English)**

【場所】**４号館２階会議室２** Bldg.4, 2nd floor, Meeting Room 2

【対象】**就活中の学生・就活が近い学生・将来日本での就職に興味がある学生など。全学年対象。**
All students who are job-hunting, who will job-hunt in the near future or who have interests in working in Japan. All grades are welcome!

【持ち物】**スマートフォンまたはタブレット**
Please bring your own smartphone or tablet.

【申込方法】留学生支援室 (international@adm.nitech.ac.jp)へメールしてください。
(名前・学生番号・専攻・①または②)
For application, please send an email to international@adm.nitech.ac.jp with your name, student number, major and ①Japanese/②English .

外国人留学生のための就職ガイダンス
Career Guidance for International Students

English translation is available!

日本の就職活動とは？
Basic Knowledge about Japanese Job Hunting



ハローワーク（名古屋外国人雇用サービスセンター）から講師をお招きします。外国人や留学生の就活の支援をしている公的機関で、無料でサービスを受けることができます。求人情報だけでなく、履歴書の書き方などの講座や、日本語教室、模擬面接、個別相談なども行っています。
We are going to have instructors from Hello Work/Nagoya Employment Service Center for Foreigners. This is a public organization, so basically services are provided for free. Their services include not only introducing jobs but also helping your resume writing, Japanese language training, interview practice and individual consultation.
https://jsite.mhlw.go.jp/aichi-foreigner/

【日時】**１１月１４日（水） November 14th (Wed.)**
３：００～４：３０ p.m.
※ 英語の通訳あります　English translation is available!

【場所】**１９号館２階２１３教室　Bldg.19, 2nd floor, #213**

【対象】**これから就活を控える学生、将来日本での就職に興味がある学生 など。**
All students who will job-hunt in the near future or who have interests in working in Japan. All years are welcome!

【申込方法】**１１月１３日(火)までに、**
留学生支援室(international@adm.nitech.ac.jp)へメールしてください。
(名前・学生番号・学年・専攻)
For application, please send an email to interternational@adm.nitech.ac.jp with your name, student number, year and major.

外国人留学生のための就職ガイダンス
Career Guidance for International Students

エントリーシートチャレンジ講座
Entry-Sheet Challenge Seminar

Seminar in English available!

いよいよ就職活動が本格化する季節がやってきます。夏のインターンシップのエントリーシートで苦労した人はいませんか？講師の先生と一緒にエントリーシートを書いて不安なく就活をスタートしましょう！
The job-hunting season is about to start! Did you have difficulties writing Entry-Sheet for Internship program in the past summer? Let's try to write it with Instructors for making your job-hunting successful!!





書き終わるまで帰れません！あきらめずあなたらしいエントリーシートを完成させましょう。
This is a practical training for writing Entry-Sheet. You cannot leave the room until you finish writing!

講師：株式会社リクルートキャリア
Instructors from Recruit Career Co., Ltd.
川村法征先生　Mr. Kawamura
張芸洋先生　Mr. Cho

【日時】 １月３０日（水） January 30th (Wed.)
２：００～５：００p.m.（時間が変更になりました）

【場所】日本語クラス １９号館２階２０３教室
Seminar in Japanese : Bldg.19, 2nd floor, Room #203
英語クラス　４号館２階 会議室２
Seminar in English　: Bldg.4, 2nd floor, Room #2

【対象】日本で就職活動をする学生（‘１９秋、’２０春卒予定など）
All students who will job-hunt in Japan soon (Graduating in ‘19 Fall & ‘20 Spring)

【持ち物】自分のＰＣかタブレット Please bring your own PC or tablet.

【申込方法】１月２３日(水)までに留学生支援室(international@adm.nitech.ac.jp)へメールしてください。(件名「エントリーシート講座出席希望」・名前・学生番号・学年・専攻・日本語/英語クラス)
For application, please send an email to interternational@adm.nitech.ac.jp with the subject ‘エントリーシート講座出席希望’, your name, student number, academic year, major and Japanese/English class. Deadline : January 23rd (Wed.)

「外国人留学生向け就職ガイダンス」
Career Guidance for International Students

by Harmony For (Job Tree Japan)

どうやって企業を探したらよいの？
How can I search companies for myself?
どの企業が留学生を採用したいと思っているの？
Which companies want to hire international students?
留学生が内定をもらうために必要なポイントは？
What are tips for international students' successful job-hunting?

Job Tree Japanでは、留学生向け求人を多く取り扱っています。まずは登録を！
Job Tree Japan has lots of job offer information for international students. Please make a registration!

【日時】２月１日（金）１４：４０－１６：１０
Date: February 1st (Fri.) 2:40 ~ 4:10 p.m.
【場所】名古屋工業大学１９号館２階２１３教室
Venue: NITech Bldg.19, 2nd floor, Room213
【講師】塚本将弘　先生　Harmony For (Job Tree Japan)
Instructor: Mr.Masahiro Tsukamoto from Harmony For (Job Tree Japan)
【費用】無料　Fee: Free
【対象】名工大の留学生 (日本で就職活動する人)
NITech international students who want to start job-hunting in Japan. All academic years welcome.
【申込】申し込みは不要です。直接会場に来てください。
途中入退室OK。
No reservation required. Please come to the venue directly.

※当日はJob Tree Japanの紹介、日本で仕事を見つけるテクニックの説明のほか、希望者には個別の相談会も行います。
The instructor will explain what is ‘Job Tree Japan’, and tips for successful job-hunting in Japan. Individual consultation is available after the guidance.

まだ就活モードになっていない人、何からしたらよいかわからない人、ぜひこのセミナーに参加して就活の第一歩を踏み出してください。
If you are not ready for starting job-hunting or you don't know what to do, you are strongly recommended to attend this guidance!

【問い合わせ】留学生支援室　international@adm.nitech.ac.jp


就
カツ勝
AICHI
EMAIL：info@global-aichi.or.jp
HP : https://global-aichi.or.jp/
スーツ着用！
Suit required!


就
カツ勝

名城大学　留学生就職促進プログラム2018　シラバス

講座番号②　《科目名》　キャリア教育講座

《担当者》　張　　敬清

《開講曜日・時限》　６月から１１月までの主に土曜日

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－412教室他

《授業の概要と目的》　日本企業で求められる「問題発見力」「問題解決力」「コミュニケーション」「チームワーク」を実践を通して学ぶ

《到達目標》　日本企業が得意とする改善の技術を学び、自分の身の回りで実践でき、就活で企業にPRできるレベルまで高める

《授業計画》

	実施日	時限	項目	内容	ゲスト講師
1	6月23日(土)	2～4時限	１）オリエンテーション フィールドワーク１	日本企業が外国人留学生に求めるキャリアビジョンとは何か。 企業目線で日本のお店を眺め、問題点や自分のアイデアを出そう。	高崎敏治
2	7月7日(土)～8日(日)		２）合宿	企業で行っている様々な改善手法を学び、自分でやってみよう。	高崎敏治
3	8月18日(土)	2～4時限	３）フィールドワーク２	若手日本人が感じる社会の課題を知り、自分の意見を持とう。	高崎敏治
4	9月10日(月)	2～4時限	４）企業見学	企業の改善活動を自分の目で確かめ、技術や管理手法を向上させよう。	高崎敏治
5	11月8日(木)	4時限	５）課題発表会	実績をまとめ、就活でもプレゼンできる発表準備をしよう。	

《授業方法の形式》　１）３）４）は訪問見学・体験、２）は合宿

《受講生へのメッセージ》

企業は自ら問題を見つけ、周りの人達と協力しながら解決してゆく自走型の社員を求めています。こうした意識や行動は日常生活の中からは生まれにくく、自分で感じ、考え、企画し、行動解決するための意識作り・知識・実践を併せて行うプログラムが必要です。この講座は、就活で日本企業にPRできるレベルにまで高める実践講座です。

名城大学　留学生就職促進プログラム2018　シラバス

講座番号①　《科目名》　就職活動支援講座

《担当者》　張　　敬清

《開講曜日・時限》　６月から１２月までの土曜日　1・2時限（9月22日は1から3時限）

《開催場所》　共通講義棟北Ｎ－412教室他

《授業の概要と目的》　就職活動に必要な準備事項とそのポイントなどを体系的に解説し、チャンスを逃さない就活準備を行う

《到達目標》　各個人に応じた自己の強みの特定、企業選び、選ばれる応募書類、競争力のある面接訓練等を進め、スキのない就活準備を行う

《授業計画》

時期	回数	実施日	時限	項目	内容	ゲスト講師
前期	第１回目	6月9日(土)	1時限	自己分析　理論	自分の強み・夢の特定に向けた自分の掘り起こし	
			2時限	実践	企業に売り込むべき自己の長所、強みの特定	
	第２回目	6月30日(土)	1時限	企業分析　理論	企業分析はなぜ必要か。企業と留学生との視点の違い	
			2時限	実践	企業分析の仕方と自分の強みが生かせる企業の選び方	
	第３回目	7月21日(土)	1時限	応募書類準備　理論	エントリーシートや履歴書で採用担当者は何を見ているか	
			2時限	実践	選抜されるために応募書類に何をどう書くか	
後期	第４回目	9月22日(土)	1時限	面接訓練　理論	企業は面接でどこに注目しているか。対応のポイント	
			2時限	ビジネスマナー研修	挨拶、おじぎ、身だしなみなど日本社会のビジネスマナー	
			3時限	内定者体験談	先輩の就職活動の経験を知り、自ら	
	第５回目	10月20日(土)	1時限	グループディスカッション（GD）　1	留学生がもっとも弱いGDですべきこと、してはいけないこと	高崎敏治
			2時限	グループディスカッション（GD）　2	GDの経験値を増やす	
	第６回目	11月24日(土)	1時限	専攻内容の説明	難しい内容を専門用語を使わず易しくかつ十分に伝える	高崎敏治
			2時限	面接での弱点の克服	様々な面接の形態や答えにくい質問への対応を準備する	
	第７回目	12月15日(土)	1時限	集団面接訓練	集団面接の狙いとそれに応える手法を体験する	高崎敏治
			2時限	個人面接訓練	自分を出し切る面接の最終チェックをする	

《授業方法の形式》　講義、実習

《受講生へのメッセージ》　就活はシーズンが来てから行うものでなく、事前準備でほぼ勝敗が決まります。その準備事項は自己分析から順番に積み上げるもので、急にはできません。この講座では企業の視点を解説し、外さない準備を無理なく体系的に進めます。また、講座参加者には個別相談の機会が別途あり、自分にあった就活ができます。

愛岐留学生就職支援コンソーシアム

留学生就職促進プログラム2018

就職ガイダンス・講座説明会

プログラム開講講座

参加募集

ビジネス日本語講座 基礎・実践
ﾋﾞｼﾞﾈｽに必要な日本語能力を身につけます

キャリア教育講座
日本企業で求められる様々な力を実践を通して学びます

就職活動支援講座
就職活動に必要な準備事項とポイントを学びます

インターンシップ説明会・報告会
インターンシップ募集説明会と参加者報告会

シンポジウム
留学生の就職に関するシンポジウム

カウンセリング
就職何でも相談

日 時・場 所

4月26日（木）
16:30～18:00
天白ｷｬﾝﾊﾟｽ共通講義棟北 N104

プログラム趣旨

愛知、岐阜の産官学コンソーシアムによる地域国際化を支援するプログラムです。日本企業に就職を考えている留学生のみなさん、日本語を学び、日本企業を知る絶好のチャンスです。受講料は全て無料です

プログラム受講メリット

受講回数に応じてポイントが付与され、ポイント数に応じて次のメリットがあります
①奨学金を付与（人数限定）
②修了者に認定証を発行。在留資格変更手続きの際の書類簡素化に向けて検討中（2年後）
＊以上はコンソーシアム参加大学のみ対象

お申込み・お問い合わせ
名城大学 キャリアセンター TEL.052-838-2038
〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
E-mail：career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

対象：外国人留学生（学校不問）

主催：名城大学 キャリセンター

(Free 無料)

Business Japanese
ビジネス日本語講座

基礎と実践、両方学べるよ！

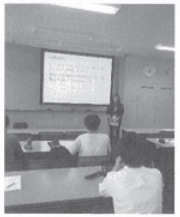
講座会場：名城大学天白キャンパス 共通講義棟北N-507

基礎編（前期のみ）
（5月10日－9月27日）
木曜日 13:10-14:40
ビジネス日本語、敬語表現を学習し、円滑なコミュニケーションを目指そう！

実践編（前期）
（5月10日－9月27日）
木曜日 16:30-18:00

実践編（後期）
（10月4日－1月10日）
木曜日 13:10-14:40
ビジネス日本語、ビジネススキル、商習慣などを実践から学ぼう！

発表やお辞儀の練習も




参加申込に必要な内容：
大学名・学部・研究科名、学籍番号、氏名、国籍、申込講座名、Tel

申込先（E-mail）：
名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ
career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

お問合せ先： 名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ 052-838-2038

愛岐留学生就職支援コンソシアム 留学生就職促進プログラム（2018年度）

外国人留学生　全学年対象！

無料 Free

就職活動支援講座

（2018年度 前期）

卒業後の進路に迷う　母国となにがちがう　夏ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟの準備

実施場所：　名城大学　天白キャンパス
共通講義棟北Ｎ－５０６教室

第１回　６月９日（土）9:10-12:20　自己分析

【解決する課題】私は一体将来なにをしたいのか？
私の強みは？長所は？

第２回　６月３０日（土）9:10-12:20 企業分析

【解決する課題】企業分析はなぜ必要か？
企業分析はどのように進めるか？

第3回　７月２１日（土）9:10-12:20　応募書類

【解決する課題】インターンシップ・書類選考はどんな内容？
選抜されるためにはどのように書くか？

後期講座内容：9/22(土)、10/20（土）、11/24(土)、12/15（土）
面接訓練、ビジネスマナー、グループディスカッション等

申込に必要な内容	大学名・学部・研究科名、学籍番号、氏名、国籍、申込講座名、Tel
申込先（E-mail）	名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp
お問合せ先	名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学　ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ

Tel 052-838-2038

主催：名城大学　キャリアセンター
愛岐留学生就職支援コンソシアム　留学生就職促進プログラム

外国人留学生　全学年対象！

無料 Free

就職活動支援講座

（2018年度 後期）

面接時の評価ﾎﾟｲﾝﾄ　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ訓練　難しい専攻内容の説明

実施場所：　名城大学　天白キャンパス
共通講義棟北Ｎ－５０６教室

第４回　９月２２日（土）9:10-14:40　面接試験・マナー

【解決する課題】集団面接・個人面接の評価ポイントはなにか？
就活時のビジネスマナーはどんな内容？
先輩はなぜ内定をもらえたのか？（体験談）

第５回　１０月２０日（土）9:10-12:20　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ(GD)

【解決する課題】ＧＤですべきこと？してはいけないこと？
場数を多く踏み、経験値を増やしたい！

第６回　１１月２４日（土）9:10-12:20　専攻内容の説明

【解決する課題】難しい内容をいかに分かりやすく伝えるか？
面接で答えにくい質問、どう対応するか？

第７回　１２月１５日（土）9:10-12:20　模擬面接訓練

【解決する課題】集団面接・個人面接を実際受けてみたい！

申込に必要な内容	大学名・学部・研究科名、学籍番号、氏名、国籍、申込講座名、Te
申込先（E-mail）	名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp
お問合せ先	名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学　ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ

Tel 052-838-2038

主催：名城大学　キャリアセンター
愛岐留学生就職支援コンソシアム　留学生就職促進プログラム

主催：名城大学　キャリアセンター

無料 Free

一緒に出掛けて、自分にあった仕事探しや
日本で働くための能力UPをしませんか？

留学生のためのすぐに役立つ
2018年度 キャリア教育講座(土・日)
参加者募集中!

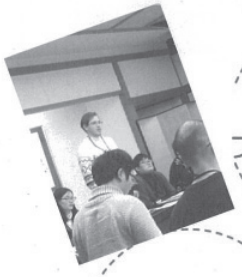


体験型！

体験だから自信をもって面接で語れます

長所を伸ばす

日本で働くために必要な能力のうち、
一人一人の得意なものを伸ばすので楽しい。



6/23(土)
10:50-16:20
フィールドワーク
小売業

7/7、8(土日)
合宿
愛知県奥三河総合
センター



8/18(土)
10:50-16:20
フィールドワーク



9/10(月)
10:50-16:20
製造業見学



11/8(木)
14:50-16:20
最終発表

会場：名城大学天白キャンパス　共通講義棟N-412(6/23), N-507(11/8)　ほかは学外

申込に必要な内容：　大学名・学部・研究科名、学籍番号、氏名、国籍、申込講座名、Te

申込先（E-mail)：　名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

お問合せ先：　名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ　052-838-2038

愛岐留学生就職支援コンソシアム　留学生就職促進プログラム

主催：名城大学キャリアセンター

外国人留学生のための
キャリア教育講座

Free
先着20名







2018.9.10(Mon.) 企業見学

～グローバルな現場で学ぶ！～

企業紹介　kawamura

会社名：河村電器産業株式会社
設立：1929年8月
資本金：18億340万円
従業員数：1,857名
事業内容：電機機器の製造・販売
主な商品：配電用分電盤、制御盤、etc
海外拠点：中国、タイに製造工場あり。
ほかには代理店あり。

当日の流れ

11:20 名城大学天白キャンパス　集合
場所：共通講義棟北507教室
11:20-12:00 オリエンテーション
12:10-13:10 バスで移動（昼食は持参）
13:15-15:15 企業見学
15:20 移動
16:40 名城大学天白キャンパス　解散

申込に必要な内容：　件名【9月10日見学申込】
メール内容【大学名・学部・研究科名、学籍番号、氏名、国籍、Tel】

申込先（E-mail)：　名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

お問合せ先：　名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ 052-838-2038

愛岐留学生就職支援コンソシアム　留学生就職促進プログラム

外国人留学生向け
For International Students

インターンシップ準備講座
Internship Preparatory Seminars

予約制
Need Reservation



先着20名
20 Seats Available.
First come, first served.

＜日時/Date & Time＞ 第1回　2018年6月13日（水）14:00～16:00
Part 1　Wednesday, June 13th
＜場所/Venue＞　4号館 2階 会議室 3 / Bldg.4 , 2nd floor Meeting Room 3

＜内容/Contents＞あいさつ、みだしなみ、お辞儀の仕方などの基本的なマナー
Basic Business Manner (greeting, appearance, bow etc.)
★スーツを着ること / Dress Code : Business suit

＜日時/Date & Time＞ 第2回　2018年6月20日（水）14:00～16:00
Part 2　Wednesday, June 20th
＜場所/Venue＞　4号館 1階 会議室 1 / Bldg.4 , 1st floor Meeting Room 1

＜内容/contents＞電話、ビジネスメールの書き方
Telephone and E-mail Manner　※服装は自由/No Dress Code

＜日時/Date & Time＞ 第3回　2018年6月27日（水）14:00～16:00
Part 3　Wednesday, June 27th
＜場所/Venue＞　4号館 1階 会議室 2 / Bldg4 , 1st floor Meeting Room 2

＜内容/Contents＞　会社訪問、面接時のマナー
Visiting and Interview Manner
★スーツを着ること / Dress Code: Business suit

・予約制です。学生センター７番窓口　留学生支援室で予約をして下さい。
Please make a reservation at International Student Affairs Office.

問い合わせ先：留学生支援室 / Contact : International Students Affairs Office
international@adm.nitech.ac.jp



愛知県
留学生就職・地域定着促進事業
【あいち国際戦略プラン2022】

外国人留学生 インターンシップ 参加者大募集

日本企業に就職したい外国人留学生のみなさん
愛知県がインターンシップ（就業体験）を実施します。
就職活動の第一歩として、ぜひご参加ください。

TARGET 応募資格

愛知県内の大学等（短大、大学、大学院及び高等専門学校）に在籍、又は愛知県内に在住する外国人留学生の方。
※日本語能力試験N2以上、又はそれと同程度の日本語能力が必要です。
（インターンシップは日本語で行われます）
※参加にあたっては、大学等からの推薦が必要です。

COMPANY インターンシップ先企業

愛知県内に事務所・事業所がある企業です。受入企業の情報は、事業HP及び愛知県のウェブページに順次アップしていきますので、最新情報をご確認ください。
事業HP http://www.aichi-value.com
愛知県 http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/h30internship.html
※受入企業からの報酬（賃金）はありません。交通費など支給企業もあり。
※インターンシップ期間中にけがをしたり、企業に対して損害を与えた場合のために主催者側の負担で保険に入ります。

8月～9月 2 weeks インターンシップ実施期間

8月 ← 2週間 → 9月

平成３０年８月４日（土）から９月中旬までの間で、１週間（実働５日間）から２週間（実働１０日間）程度。
※具体的な日程は、受入企業によって変わります。

FLOW インターンシップの流れ

受入企業募集 4月～5月末 → 留学生募集 4月～6月20日 → マッチング 6月中旬～7月末 → インターンシップ 8月上旬から9月中旬 → 最終報告会 10月中旬

※インターンシップ先企業の情報は、愛知県及び専用サイトのホームページに公開しておりますので、ご覧ください。
※8月2日（木）3日（金）に、インターンシップ生を対象に無料のビジネスマナー、ビジネス日本語セミナーを開催いたします。

APPLY 申込み方法

締切 6/20（水）

■各大学の留学生担当又は就職（キャリア）支援担当にお問い合わせ、お申込みください。
■エントリーシートは、事業HP又は愛知県HPからダウンロードしていただけます。
事業HP　http://www.aichi-value.com
愛知県　http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/h30internship.html

事業HP　愛知県

CONTACT お申込み お問い合わせ

愛知県「留学生就職・地域定着促進事業」運営事務局
〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目7番7号 RTセンターステージビル4F Man to Man 株式会社内
TEL：052-687-8810 FAX：052-857-8857 フリーダイヤル：0120-106-566
E-mail：info@aichi-value.com URL：http://www.aichi-value.com
担当：Renat（レナト）・生島（イクシマ） 113
※「留学生就職・地域定着促進事業」は、愛知県よりMan to Man 株式会社に運営を委託して実施しております。

平成30年度

外国人留学生県内企業インターンシップ

参加留学生募集のご案内



岐阜県では、岐阜県企業と外国人留学生の皆さんの相互理解を促進し、県内企業での留学生の活躍を目的として、岐阜県及び愛知県の留学生の皆さん向けの、岐阜県内企業インターンシップ事業を実施します。

留学生の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

主催

岐阜県　商工労働部産業人材課

清流の国ぎふ

（事務局：Man to Man Animo株式会社）

1. インターンシップ募集概要

(1) 参加資格

①岐阜県内及び愛知県内の大学・大学院・短大・高等専門学校・日本語教育機関等に在籍する留学生

②日本語でコミュニケーションがとれること（日本語能力試験N2以上、又はそれと同様の日本語能力を有すること）

(2) インターンシップ参加時期

2018年8月23日（木）から9月21日（金）までの間で5日間程度

（具体的な日程は、受入企業と調整します）

(3) 受入企業

岐阜県内に事務所・事業所を有する企業

※受入企業の情報は、「外国人留学生向け就職支援セミナー（＊）」で紹介するほか、応募受付後に、随時、事務局からメール等で情報提供します。

（＊）外国人留学生向け就職支援セミナーは、2018年6月6日（水）、13日（水）、20日（水）、27日（水）にＪＲ岐阜駅付近で開催。１回のみの参加も可能。概要は以下のＵＲＬで確認してください。

http://www.pref.gifu.lg.jp/event-calendar/11369/ryugakusei.data/1_ryugakusei_seminar.pdf

(4) 参加費用

無料

※インターンシップ期間中の受入企業からの給料（賃金）はありません。

※受入企業に出勤するための交通費や昼食代についても、原則として学生が負担することになります。

（ただし、通勤費等を負担する企業もありますので、7月以降に参加留学生にお送りする予定の各受入企業の情報（エントリーシート）をご確認ください。）

(5) 使用言語

原則、日本語で実施します。

5. インターンシップ先企業の決定後の手続き

（1） インターンシップ事前セミナーへの参加

インターンシップ参加に関する注意点等を説明しますので、参加留学生はインターンシップ事前セミナー（8月9日(木)午後を予定）に出席してください。

（2） 保険の加入

すべての参加留学生は、インターンシップ期間中の傷害保険及び賠償責任保険に加入します。費用は主催者（岐阜県）が負担します。

（3） 誓約書の提出

インターンシップ実施にあたり、留学生は、就業規則の遵守や機密保持についての誓約書を提出することとなります。留学生は事務局を通じて渡される誓約書に必要事項を記入のうえ、インターンシップ初日に受入企業担当者に提出してください。

6. 個人情報の取り扱い

エントリーシートに記載された個人情報は、本事業の運営にのみ使用します。

7. 申込み及び問い合わせ先

外国人留学生インターンシップ参加のお申し込みやお問い合わせは、以下の事務局までお願いします。

Man to Man Animo株式会社　（担当：橋本）
岐阜市金町6-21　岐阜ステーションビル　7F

TEL:058-215-5511

E-mail:gifuintern@mmg.jp

平成30年度

名古屋工業大学 インターンシップのご案内

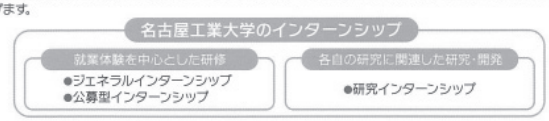
キャリアサポートオフィス　学生生活課

インターンシップ受入れのお願い

名古屋工業大学 副学長(学生生活, 教育改革推進担当)
犬塚信博

謹啓　時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本学の教育・研究につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、インターンシップについて本学では、机上での学習にとどまらない貴重な体験学習の場と認識し、学生の職業意識やキャリア形成意識を飛躍的に高めるよき機会と捉え、大学教育の重要な柱の一つとして掲げております。『ジェネラルインターンシップ』も引続き実施しておりますが、新たに学生が研究に関連した研究・開発に参加する『研究インターンシップ』を開始し、制度の周知と改善に努めております。それぞれの趣旨を御理解いただき、学生の受入れについて、引き続き御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

謹白



大学等におけるインターンシップと導入のメリットについて

我が国においては、インターンシップについては、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」として幅広くとらえられています。また、インターンシップの導入のメリットとは、大学等と企業等の接点が増えることにより、相互の情報の発信・受信の促進につながり、企業等の実態について学生の理解を促す一つの契機となります。さらに、インターンシップを通じて学生が各企業等の業態、業種又は業務内容についての理解を深めることによる就業希望の促進が可能となることや、受入企業等において若手人材の育成の効果が期待できます。

（参考:インターンシップの推進に当たっての基本的考え方　平成27年12月10日一部改正　文部科学省　厚生労働省　経済産業省）

研究インターンシップについては、学生が企業等の協力を得ながら、開発・研究面での問題解決に取組み、若手技術者としての能力を身につけます。また、企業等にとっても有益な事象が生まれることを期待しています。

本学のインターンシップ参加学生について

学生の傾向について

本学の学生が就業体験のインターンシップに行く目的は、学部生と大学院生で傾向が異なります。学部においては、例年7割近くの3年生が大学院への進学を希望しており、進路決定に役立てています。大学院生においては、就職に向けた就業体験の意思を明確に持っており、業界研究や企業研究に役立てています。また、企業・機関の皆様の仕事に対する姿勢や考え方を見聞した結果、自分の課題を認識し、解決に取組むきっかけにもなっています。研究インターンシップに参加希望する大学院生においては、研究者倫理と知的財産等について学んでおり、就業体験より高度な研修に対応する準備を整えています。

留学生について

外国人留学生においては、日本企業への就職希望者が多く、特にアジア圏の外国人留学生が積極的な傾向があります。

平成29年度インターンシップ実施状況

平成29年度インターンシップ実施状況（11月30日現在、学生生活課に提出されたインターンシップ参加届に基づき集計）

学年別実習者数

	学部					大学院					合計
	第一部				第二部	博士前期課程		博士後期課程			
学年	1年	2年	3年	4年	4年	1年	2年	1年	2年	3年	372名
実習者数	0名	0名	77名	4名	1名	228名	2名	0名	0名	0名	

※複数の機関・企業でインターンシップに参加した実習者を含む。(1人で2社参加:31名 1人で3社参加:1名 1人で4社参加:3名)

実習日数に関する状況

実習日数	5日未満	5日~10日	11日~20日	21日~30日	31日以上	不明	合計
実習者数	48名	221名	86名	2名	11名	4名	372名

性別実習者数

性別	男子	女子	合計
実習者数	295名	77名	372名

実習地域

地域	北海道	東北						南関東				北関東・甲信越				
都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	埼玉	千葉	東京	神奈川	茨城	栃木	群馬	山梨	長野
実習者数	2名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	3名	24名	9名	3名	2名	0名	0名	3名

北陸				東海				近畿				中国				
新潟	富山	石川	福井	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口
0名	2名	1名	0名	5名	15名	222名	9名	2名	2名	11名	10名	1名	3名	0名	0名	0名	0名	1名

四国				九州								海外	不明	合計
徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	7名	24名	372名
0名	3名	0名	0名	1名	0名	1名	2名	1名	0名	1名	1名			

受入実習先に関する状況

実習先区分	企業	官公庁	研究機関	不明	合計
企業・機関数	347	17	6	2	372

ジェネラルインターンシップに関する状況

実習希望者数	受入可能企業数	実習者数	派遣先企業数
50名	72社	43名	25社

実習者合計の内、留学生数

留学生の実習者数
17名

※複数の機関・企業でインターンシップに参加した実習者を含む。(1人で3社参加:1名)

ジェネラルインターンシップについて

本学は、平成19年度に文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)に(啓き・支え・促し)連携キャリア教育プログラムが採択されました。これに伴い、本学独自のインターンシップ制度「ジェネラルインターンシップ」を立ち上げ、学生の積極的な参加を推進してきました。プログラム採択事業としては、平成21年度末で終了しましたが、現在も大学独自の取組として継続しています。

1 自分理解を深める
2 仕事・業界の理解を深める
3 勤労観を培い、自身の将来像を展望する

▶

工科系大学に特化したキャリア教育の一環として
学生の社会的・職業的自立を目指して

特に「1 自分理解を深める」に関しては、インターンシップでの経験が非常に役立ちます。本学では、経済産業省の「社会人基礎力」を使って、自分自身の主観的評価と企業担当者の客観的評価から自己の強み、弱みを理解することを促しています。

社会人基礎力とは

(3つの能力／12の要素)

前に踏み出す力(アクション)
～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

- 主体性　物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力　他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力　目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力(シンキング)
～疑問を持ち、考え抜く力～

- 課題発見力　現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力　課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力　新しい価値を生み出す力

チームで働く力(チームワーク)
～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

- 発信力　自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力　相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性　意見の違いや立場の違いを理解する力
- 情況把握力　自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性　社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力　ストレスの発生源に対応する力

※「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力(12の能力要素)から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。

(出典:経済産業省 ホームページ)

ジェネラルインターンシップ実施概要

受入期間	8月上旬～9月下旬(夏季休業期間中)で、最低2週間・実働10日以上の期間とします。
実習プログラム	貴社・貴機関にて御設定ください。
受入人数(本学枠)	貴社・貴機関指定の人数
対象	工学部第一部3年生、工学部第二部4年生が対象です。
選考方法	本学で学生の履歴書と志願票を取りまとめさせていただきます。貴社・貴機関にて学生の書類選考をお願いします。
カリキュラム上の取扱い	原則として正課外活動であるためカリキュラム外であり、成績評価及び単位認定を行いません。

年間スケジュール

4月	企業・機関受入照会 インターンシップガイダンス	7月中旬	企業・機関にて学生選考　結果通知
		7月末まで	受入等の調整・準備
5月上旬	受入企業・機関から受入書受領	8～9月	実習期間
5月中旬	学生へ企業・機関情報公開・申込受付	9～10月	評価報告書等提出
6月下旬	学生の履歴書・志願票を企業に送付		

※本学学生の受入を御検討いただける場合は、学生生活課　就職・キャリア支援係まで御連絡ください。詳細を御説明させていただきます。

研究インターンシップについて

これまでに学んだ知識や技術を実践で活用し、研究能力を向上させると共に、工学人材としての実力を身に付けることを目的とします。

❶ 多様なものの見方や考え方に対する理解と、研究手法の多様性に対する協調力を体得する

❷ 工科系単科大学に少ない理学を多く学び、理学に裏打ちされた研究力を体得する

❸ 実社会で要素技術を価値あるモノに変化させる力を体得する

❹ 必ずしも解が一つでない課題に対して、種々の学問・技術を利用して、実現可能な解を見つけ出していく能力の向上

研究インターンシップ実施概要

受入期間

8月～翌年3月で、3か月～6か月の期間とします。

実習プログラム・受入人数・選考方法

貴社・貴機関の実習担当者、本学の指導教員、実習を希望する学生で協議のうえ、御決定ください。

対象

以下の条件を満たした大学院1年生(博士前期課程)が対象です。

- 知的財産権特論Ⅰ・Ⅱの履修
- 工学倫理特論Ⅰ・Ⅱの履修
- CITI Japan　eラーニングの受講(研究倫理)
- 派遣オリエンテーションの参加
- 保険の加入

カリキュラム上の取扱い

正課のカリキュラムであり、各専攻において成績評価及び単位認定を行います。
(各専攻の専門科目:研究インターンシップ)

年間スケジュール

4月～7月　　事前研修及び本学と受入先において受入等の調整
8月～翌年3月　　実習期間及び成果報告会等

※研究インターンシップにおいては貴社・貴機関と本学において、「協定書」の締結をお願いします。
※研究インターンシップは、貴社・貴機関の研修担当者と本学教員が、緊密な連携のもと実施するインターンシップです。以下の本学教員の「研究者データベースシステム」を御覧いただき、教員及び研究内容等を御確認ください。

研究者データベースシステム　http://researcher.nitech.ac.jp/

※教員及び研究内容等によっては、御相談に応じられないことがありますので、御承知おきください。
※本学学生の受入を御検討いただける場合は、学生生活課 就職・キャリア支援係まで御連絡ください。詳細を御説明させていただきます。

公募型インターンシップの取扱いについて

インターンシップの情報について、学生生活課　就職・キャリア支援係まで郵送・メール等の方法により情報を御提供ください。就職資料室の学生掲示板等で周知させていただきます。
※実習予定の学生は、本学の責任において、傷害及び賠償保険(学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険)に加入させます。なお、学生が故意または過失により貴社・貴機関に対する損害を及ぼした場合、本学が連帯保証を負うことはできませんことを御承知おきください。
※実習予定の学生に関して、本学との間に覚書等の締結を希望する場合は、御相談ください。

事前研修について

本学では、インターンシップ参加希望学生を対象に事前研修会を実施しています。事前研修会の主な内容は、インターンシップ制度の説明や先輩の体験報告等であり、インターンシップへ参加する目的の明確化を支援しています。また、ジェネラルインターンシップにおいては、学生は実習後に報告書をまとめることで、学生生活における新たな目標設定に役立てています。



研修会名	開催日	内容
事前研修会	平成29年5月10日(水)	インターンシップガイダンス(インターンシップ全般の説明)
	平成29年5月31日(水)	インターンシップ合同説明会①(有力企業からのインターンシップ説明会)
	平成29年6月 7日(水)	インターンシップ報告会及び合同説明会② (先輩からのインターンシップ体験談 有力企業からのインターンシップ説明会)

※平成29年度の実績です。

学生が加入する保険について

本学は、(公財)日本国際教育支援協会が運営する「学生教育研究災害傷害保険」を取り扱っています。この保険は、学生に対して、本学での教育研究活動中の不慮の災害事故に対する補償等を提供するものです。用語定義等の詳細は、同協会ホームページに掲載されている「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を御覧ください。

(公財)日本国際教育支援協会　http://www.jees.or.jp/gakkensai/index.htm

学生教育研究災害傷害保険

(出典:2017年度版「学研災」のごあんない)

❶ 日本国内外において、教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害(ケガ)を被った場合。

❷ 通学中、学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって身体に傷害を被った場合。

補償内容	支払保険金
死亡保険金	2,000万円
後遺障害保険金	120万円～3,000万円
医療保険金(1日～)	3,000円～
入院加算金(180日限度)	4,000円/1日

付帯賠償責任保険

(出典:2017年度版「学研災付帯賠償責任保険」のごあんない)

日本国内外において、学生(被保険者)が正課、学校行事、課外活動又はその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したこと等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金をお支払いします。

補償内容	支払保険金
対人賠償と対物賠償合わせて	1事故につき1億円限度

※インターンシップにおいて、学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険を適用するには、学生がこの保険に加入しており、事前に参加を届出ている場合に限ります。



問合せ先
名古屋工業大学 学生生活課就職・キャリア支援係 〒466－8555 名古屋市昭和区御器所町(ごきそちょう)
TEL 052-735-5075 FAX 052-735-5080 E-mail syusyoku@adm.nitech.ac.jp URL http://www.nitech.ac.jp/

VEGETABLE OIL INK
●この印刷物は再生紙を使用しています。
●この印刷物は環境に配慮したベジタブルインキを使用しております。

インターンシップ、はじまるよ！

事前申込不要

主催：名城大学キャリアセンター

外国人留学生　全学年対象

夏季インターンシップ説明・報告会

- 愛知県インターンシップ事業説明
- 参加者体験報告（２名）
- 受け入れ企業からの報告
- 参加申込について

日本での経験を増やしたい！

アルバイトと違いを体験したい？

企業の雰囲気を知りたい？



日程：5月10日(木)
時間：14:50～16:20
場所：共通講義棟北
　　Ｎ４１２教室

お問合せ先：　名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ　052-838-2038

愛岐留学生就職支援コンソシアム　留学生就職促進プログラム

留学生就職促進プログラム

日本企業での就業体験の募集と
参加した留学生による報告会です

留学生インターンシップ
春季募集説明会・報告会

11 月 8 日(木)
16:30 ～ 18:00
於:名城大学　天白キャンパス　共通講義棟北 N412

(プログラム)
1．春季インターンシップ説明
2．留学生インターンシップ報告
3．質疑応答等

予約不要
主催:名城大学キャリアセンター
career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp
問い合わせ先:052-838-2038

NAGOYA UNIVERSITY

外国人留学生のための

“知っておきたい、日本で働くときの基礎知識”

留学生就職促進プログラムのイベントとして、留学生の皆さんに向けて、社会保険労務士の方を講師に招き、日本での働き方についての講座を開催します。日本企業で働く上で知っておくと安心できる知識（例えば、有給休暇、時間外労働、年金など日本で安心して働くために必要となる情報）を、わかりやすくお伝えします。
（※使用言語は日本語ですが、英語での質疑応答も可能です。）

日　時　7月30日（月）13：00～14：30

場　所　名古屋大学アジア法交流館2階　レクチャールーム1



講　師　愛知県社会保険労務士会
岩田　京子氏

定　員　50名

対　象　2018年10月又は2019年4月以降に日本での就職を予定している（又は希望している）外国人留学生

受付方法　イベントの登録には、本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベント「働き方講座」に進み、“講座お申し込みはこちら”から、お申し込みください。（※初めての方はマイページ登録が必要となります。

ホームページ：https://ag-int.org/nu/#2
申込締切：7月27日（金）

問合せ先　留学生就職促進プログラム事務局
名古屋大学キャリアサポート室（工学部7号館B棟）
TEL: 052-789-2171
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

NAGOYA UNIVERSITY

What do we need to know for working in Japan?!

presented by Aichi Labor and Social Security Attorney's Association

Nagoya University will hold a lecture presented by a Labor and Social Security Attorney as a part of "Career Development Program for International Students"'s event! It is about basic work knowledge in Japan such as paid holiday, overtime work, pension and so on for international students who plan to work in Japan after October 2018 or after April 2019.

Please participate to use this opportunity as your future career formation. (※This lecture will be provided in Japanese though you can ask questions in English.)

Date

July 30th (Mon)
1:00～2:30 p.m.

Place

Asian Legal Exchange Plaza,
Lecture Room #1



Lecturer

Ms. Kyoko Iwata
(Aichi Labor and Social Security Attorney's Association)

Eligible applicants

International students who plan to work in Japan after October 2018 or after April 2019

Application

For application, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of this event information page on our website.

*For first-time users, it is necessary to register "My Page".

Website: https://ag-int.org/nu/#2

Deadline: July 27th (Fri)　　Capacity : 50 students

Contact

Career Services Office, Nagoya university
"Career Development Program for International Students" Office
TEL: 052-789-2171
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

平成30年度 名古屋大学 留学生就職促進プログラム

名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

JACリクルートメント 留学生 Business Workshop

留学生就職促進プログラムのイベントとして、留学生の皆さんに向けて、ビジネスワークショップを開催します。日本企業が留学生に求めること、期待することを講義形式で学んだあと、それに基づいたテーマでディスカッションを行います。

将来日本での就職を考えているみなさん、専門の人材ビジネス企業の方とコミュニケーションをとれる貴重な機会です！（※使用言語は日本語ですが、英語での質問も大丈夫です。）

日時・場所

10月11日（木） 16：30～18：00
＠名古屋大学　国際棟2階
CALEフォーラム

定　員

30名

テーマ

講　義　**日系企業が留学生に求めるもの**
ワーク　**留学生が日系企業に期待すること**

受付方法

イベントの登録には、本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベントに進み、"講座お申し込みはこちら"から、お申し込みください。

※初めての方はマイページ登録が必要となります。

ホームページ：https://ag-int.org/nu/#2

申込締切：10月10日（水）

問合せ先

留学生就職促進プログラム事務局
名古屋大学キャリアサポート室（工学部7号館B棟）
TEL: 052-789-2176
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

＊本イベントは、中部経済連合会より協力頂き、企画・運営いたします。

FY2018 Nagoya University's Career Development Programs for Int'l Students 名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

JAC Recruitment Int'l students Business Workshop

Nagoya University will hold a workshop that involves JAC Recruitment Co., Ltd. which is one of the best well-known HR business companies as "Aigi Career Development Consortium for int'l students"' event! You can learn what are Japanese company's expectations to int'l students and discuss it with the company. For those who are interested in working in Japan after the graduation, this event must be a good chance to communicate with the professional HR business persons directly! (We will basically use Japanese in this event, however you can ask your questions in English, too.)

Schedule /Place

October 11th, (Thu)

16：30～18：00

CALE Forum, the 2nd floor of International Bldg., Nagoya University

Capacity

30 students

Theme

Lecture *What Japanese companies expect to int'l students*
Workshop *What int'l students expect to Japanese companies*

Application

For application, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of this event information page on our website.

*For first-time users, it is necessary to register "My Page".
Website: https://ag-int.org/nu/#2

Deadline: October 10th (Wed)

Contact

Career Services Office, Nagoya University
"Career Development Program for International Students" Office
TEL: 052-789-2176
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

＊This event is produced by Central Japan Economic Federation.

NAGOYA UNIVERSITY

これから働くor就活する外国人留学生のための“何でも相談会”＆“日本で働くための基礎知識講座”

これから就職活動を行う留学生の皆さんに向けて、愛知県社会保険労務士会の方を講師に招き、日本での働き方について「何でも相談できる相談会」と、安心して働くために「知っておきたい基礎知識を学べる講座」を開催します。（※使用言語は日本語ですが、英語での質疑応答も可能です。）

＜第1部：「何でも相談会」の相談例＞
・内定通知書をもらったけど、何を確認したら良いのか分からない…
・給与明細は、どのようなポイントに気を付けて確認すべきか？ など

＜第2部：「日本で働くための基礎知識講座」テーマ＞
・給与明細を読み解くポイント
・病気やケガで病院に行った時、どうすれば良いのか？
・失業や退職した時、どうしたら良いの？ など

日 時

10月18日（木）
＜第１部：相談会＞ **14：45～16：15**
＜第２部：講座＞ **16：30～18：00**

場 所

名古屋大学アジア法交流館2階
レクチャールーム1



対 象

・これから日本で就職活動を始める留学生
・2019年4月に日本での就職を予定（希望）している留学生

受付方法

イベントの登録には、本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベント「相談会＆働くための基礎知識講座」に進み、“講座お申し込みはこちら”から、お申し込みください。（※初めての方はマイページ登録が必要となります。

ホームページ：https://ag-int.org/nu/#2
申込締切：10月17日（水）

問合せ先

留学生就職促進プログラム事務局
名古屋大学キャリアサポート室（工学部7号館B棟）
TEL: 052-789-2171
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

NAGOYA UNIVERSITY

Individual consultations & seminar on labor laws

for international students who are going to work or do job-hunting in Japan

For those who are going to work or do job-hunting in Japan, we are going to invite a Labor and Social Security Attorney to have individual consultations and seminar on labor laws in Japan as a part of "Career Development Program for International Students" event. (The consultations and seminar will be provided in Japanese though you can ask questions in English.)

＜Session 1：Example cases on "Individual Consultations"＞
"What points should we confirm on the letter of job offer?"
"What should we pay attention to regarding the pay slip?" etc.

＜Session 2：Theme of "Seminar on labor laws in Japan"＞
"How should we read and understand the pay slip"
"What should we do in case of injury or sickness?"
"What should we do if we retire or are fired?"

Date

Oct. 18th (Thu)

＜Session 1：Individual Consultations＞ **14：45～16：15**

＜Session 2：Seminar＞ **16：30～18：00**

Place

Lecture Room #1,
2nd Floor of Asian Legal Exchange Plaza,



Eligible applicants

・International students who are going to start job-hunting in Japan.
・International students who are going or willing to work in japan from next April.

Application

For application, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of this event information page on our website.

*For first-time users, it is necessary to register "My Page".

Website: https://ag-int.org/nu/#2

Deadline：Oct. 17th （Wed）

Contact

Career Services Office, Nagoya university
"Career Development Program for International Students" Office
TEL: 052-789-2171
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

centrair

平成30年度 名古屋大学 留学生就職促進プログラム

名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

中部国際空港 留学生 企業見学＆ワークショップ

留学生就職促進プログラムのイベントとして、留学生の皆さんに向けて、ビジネスワークショップを開催します。「セントレア空港のＣＳ（カスタマー・サティスファクション）」のテーマに沿ってディスカッションを行った後、「"ある課題"を解決するため提供すべきサービスや施設は何か」について、企画・発表を行います。
日本の空港ビジネスに興味がある方、または将来日本での就職に興味のある皆さんは、ぜひご参加ください！（※使用言語は日本語ですが、英語での質問も可能です。）

10月23日(火)・30日(火)
16：30～18：45
← Schedule

14：45 @豊田講堂前駐車場 集合
→中部国際空港株式会社
（名古屋大学からバスで向かい、20時頃に戻り予定です。）
← Place

※応募の人数を元にツアーおよびグループワークを計画します。
当日の無断欠席は厳禁です。
23日及び30日の両方の日程で参加できる方が対象です。

Discussion Theme：
皆さんの出身国や地域の視点で改善すべき空港内施設を検討して下さい

Planning：
空港内の"ある課題"について、出身国や地域の目線で
解決するための提供すべきサービスや施設を計画・立案して下さい
← Topic

Application

イベントの登録には、本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベントに進み、"講座お申し込みはこちら"から、お申し込みください。
（※初めての方はマイページ登録が必要です。）
ホームページ：https://ag-int.org/nu/#2
定員：35名
申込締切：10月16日（火）

Note

参加する場合、必ず学研災・学研賠の保険に加入して下さい。

Contact

名古屋大学キャリアサポート室
TEL：052-789-2176
Email：info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website：http://ag-int.org/

＊本イベントは、中部経済連合会より協力頂き、企画・運営いたします。

centrair

AY2018 Career Development Program for International Students

名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

Centrair Int'l students Study tour & Workshop

Nagoya University will hold a workshop that involves **Centrair Int'l Airport** as a part of "Career Development Program for International Students"' event! We are going to learn **"Centrair Airport's Customer Satisfaction"** and discuss "What is the ideal services and facilities in the airport".

For those who are interested in their business, this event must be a good chance to communicate with the company directly! (We will basically use Japanese in this event, however you can ask your questions in English, too.)

Oct. 23th & 30th (Tue)
4:30 – 6:45p.m.

Schedule

Meet-up time：2:45 p.m.
Meet-up place：Toyoda Auditorium parking space
(Workshop will be held at Centrair International Airport
so we are going to get there by bus from Nagoya University.)

Place

* Absence without notice is forbidden.
This is the event for those who can take part in both 23rd & 30th.

Discussion Theme：
The ideal airport's facilities & services
from the viewpoint of your cultural background.

Topic

Application

For application, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of this event information page on our website.
*For first-time users, it is necessary to register "My Page".
Website: https://ag-int.org/nu/#2
Capacity : 35 students
Deadline: Oct. 16 (Tue)

Note

Please enroll in the insurance of Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS) and Liability Insurance coupled with PAS.

Contact

Career Services Office, Nagoya university
TEL: 052-789-2176
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

＊This event is produced by Central Japan Economic Federation.

YAMAHA Revs Your Heart

平成30年度 名古屋大学 留学生就職促進プログラム

名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

ヤマハ発動機 留学生 ワークショップ

留学生就職促進プログラムのイベントとして、留学生の皆さんに向けて、ビジネスワークショップを開催します。当日は、ヤマハ発動機株式会社人事部の方、同社で活躍していらっしゃる外国籍社員の方をお招きし「外国籍社員にとって働きやすい職場とは？」をテーマにディスカッションを行います。また、ディスカッションを行う前に、同社の事業概要や外国籍学生の採用方針、グローバル人材開発に対する戦略をお伺いします。日本の製造業に興味がある、または将来日本での就職を考えているみなさん、ぜひ参加してみてください！（※当日の使用言語は主に日本語ですが、企業の方々とは英語でのコミュニケーションも可能です。）

11月6日（火）
16：30～18：00

Schedule

名古屋大学国際棟2階 **207**教室

Place

ヤマハ発動機のグローバル事業展開と
外国籍社員の活躍環境作り
～外国籍社員の活躍状況と定着支援制度について～

Topic

＊同日は、１８：００以降も３０分程度、ヤマハ発動機様に会場に残って頂きますので、当日の内容について個別にお伺いすることも可能です。

Application

イベントの登録には、本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベントに進み、"講座お申し込みはこちら"から、お申し込みください。
（※初めての方はマイページ登録が必要です。）
ホームページ：https://ag-int.org/nu/#2
申込締切：11月5日（月）

Contact

留学生就職促進プログラム事務局
名古屋大学キャリアサポート室
工学部7号館B棟
TEL：052-789-2176
Email：info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website：http://ag-int.org/

＊本イベントは、中部経済連合会より協力頂き、企画・運営いたします。

YAMAHA Revs Your Heart

FY2018 Nagoya University's Career Development Programs for Int'l Students

名古屋大学 NAGOYA UNIVERSITY

YAMAHA MOTOR CO., LTD. Int'l Students Workshop

Nagoya University will hold a workshop that involves YAMAHA MOTOR CO., LTD. which is the global leading manufacturing company. In this event, we are inviting the company's HR person and int'l employee and discuss "What is the attractive workplace for int'l employees" together. In addition, we are going to learn the company's business outline and global HR management strategies. For those who are interested in working in Japanese manufacturing company after the graduation, this event must be a good chance to communicate with the professional business persons directly! (We will basically use Japanese in this event, however you can ask your questions in English, too.)

Schedule

Nov. 6th (Tue)
16：30～18：00

Place

Room# 207, the 2nd floor of Int'l Bldg, Nagoya University

Topic

YAMAHA MOTOR CO., LTD.'s Global Business Outline & Building the Attractive Workplace for Int'l Employees -Succeeding Cases of Active Int'l Employees and the Company's Career Supporting System-

＊ The guests from YAMAHA MOTOR CO., LTD. will remain in the venue for around 30 minutes even after 18:00, so you can ask them any questions individually.

Application

For application, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of this event information page on our website.

*For first-time users, it is necessary to register "My Page".

Website: https://ag-int.org/nu/#2

Deadline: Nov. 5 (Mon)

130

Contact

Career Services Office, Nagoya University
"Career Development Program for International Students" Office
TEL: 052-789-2176
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

＊ **This event is produced by Central Japan Economic Federation.**

平成30年度 愛岐留学生就職支援コンソーシアム

留学生 × 中部経済同友会

意見交換＆懇談会

本企画は、日本のビジネスリーダーと元留学生社員の方々に本学にお越しいただき、皆さんと卒業後の就職・キャリアについてお話いただく機会です。日本で働くことについて考えるチャンスです！見逃さず参加しましょう！

日時
2019年1月24日（木）16：30～19：10

プログラム
1部→日本で働く外国籍社員のパネルディスカッション
テーマ：「日本で働くとは？」
日本企業で活躍する若手外国籍社員に就活の経験や日本での働き方についてお話いただきます。
＜パネリスト＞三井物産㈱、㈱三菱ＵＦＪ銀行、豊島㈱、㈱ノリタケカンパニーリミテドで働く外国籍社員
2部→グループディスカッションおよび懇談会（軽食あり）
参加企業多数（随時更新します！）

場所
名古屋大学 南部食堂 MEI-Dining
https://www.nucoop.jp/about/outline_map.html

詳細
言語：日本語（英語での参加も歓迎します）
対象：留学生　服装：自由　参加料：無料
定員：先着50名

申込方法
留学生就職促進プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベントに進み、"講座申込みはこちら"からお申込み下さい。
※初めての方はマイページ登録が必要となります。
ホームページ：https://ag-int.org/nu/#2
締切：2019年1月11日
ホームページへ

出席予定企業
（12/18時点）
三井物産㈱、㈱三菱ＵＦＪ銀行、住友商事㈱、㈱サンスタッフ、㈱三清社、エバ工業㈱、旭運輸㈱、㈱ノリタケカンパニーリミテド、豊島㈱、㈱大善、(有)東海維持管理興業、ローレンシャンインターナショナルスクール、東海エレクトロニクス㈱、アライブイングリッシュスクール、㈱ＦＴＳ、中日本高速道路㈱、天野エンザイム㈱、㈱青島設計、TSUCHIYA㈱、小島プレス工業㈱、東陽倉庫㈱、尾張精機㈱、㈱河合電器製作所、大同特殊鋼㈱、ダイナパック㈱、東朋テクノロジー㈱
～中部を代表する企業が参加します～

連絡先
名古屋大学キャリアサポート室（工学部７号館Ｂ棟２階）
TEL: 052-789-2171　Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp

Nagoya University's "Career Development Program for international students"

International Students × Local Companies
Discussion and Mixer

We'll invite Japanese business leaders and former international student employees to talk about your future career. Join the event to think about your career in Japan! Don't miss this chance!

Schedule

24th January (Thu) 2019 16:30〜19:10

Program

① Panel discussion with international employees working in Japan.

Young international employees will talk about their job hunting experiences and what it's like to work in Japan.

<Panelists>Employees from Mitsui & Co., Ltd., MUFJ Bank, Toyoshima&Co., Ltd., Noritake Co., Limited

② Group discussion & mixer (with light meals)

We will update the participating companies at any time.

Place

Nagoya University Mei-Dining

(https://www.nucoop.jp/about/outline_map.html)

Detail

Language: Japanese (participation in English also welcome)
Scope: International students
Dress code & Fee: free Capacity: 50 students (on a first-come-first-served basis)

Application

For application, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of this event information page on our website.
*For first-time users, it is necessary to register "My Page".
Website: https://ag-int.org/nu/#2
Deadline: 2019.Jan 11th (Fri)

Participating Companies (as of 12/18)

Amano Enzyme Inc., Aoshima Architects & Engineering Inc., Mitsui & Co., Ltd., MUFG Bank, Asahi Unyu Kaisha, Ltd., EBA KOGYO CO., LTD. Noritake Co., Limited, Toyoshima & Co., Ltd., Tokai Electronics Co., Ltd. Sumitomo Corporation, Sun Staff, Inc., Sanseisha Co., Ltd., Daizen Corp. Ltd. Tokai Maintenance Control Co., Ltd., Laurentian International School Alive English School, Central Nippon Expressway Co., Ltd., FTS Co., Ltd. TSUCHIYA CORPORATION, Kojima Industries Corporation, Dynapac Co.,Ltd. Toyo Logistics Co., Ltd., OWARI PRECISE PRODUCT CO., LTD. KAWAI CORPORATION, Daido Steel Co., Ltd., Toho Technology Corp.

-Chubu representative companies will participate-

Contact Info

Career Services Office, Nagoya Univ.
(School of Engineering Building 7, B Wing)
TEL: 052-789-2171 Email:info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp

NAGOYA UNIVERSITY

これから働くor就活する外国人留学生のための社会保険労務士の先生との"何でも相談会"

これから就職活動を行う留学生の皆さんに向けて、愛知県社会保険労務士会の方を講師に招き、日本での働き方について「何でも相談できる相談会」を開催します。日本で働くことに関する不安や疑問、分からないこと、「何でも」相談可能です。参加には「事前予約」が必要となります。
（※使用言語は日本語ですが、英語での質疑応答も可能です。）

＜「何でも相談会」の相談例＞
・内定通知書をもらったけど、何を確認したら良いのか分からない…
・給与明細は、どのようなポイントに気を付けて確認すべきか？
・有休っていつから何日発生する？どれくらい使えるの？
・社会保険や雇用保険について詳しく知りたい！
・残業って日本人はどれくらいしているの？本当にサービス残業なのかな･･･　など

日　時

2月19日（火）
13：00〜14：00

場　所

名古屋大学アジア法交流館2階
レクチャールーム1



対　象

・これから日本で就職活動を始める留学生
・2019年4月に日本での就職を予定（希望）している留学生

受付方法

イベントの登録には、本プログラムのホームページにある名古屋大学のキャリア教育ページ内、当イベント「相談会＆働くための基礎知識講座」に進み、"講座お申し込みはこちら"から、お申し込みください。（※初めての方はマイページ登録が必要となります。

ホームページ：https://ag-int.org/nu/career/?no=116

申込締切：２月15日（金）

問合せ先

留学生就職促進プログラム事務局
名古屋大学キャリアサポート室（工学部7号館B棟）
TEL: 052-789-2176
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

2018年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム岐阜地区ワークショップ

「留学生の地元企業への就職：留学生・企業・大学の視点から」

「愛岐留学生就職支援コンソーシアム」※は、文部科学省委託事業「留学生就職促進プログラム」の事業目的に賛同した愛知及び岐阜県下の大学、地方公共団体、経済団体及び企業支援団体が連携し、留学生の国内就職支援事業を目的に平成２９年９月に発足しました。
同コンソーシアムに参画している岐阜県内４機関である岐阜大学、岐阜県、岐阜県経営者協会、日本貿易振興機構（ジェトロ）岐阜貿易情報センターの共催により、岐阜県内留学生と企業との相互理解を深めるために、ワークショップを企画しました。
日本での就職を考えている留学生、大学・日本語教育施設等の教職員、留学生の雇用を検討している企業及び留学生の就職実績がある企業の方々に、ぜひ、お気軽にご参加いただきますようご案内いたします。

日時 平成30年10月31日（水）14：00～16：40

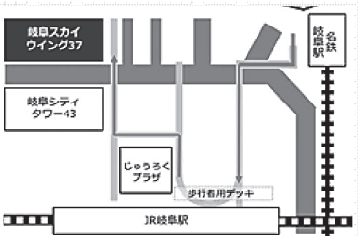
場所 岐阜大学サテライトキャンパス
〒500-8844 岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4F
TEL 058-212-0390

共催 岐阜大学、岐阜県、岐阜県経営者協会、日本貿易振興機構（ジェトロ）岐阜貿易情報センター

申込 メール本文に次の1～7の必要事項を入力の上、Eメール「 gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp 」へお申し込みください。
1.氏名、2.ナマエ（カタカナ）3.大学/学校名、4.学部/研究科名、5.学年、6.国籍、7.連絡先（Tel &E-mail）
申込締切：10/24（水）

問合先 岐阜大学グローカル推進本部留学支援室（小林）
Tel: 058-293-2011 E-mail: gjai05018@jjim.gifu-u.ac.jp





JR岐阜駅 北口から徒歩5分

プログラム	
13:30～14:00	受付
14:00～14:05	開会の挨拶
14:05～14:15	留学生就職促進プログラムー岐阜地区の取り組みとその目指すもの
14:15～14:45	就職への期待と不安ー就職活動を経験する中で
14:45～15:15	留学生の雇用・日本企業での働き方ー岐阜地区企業の事例紹介
15:15～15:35	留学生の就職ー教育現場の現況から
15:35～15:40	閉会の言葉
15:40～16:40	交流会（軽食・ドリンク付き）

参加費 無料

※ 愛岐留学生就職支援コンソーシアム参画・加盟団体：名古屋大学、岐阜大学、名古屋工業大学、名城大学、南山大学、愛知県、岐阜県、JETRO名古屋、JETRO岐阜、愛知県経営者協会、岐阜県経営者協会、中部経済連合会、中部経済同友会、愛知県社会保険労務士会

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

NAGOYA UNIVERSITY

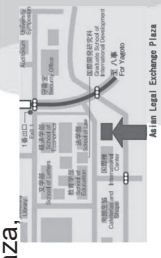
Individual consultations with a Labor and SocialSecurity Attorney

for international students who are going to work or do job-hunting in Japan

For those who are going to work or do job-hunting in Japan, we are going to invite a Labor and Social Security Attorney to have individual consultations as a part of "Career Development Program for International Students" event.
(The consultations and seminar will be provided in Japanese though you can ask questions in English.)

Date **Feb. 19th (Tue)**
13：00 ～ 14：00

Place Lecture Room #1,
2nd Floor of Asian Legal Exchange Plaza,



Eligible applicants
・International students who are going to start job-hunting in Japan.
・International students who are going or willing to work in japan from next April.

Application
For application, you visit the application form from the bottom part "Apply Here(講座お申し込みはこちら)" of this event information page on our website.
*For first-time users, it is necessary to register "My Page".
Website: https://ag-int.org/nu/career/?no=116
Deadline：Feb. 15th (Fri)

Contact
Career Services Office, Nagoya university
"Career Development Program for International Students" Office
TEL: 052-789-2176
Email: info-iscsp@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

留学生限定！

岐阜大学・朝日大学

地元企業との交流会

参加費無料！

開催日時 2018/11/14（WED）15：00～17：00

開催場所 岐阜大学 第２生協



交流会 & スイーツ試食会

留学生の皆さんと地元企業（約１５社）をマッチングします！



※写真はイメージです。

岐阜県産のスイーツが無料で試食できます！

※試食後にアンケートのご協力をお願いします。

お楽しみ抽選会

- ワイヤレスイヤホン　１名さま
- ワイヤレススピーカー　１名さま
- デジタル時計　１名さま

★その他、参加者全員にプレゼントをご用意しています！

参加申込方法

留学支援係に申込みをする。
または、下記のアドレスに１～３を記入してメールしてください。

direcent@gifu-u.ac.jp

1. 名前　2. 国籍　3. 学部・研究科

お問合せ

岐阜大学生はこちら

朝日大学生はこちら

岐阜大学　グローカル推進本部　留学支援室
TEL：058-293-2142　Email:direcent@gifu-u.ac.jp

岐阜信用金庫　国際業務部　海外ビジネスサポートデスク
TEL：058-266-2239　Email:shijoukokusai2@gifushin.com

岐阜大学　すばらしい明日をつくる 岐阜信用金庫　朝日大学

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業 / 文部科学省委託事業　留学生就職支援促進プログラム

聴講者募集

入場無料

第 17 回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会

― インドネシア、キルギス、タイ、中国、ネパール、マレーシアからの
留学生 13 名が日本へ来て感じたことなどについて発表します ―

岐阜地域留学生交流推進協議会は、岐阜県内に在学する外国人留学生の日本語学習意欲の喚起及び日本語の表現能力の向上を目的として、外国人留学生による日本語弁論大会を下記のとおり開催します。

弁論大会では、岐阜地域留学生交流推進協議会所属の４機関（岐阜大学、岐阜経済大学、中部学院大学、中日本自動車短期大学）に所属するインドネシア、キルギス、タイ、中国、ネパール、マレーシアからの留学生 13 名が日本へ来て感じたことなどについて発表します。皆様のご来場をお待ちしています。

日時：2018 年 11 月 23 日（金・祝）13：30 ～ 17：00

会場：岐阜大学講堂（岐阜市柳戸 1-1）

大会日程：

12:30 ～	受付
13:30 ～ 13:40	開会式
13:40 ～ 16:00	スピーチ
16:00 ～ 16:40	交流会（ドリンク付き）
16:40 ～ 17:00	表彰式



第 16 回大会発表者と審査員のみなさん

主　催：岐阜地域留学生交流推進協議会
共　催：国立大学法人岐阜大学
愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業
文部科学省委託事業留学生就職促進プログラム
協　力：（公財）岐阜県国際交流センター

問合せ：国立大学法人岐阜大学グローカル推進本部留学支援室内(岐阜大学図書館 1F)
岐阜地域留学生交流推進協議会事務局(小林)
TEL: 058-293-2011, FAX: 058-293-2143　E メール: gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp

申込不要

GIFU UNIVERSITY　ABE NIKKO KOGYO CO.,LTD.

中部経済連合会×愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業

留学生 (株)安部日鋼工業 合同ワークショップ

留学生と企業の交流機会が限られるなか、留学生や海外に興味のある学生など国際色豊かな学生と、中経連会員企業の(株)安部日鋼工業が、お互いをより深く理解することを目的としたワークショップを開催します。

(株)安部日鋼工業の本社オフィスを見学したあと、2つのテーマについて議論し、発表を行います。

日本企業の職場環境を知り、社員と交流するよい機会ですので、将来日本企業への就職を考える方は、ぜひご参加ください！

- 日　　時：2018年11月28日（水曜日）
  13時30分～15時30分
- 集合時間・場所（マイクロバスでの送迎あり）：
  ① 12時30分 岐阜大学バス停
  ② 13時00分 ＪＲ岐阜駅北口じゅうろくプラザ
  北側大型バス専用駐車場
- テ ー マ：「オフィスツアーからの学び」
  「コンクリートと環境」
- 募集人数：10名程度（先着順受付）
- 申込期限：2018年11月21日（水曜日）

【お問合せ・お申し込み】

・名前、フリガナ、大学名、学部/研究科、学年（学部、修士、博士の別）、学籍番号、国籍、集合場所（①、②の別）、学研災・学研賠の加入の有無を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

メールアドレス：gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp

岐阜大学 グローカル推進本部 留学支援室

TEL:058-293-2011　FAX:058-293-2143



参加する場合は必ず学研災・学研賠の保険に加入してください。

一般社団法人 中部経済連合会 CENTRAL JAPAN ECONOMIC FEDERATION　本事業は、中部経済連合会のご協力で企画・運営しております。

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

社長懇談会

Talking session with the president of Japanese company

参加費 食事代 無料

先着 10名

外国人留学生対象

For international students

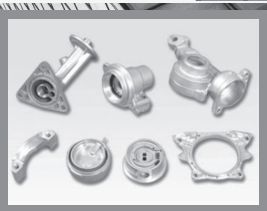
将来は、海外現地法人で活躍できる幹部候補生を積極的に募集中！

We are willing to recruit students who want to work in our overseas branches in the future !



実施日：2019年1月30日（水）
17:30－19:00
場　所：岐阜大学図書館1階会議室
内　容：会社説明・質疑応答・経営者との夕食懇談
参加人数：先着10名
ゲスト：新日本金属工業株式会社
代表取締役社長　後藤　浩氏

新日本金属工業株式会社



・設立：1970年（創業：1948年）
・本社所在地：岐阜県岐阜市矢倉町1
・従業員数：320名　・売上：65億（2018.5実績）
・事業内容：自動車部品製造、ダイカスト、表面処理
・海外事業：中国上海、常熟に生産工場あり。
米国の自動車メーカーに対して技術供与。

✔自動車の防振金具においてはトップクラスのシェア!
✔ダイカスト技術について業界トップラスのシェア!

【申込み方法　How to Apply】

Email: gjai05018@jim.gifu-u.ac.jp　Tel: 058-293-2011

希望者は**岐阜大学グローカル推進本部留学支援室のアドレス**に以下の内容をメールしてください。
Please send your email to us with the following contents.
1.氏名Name 2.学部Faculty・専攻Course・学年Grade 3.連絡先Contact（E-mail ,Tel）

愛知県

2018

外国人留学生と企業の交流会

H30年度　愛知県「留学生就職・地域定着促進事業」

12月15日（土曜日）

[13：30-17：30（13：00-受付）]

出逢い♪　発見♪　異文化♪　楽しみ♪　先輩♪　再会♪　成長♪　日本語♪　挑戦♪

Exchange Event for International Sutudents in Aichi

留学生の魅力を知りたい愛知県の企業が集まります

参加者大募集

ご予約はお早めに！

1　開催概要

① **日時：2018年12月15日（土）13：30-17：30（受付13：00より）**

② **会場：名古屋大学**（東山キャンパス）
- 第1部：名古屋大学アジア法交流館（CALE）アジアコミュニティフォーラム
- 第2部：名古屋大学消費生活協同組合「キッチンフレンドリィ南部」

③ **内容：**
- 第1部：元留学生による講演・留学生と企業の交流ワークショップ
- 第2部：懇親会

④ **共催：**愛知県、
国立大学法人名古屋大学、
国立大学法人名古屋工業大学、
ベトナム帰国愛知留学生ネットワーク（VARONET）、
在日ベトナム学生青年協会東海支部（VYSA TOKAI）

⑤ **協力：**Man to Man Group、一般社団法人グローバル愛知

2　募集内容

① **対象者：予約制（先着順）**
愛知県内大学（短大を含む）・大学院に在籍する外国人留学生
※定員（130名）になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
※予約制のため、交流会当日に必ずご参加いただける方に限らせていただきます。
※交流会は、日本語で行います。

② **参加費：無料（服装自由）**

③ **申込方法：**下記の運営事務局へ、電話又はメールでお申し込みください。

3　締め切り　2018年12月7日（金）

4　申し込み・お問い合わせ

愛知県「留学生就職・地域定着促進事業」運営事務局
名古屋市中区新栄1-7-7　RTセンターステージビル4F　Man to Man 株式会社 内
TEL：**052-687-8810**　FAX：052-857-8857　フリーダイヤル：**0120-106-566**
Email：**info@aichi-value.com**　URL：**http://www.aichi-value.com**
担当：Renat（レナト）・Chagi（チャギー）・生島（イクシマ）
★電話又はメールで「交流会参加希望」とご予約ください。（お名前、大学名などお伺いさせていただきます。）

AICHI VALUE
Let's Learn, Let's Play, Let's Work

愛知県　名古屋大学　名古屋工業大学　Man to Man　GLOBAL AICHI

愛知県

2018

外国人留学生と企業の交流会

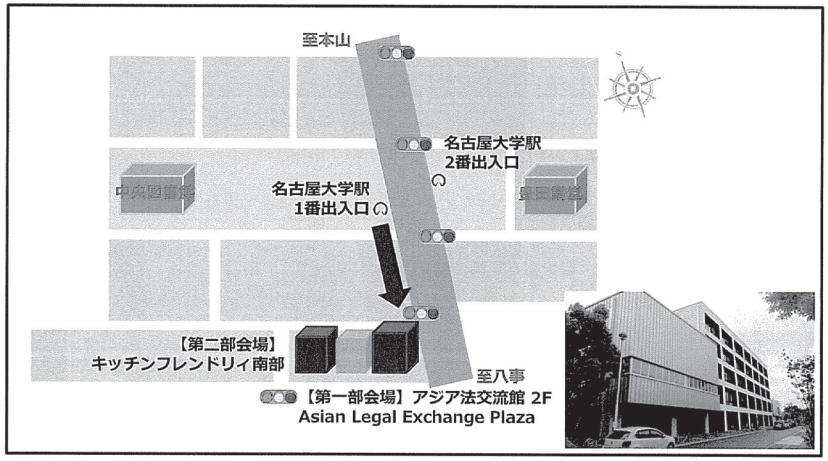
Exchange Event for International Sutudents in Aichi

H30年度　愛知県「留学生就職・地域定着促進事業」

12月15日（土曜日）

[13：30-17：30（13：00-受付）]

会場図（名古屋大学内）



名古屋市営地下鉄　名城線　名古屋大学駅　1番出口　徒歩5分

■第一部会場：アジア法交流館2F（C5③）

■第二部会場：キッチンフレンドリィ南部（B5⑤）

申し込み・お問い合わせ

愛知県「留学生就職・地域定着促進事業」運営事務局
名古屋市中区新栄1-7-7　RTセンターステージビル4F　Man to Man 株式会社 内
TEL：**052-687-8810**　FAX：052-857-8857　フリーダイヤル：**0120-106-566**
Email：**info@aichi-value.com**　URL：**http://www.aichi-value.com**
担当：Renat（レナト）・Chagi（チャギー）・生島（イクシマ）
★電話又はメールで「交流会参加希望」とご予約ください。（お名前、大学名などお伺いさせていただきます。）

愛知県　名古屋大学　名古屋工業大学　Man to Man　GLOBAL AICHI

留学生就職支援プログラム
矢橋ホールディングス株式会社・横山ダム見学旅行
Day Trip to Yabashi Holdings Co., Ltd. and Yokoyama Dam

◆日時/Date　2018 年 6 月 22 日（金）　Friday, June 22nd , 2018
7:45 ~ 17:40

◆集合場所/Meet at　本学図書館前 / In front of NITech Library

◆募集人数/Capacity　40 人 / participants
愛岐留学生就職支援コンソーシアム大学の留学生
International students of Aichi and Gifu
Employment Promotion Program for International Students

◆参加費/Fee　200 円 / yen　交通費・国内旅行傷害保険を含む
Including transportation expenses and travel accident insurance

【行程 / Schedule】

7:45	集合・出発 / Meet in front of NITech Library
9:45~11:00	横山ダム見学 / Join Yokoyama Dam Tour
11:45~13:30	谷汲山華厳寺観光・昼食 / Visit Tanigumisan Kegonji (Temple with over 1200 years of history) for sightseeing and lunch
14:15~16:45	矢橋ホールディングス株式会社訪問 / Visit Yabashi Holdings Co.,Ltd.

矢橋ホールディングス株式会社は、主に木材(住宅設計・施工・販売)、金属（オーダー機械・金型）、石灰（採掘・加工販売）の三事業からなる会社です。岐阜県大垣市の本社を含め、国内外 16 社で事業を展開しています。
Yabashi Holdings Co.,Ltd. is mainly doing Timber business (All processes of house making), Metal business (Bespoke Machines, Metal Molds and Plant Facility) and Lime business (Mining, Firing, Processing and Sales) in the head office in Ogaki Gifu and group companies in Japan and overseas.

17:40　名工大到着 / Arrive at NITech

YABASHI



ダムの中に入れます。You can see inside of Dam!



歩きやすい靴で参加しましょう。

Comfortable shoes recommended.

【申込み・参加費用支払い方法 / How to apply and pay the fee】

◆募集期間/Period　5月２８日（月)～６月１３日（水）
Monday, May 28th ~ Wednesday, June 13th

◆申込場所/Sign up at　学生センター7 番窓口　留学生支援室（10:00~17:00）
International Student Affairs Office (Window7, 1st floor, Bld.#19)

◆支払い方法/How to pay　申し込みの後、下記の日に支払いに来てください。
６月１３日(水) 12:00 ~ 13:00　19 号館 2 階コミュニケーションスペース
☆学生証を必ず提示してください。
☆おつりのないように持ってきてください。

Please pay the fee on the following day after completing application.
12:00~13:00, Wednesday, June 13th at Communication Space (2nd floor, Bld.#19)
☆Please bring your Student ID with you.
☆We accept only exact amount in cash.

【キャンセルする場合 / In case of Cancellation】

６月２０日(水) 午後 12:00 までに 必ず留学生支援室へ連絡してください。
Please let us know by 12:00 p.m., Wednesday, June 20th.





留学生就職促進プログラム

トヨタ自動車工場見学 ＆ 名古屋港見学ツアー

Day Trip to TOYOTA factory & Nagoya Port

◆日時/Date： ２０１８年 １１月 １日 (木) / November 1st (Thu),2018
７：４５ ～ １７：３０

◆集合場所/Meet at： 本学図書館前 / In front of NITech Library

◆募集人数/Capacity： 40 人 / Participants
本学外国人留学生・研究者及び日本人学生
NITech international students, researchers and Japanese students

◆参加費/Fee： 200 円 / yen 交通費・国内旅行傷害保険を含む
Including transportation expenses and travel accident insurance

【行程 / Schedule】

7:45	集合・出発 / Meet in front of NITech Library
9:15～11:00	名古屋港見学(見学船に乗ります) / Nagoya Port Tour (We board a tour boat)
11:00～12:00	名古屋港ポートハウスにて昼食 Lunch Break at Port House
14:00～16:10	トヨタ自動車㈱工場＆トヨタ会館見学 / Toyota Factory Tour ※ 組立工場、溶接工場、トヨタ会館を見学します。 ※We will visit Assembly plant, Welding plant and Toyota kaikan (Museum).
17:30	名工大着 / Back to NITech

No High-heels or sandals



TOYOTA



【申込み・参加費用支払い方法 / How to apply and pay the fee】

◆募集期間/Period １０月５日 (金)～１０月１２日 (金)
Friday, October 5th ～ Friday, October 12th

◆申込場所/Sign up at 学生センター7 番窓口 留学生支援室 (10:00~17:00)
International Student Affairs Office (Window7, 1st floor, Bld.#19)

◆支払い方法/How to pay 申し込みの後、下記の日に支払いに来てください。
１０月１２日(金) 12:00～13:00 19 号館２階コミュニケーションスペース
☆学生証（または従業員証）を必ず提示してください。
☆おつりのないように持ってきてください。
Please pay the fee on the following day after completing application.
12:00~13:00, Friday, October 12th at Communication Space (2nd floor, Bld.#19)
☆Please bring your Student ID with you.
☆We accept only exact amount in cash.

【キャンセルする場合 / In case of Cancellation】

１０月２６日(金) 午後 12:00 までに 必ず留学生支援室へ連絡してください。
Please let us know by 12:00 p.m., Friday, October 26th.


名古屋港 Nagoya Port


港務艇 Port Tour Boat

※1977 年以来、愛知県の製造品出荷額等は、連続して全国１位の実績を誇っています。愛知(中部)のモノづくりを物流面で支えている名古屋港を、港務艇に乗って見学します。
※Nagoya Port is known as the largest annual product shipment value among all the prefectures of Japan since 1977. We will learn the Aichi's (Chubu region's) manufacturing industry (Monozukuri) from logistics perspective.

留学生就職促進プログラム

株式会社エヌテック見学 ＆ 食品サンプル体験ツアー

Day Trip to N-TECH & Food Replica Workshop

◆日時/Date： **２０１８年 １２月 ７日（金）/ December 7th (Fri),2018**
７：４５ ～ １７：１５

◆集合場所/Meet at： 本学図書館前 / In front of NITech Library

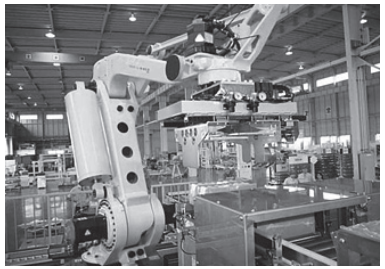
◆募集人数/Capacity： 40 人 / Participants
本学外国人留学生・研究者及び日本人学生
NITech international students, researchers and Japanese students

◆参加費/Fee： 1,200 円 / yen 交通費・国内旅行傷害保険、食品サンプル体験費を含む
Including transportation expenses, travel accident insurance and Food replica workshop fee

【行程 / Schedule】

7:45	集合・出発 / Meet in front of NITech Library
10:00～11:30	郡上八幡食品サンプル作り体験 / Experience Food Replica Workshop in the city of Gujo Hachiman
11:40～12:30	昼食 / Lunch Break
13:50	株式会社エヌテック見学 / N-Tech Tour
16:00	株式会社エヌテック出発 / Leave N-tech
17:15	名工大着 / Back to NITech

N-TECH 株式会社エヌテック



エヌテックは、1988 年の創業以来、飲料・食品・医薬・物流関連のメーカー（コカ・コーラ、サントリー、ヤクルト、アサヒグループ、日清食品等）向けに、自動生産設備の開発・設計・製造・販売を行ってきた専門メーカーです。 http://www.ntech.co.jp/about/

N-TECH has been developing, designing, manufacturing and selling automatic manufacturing equipment since 1988. Their customers are manufacturers of beverages, foods, and medical Supplies. (Coca-Cola, Suntory, Yakult, Asahi, Nisshin, etc.)

【申込み・参加費用支払い方法 / How to apply and pay the fee】

◆募集期間/Period **１１月１２日（月)～１１月２２日（木)**
Monday, November 12th ~ Thursday, November 22nd

◆申込場所/Sign up at 学生センター7 番窓口 留学生支援室（10:00~17:00）
International Student Affairs Office (Window7, 1st floor, Bld.#19)

◆支払い方法/How to pay 申し込みの後、下記の日に支払いに来てください。

１１月２６日(月) 12:00 ~ 13:00 19 号館 2 階コミュニケーションスペース

☆学生証（または従業員証）を必ず提示してください。
☆おつりのないように持ってきてください。
☆応募が多い場合、抽選をします。必ず支払日に来てください。

Please pay the fee on the following day after completing application.
12:00~13:00, Monday, November 26th at Communication Space (2nd floor, Bld.#19)

☆Please bring your Student ID with you.
☆We accept only exact amount in cash.
☆In case of too many applications, we will hold a draw for place allocation. Please show up on the Fee collection day!

【注意/ Notice】

ランチを食べるレストランはありますが、宗教上などの理由で食べられないものがある場合は、自分でランチを持ってきてください。その場合はバスの中で食べられます。
You can find restaurants there, but if there are foods or beverages that you cannot take because of your religion, creed, health or any other reasons, please bring lunch by yourself. You can eat in the bus in this case.

【キャンセルする場合 / In case of Cancellation】

１２月４日（火）午後 12:00 までに 必ず留学生支援室へ連絡してください。
Please let us know by 12:00 p.m., Tuesday, December 4th.

食べられません! You can't eat!







岐阜県郡上市にある郡上八幡は、小京都とも呼ばれていて、昔ながらの美しい街並みが楽しめます。
Gujo Hachiman is an authentic town in Gujo-city, Gifu. The town is called Small-Kyoto for its beautiful scenery of old houses, water ways, streets and nature.

For foreign students

留学生 積極 採用 企業見学バスツアー

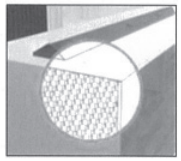
先着15名
国籍不問

～日本で活躍できる
チャンスを見つけよう～

参加無料
（昼食代は自費）

［ 日 時 ］11月2日(金)　8:30～19:00
［ 集　合 ］名城大学　天白キャンパス　タワー75　2F　ホール
［対象者］中部地区での就職を目指している外国人留学生(学年不問)
［ 内 容 ］企業説明会、職場見学

＊製造業:モリシン工業㈱



アルミハニカムパネルの設計・製造・販売を行っています。

＊旅館:水明館



日本庭園、能舞台、お茶室、画廊のある老舗旅館です。

＊サービス業:㈱マルイケ



自動車修理店、携帯電話代理店を展開しています。

採用担当者や企業の経営者と直接会話ができます！

申込に必要な内容: 大学名・学部・研究科名、学籍番号、氏名、国籍、申込講座名、Tel、line ID
参加申込先(E-mail): 名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp
お問合せ先: 名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ　052-838-2038
愛岐留学生就職支援コンソシアム　留学生就職促進プログラム

Bus tour to Denso Takatana Factory

デンソー高棚製作所 工場見学ツアー

無料
(Free)

ものづくりの現場をわかりやすく説明してくれます！







日 時　2月19日（火）11:30-16:30
集 合　当日11:30　天白キャンパス 共通講義棟N302教室
会 場　デンソー高棚製作所
対 象　外国人留学生・日本人学生　先着各15名

当日の内容	・工場見学のポイント ・工場の紹介、自動車用メーター製造工程の見学

申込　参加希望者は、バス保険の申し込みを含めて、右記のQRコードからお申込・登録をしてください（期限　2月5日まで）

主催　名城大学　キャリアセンター

お問い合わせ先: 名古屋市天白区塩釜口1-501 名城大学ｷｬﾘｱｾﾝﾀｰ
Tel　052-838-2038
Email　career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業/文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

愛岐留学生就職支援コンソーシアム

どなたでも参加可
事前申込不要

留学生就職促進プログラム シンポジウム

～日本企業で働く意義と心構え～

我が国は外国人留学生の国内・日系企業への就職を推進しています。
しかし、留学生にとって日本企業への就職は容易ではありません。
当シンポジウムでは、日本企業で働く元留学生や留学生を受け入れる企業からの事例を通し、日本企業で働くことの意義と心構えを考えます。

2018年

12月22日 土 13:10-14:40

会場：名城大学天白キャンパス　共通講義棟東　H102 名古屋市天白区塩釜口1-501

コーディネーター

加藤輝美氏〈アシストリンク　代表〉

シンポジスト

加藤明彦氏〈エイベックス㈱　代表取締役会長〉
林　　淳氏〈パナソニック㈱　南山大学大学院出身〉
董　禕俊氏〈愛知製鋼㈱　名城大学大学院出身〉

お問い合わせ

名城大学 キャリアセンター　TEL: **052-838-2038**

career-gaikoku@ccml.meijo-u.ac.jp

主催：名城大学　　共催：南山大学　　協力：特定非営利活動法人　MILLIANCE

文部科学省　留学生就職促進プログラム

愛岐留学生就職支援コンソーシアム
2018年度外部評価委員会

日　時　　2019年6月26日（水）　13：00～
会　場　　名古屋大学　豊田講堂　第１会議室

外部評価委員紹介

委員長　久保田　学　氏

一般社団法人留学生支援ネットワーク
留学生支援、外国人採用関連セミナー講演、企業や教育機関のコンサルティング業務に従事。政府の委員会や政策アドバイスなども行う。
文部科学省留学生就職促進プログラム専門委員

委　員　原田　麻里子 氏

東京大学　グローバルキャンパス推進本部　国際化教育支援室　講師
専門：外国人の受入れ政策と　留学生のキャリア形成・定着促進
民間企業人事担当、外資系企業、自治体の外国人支援担当等を経て、
2004年より東京大学の留学生受け入れ相談・支援全般に従事。
東京大学留学生を対象とした、年間20事業以上の留学生キャリア・就職支援事業のコーディネートや講師を務めると同時に、個別相談支援にも日々対応している。

河野　敬　氏

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）　国際ビジネス人材課長
インド・ニューデリー事務所、バングラデシュ・ダッカ事務所などでの勤務を経て、
2019年4月から現職
政府関係省庁連携の下に設置された「高度外国人材活躍推進プラットフォーム」事務局を担当
中堅・中小企業と留学生に向け施策・関連情報を一元的に取りまとめたポータルサイトを運営専門相談員による伴走型支援（個別企業支援）も展開。

本日のご報告の流れ

1．全体概要：愛岐留学生就職支援コンソーシアムについて

2．教育プログラムについて

3．産官学連携について

4．成果指標データについて

5．組織運営体制について

6．質疑応答

7．外部評価委員による討議・総評

1　全体概要

愛岐留学生就職支援コンソーシアム

「留学生30万人計画」における優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

→　**留学生就職促進プログラム**採択（2017年6月26日）

→　**愛岐留学生就職支援コンソーシアム設立**（2017年9月11日）

「産官学連携」による、教育を通した留学生と地域企業との連携補助
→　就職市場の拡大
→　人材不足の解消を通した地域経済の活性化
→　多国籍な留学生の採用を通した地域企業の国際化促進

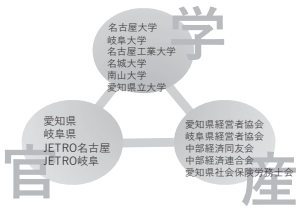
【参画機関】
名古屋大学、岐阜大学、名古屋工業大学、名城大学、南山大学、愛知県立大学
愛知県、岐阜県、ＪＥＴＲＯ名古屋、ＪＥＴＲＯ岐阜、
愛知県経営者協会、岐阜県経営者協会、中部経済同友会、中部経済連合会、愛知県社会保険労務士会
（全15機関）

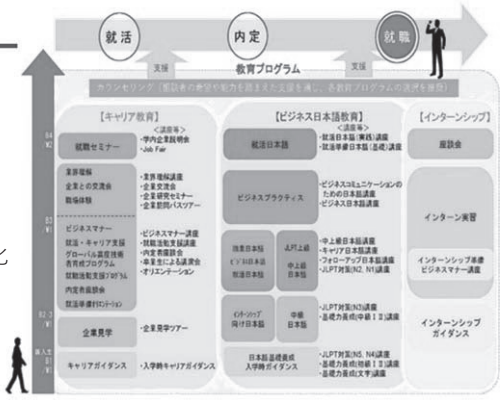

設立総会の様子

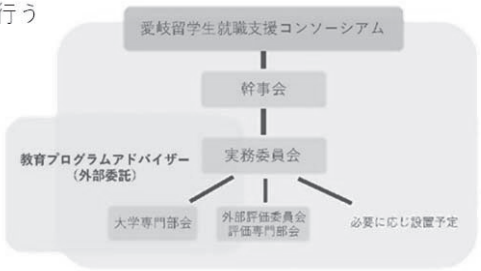
愛岐留学生就職支援コンソーシアム

《事業について》
- 留学生と地域企業との相互理解の場を創出
  ⇒就職機会の拡大
- 産官学連携による支援
  愛岐留学生就職支援コンソーシアム設立
  ⇒人材不足の解消を通した地域経済の活性化
  　留学生採用による地域企業の国際化促進

コンソーシアムで各種**会議体**を構成
事業内容についての意思決定を全体で行う
＋　**アドバイザー**との委託契約
　　→企業との情報共有やイベント企画などを行う







2018年度教育プログラムスケジュール



《取組内容》
- 日本語能力の向上
- 日本の社会や職業理解を通じた就業観の育成
- 企業と留学生の接点拡充

→**教育プログラム**の設定

《教育プログラム》
（ビジネス日本語＋キャリア教育＋インターンシップ）

- 低学年からの**積み上げ式**による就職支援
  →日本語初級者への支援、日本の雇用文化への理解促進
- ビジネス日本語とキャリア教育の連携
- 事業4大学が共通の意識のもとカリキュラムを作成
  →参画大学全ての講座・イベントに参加可能
  4大学全体ですべての範囲をサポート出来るような構成に
- 教育プログラムとは別に、留学生専任**キャリアカウンセラー**による、個々に応じたきめ細かな個別支援を実施

愛岐留学生就職支援コンソーシアム マイページ機能設置



《WEBサイト作成・マイページ設置》
- 情報伝達ツールとしてWEBサイトを作成
  （和英両言語での情報提供）
- カリキュラムやイベント情報の公開
  →コンソーシアム全体の情報を1つのサイトに集約
  →学生の情報収集の場に
- 留学生とコンソーシアムの情報共有
- 地域や企業への本事業の取組みの波及
- **マイページ機能実装**
  →講座やイベントへの申込み
  受講状況やポイント確認機能
- 3月末現在での登録者数：**716名**

《ポイント制度の設定》
- 参加した留学生の質の保障を目的とし、**ポイント制**を設定
- 各教育プログラムの付与条件を満たした場合にポイントを付与
  →一定のポイント数にて修了
- 修了者には**修了証**を発行する



2　教育プログラム

名古屋大学

名古屋大学：ビジネス日本語プログラム

名古屋大学

No.	講座名	開講期間	参加者数
1	日本語能力試験対策講座N1①	H30年5-6月（春学期中）	38
2	日本語能力試験対策講座N2①	H30年5-6月（春学期中）	28
3	日本語能力試験対策講座N3①	H30年5-6月（春学期中）	21
4	就活準備日本語講座（基礎）①	H30年5-6月（土曜日）	18
5	就活準備日本語講座（実践）①	H30年6-7月（土曜日）	13
6	日本語能力試験対策講座N1②	H30年9月（夏休み中）	16
7	日本語能力試験対策講座N5-4①	H30年9月（夏休み中）	6
8	日本語能力試験対策講座N4①	H30年9月（夏休み中）	9
9	日本語能力試験対策講座N1③	H30年10-11月（秋学期中）	30
10	日本語能力試験対策講座N2②	H30年10-11月（秋学期中）	28
11	日本語能力試験対策講座N3②	H30年10-11月（秋学期中）	14
12	就活準備日本語講座（基礎）②	H30年10-11月（土曜日）	29
13	就活準備日本語講座（実践）②	H30年11-12月（土曜日）	13
14	日本語能力試験対策講座N1④	H31年2-3月（春休み中）	22
15	日本語能力試験対策講座N5①	H31年2-3月（春休み中）	9
16	日本語能力試験対策講座N5-4②	H31年2-3月（春休み中）	12
17	ビジネスコミュニケーションのための日本語	H31年2月（春休み中）	6
		合計（延数）	312名

《実施状況》
- 全17講座
- 延べ312名参加

《講座分類》
- JLPT対策　12講座
- 就活日本語　4講座
- ビジネス日本語　1講座

名古屋大学

日本語能力試験対策講座（N5・N4・N3・N2・N1）





- 参加者延べ237名
- N1対策講座の参加者は平均20名以上
- N1取得後に就活対策講座に移行するケースも見られた
- N5とN4対策は継続しての受講傾向有り

就活・ビジネス日本語講座



- 参加者延べ79名
- 就活準備日本語講座の参加者は平均18名
- 敬語やビジネス日本語に加え、ビジネスマナーやエントリーシート、自己PR、ビジネス日本語、面接やグループディスカッション練習　なども含む実践的な内容

⇒　キャリア教育との連携

《参加した留学生の声》

名古屋大学

日本語能力試験対策講座

・この授業を通じていろんな新しい文法と単語を分かって、申し込みをしてよかったと思います。でも単語の部分はやはり自分の努力が少ないと試験に合格できないということが気がつきました。これから多くの言葉を覚えたくて頑張ります。先生、ありがとうございました。

・今回の授業が難しかったが、先生のおかげでいい練習となりました。もらった宿題、毎日の練習が役にたつと思います。必ず5月の授業も受けるつもりです。

・前の授業（N2）を受けて**12月の日本語能力試験に合格**できました。
ありがとうございました。



就活・ビジネス日本語講座

・**就活に対する全体的なイメージ**ができた。

・**ES、自己PR、ビジネス日本語、面接やグループディスカッション**に 関わる注意事項まで詳しく知れた。

・**他講座では扱わない細かいスキル**まで学んだ。

・基礎的なことから一人一人丁寧に教えていただき、非常に役に立った。



キャリア教育プログラム

名古屋大学

No.	講座名	開講期間	参加者数
1	日本で働くときの基礎知識講座	2018年7月30日	25
2	JACリクルートメントワークショップ	2018年10月11日	20
3	社労士相談会＆基礎知識講座	2018年10月18日	10
4	セントレアバス見学 ＆ワークショップ	2018年10月23日	10
5	セントレアバス見学 ＆ワークショップ	2018年10月30日	9
6	ヤマハ発動機ワークショップ	2018年11月6日	21
7	中部経済同友会 意見交換＆懇談会	2019年1月24日	54
8	留学生のための仕事理解講座	2019年2月12日、14、15日	24
9	ビジネスマナー講座	2019年2月15日	14
10	留学生のためのJob Fair	2019年2月18日、19日	112
11	社労士相談会	2019年2月19日	5
12	就職・キャリア支援講座 （Unit1～Unit5）	2018年10月～ 2019年1月	38
13	就職・キャリア支援講座 （Unit6～Unit11）		46
14	就活オリエンテーション ＆内定者座談会	2018年10月25日、11月15日	43
		合計（述数）	431名

《実施状況》
・全13種類26回のプログラム実施
・延べ431名参加



名古屋大学で開催したJob Fairの様子

名古屋大学

留学生のための就職・キャリア支援プログラム



・全11回開催　10月～1月にかけて各回20～30名程参加
・プログラムの前段階として、オリエンテーションと内定者座談会を実施
・前半：基本的な自己分析や業界分析などを通じ、自身のキャリア観
・後半：日本企業の雇用慣習（採用方針）を踏まえ、エントリーシートの書き方などを学ぶ

職場体験プログラム/企業見学バスツアー（セントレア空港）

「セントレア空港のCS（カスタマー・サティスファクション）」をテーマにディスカッションを行った後、グループで「ある課題を解決するために提供すべきサービスや施設は何か」について企画・発表（10/23、30に実施　留学生19名が参加）

仕事理解講座

各業界の特徴や予測される変化について、さらに留学生にどのような活躍や働き方を期待しているのか、各企業が留学生に解説する講座
（2/12、14、15に実施　計6企業、留学生24名が参加）
協力企業・・・中部国際空港株式会社、株式会社ジェイアール東海高島屋、
サンスター株式会社、日立造船株式会社、オリックス株式会社、
株式会社one visa

留学生のためのJob Fair@名古屋大学

・　2019年2/18、19開催　　（東海地区の企業を中心に留学生積極採用企業45社
留学生112名参加）
・　日本企業への就職に関する相互理解
・　元留学生の外国籍社員との直接的な交流
→今後、コンソーシアム全体に拡大・拡充を行う予定

ビジネスマナー講座　（ANAビジネスソリューション株式会社講師）
・ 2月15日（金）開催　　留学生14名参加
→ 日本企業への就職を希望する学生のため、日本型コミュニケーションの特徴を紹介
日本の職場環境特有のルールやビジネスマナーを理解し、円滑な人間関係を築き、
良好な職場環境で活躍することを目指す



キャリアカウンセリング
・　期間　平成30年度4月～3月の12ヶ月間
・　新入生を含め全体では**約490件**の相談対応(1件1時間を設定し、
事前予約制に基づいた個別相談を実施)

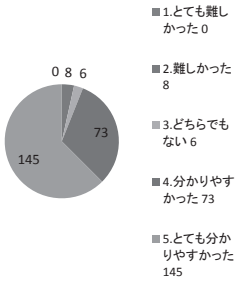
→ 新入生・最終学年の学生を問わず、留学生一人ひとりの自己理解や職業理解の状況に応じたキャリアカウンセリングを適宜実施。キャリアカウンセリングで個別にフォローしながらキャリア支援講座などで学びを深めるという相乗効果を発揮

《アンケートより集計》

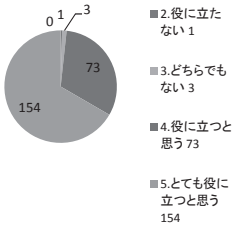
名古屋大学

留学生のための就職・キャリア支援プログラム(10月～1月)

【質問1】本日の講義の内容は、分かりやすかったですか？

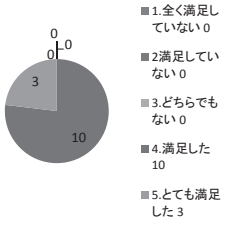


【質問2】本日の講義の内容は、今後役に立ちそうですか？

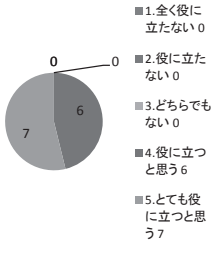


留学生のための仕事理解講座（2019年2月12日）

【質問1】本日のプログラムの内容に、満足しましたか？

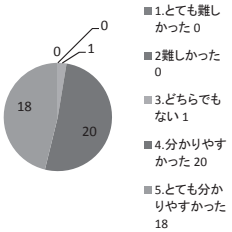


【質問2】本日のプログラムの内容は、今後役に立ちそうですか？

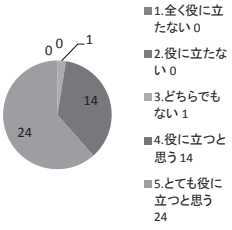


留学生のためのJobFair（2019年2月19日）

【質問1】本日のプログラムの内容は、分かりやすかったですか？

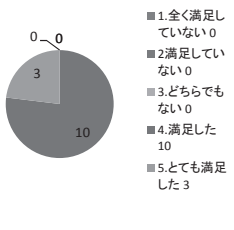


【質問2】本日のプログラムの内容は、今後役に立ちそうですか？

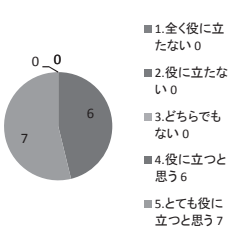


留学生のためのビジネスマナー講座（2019年2月15日）

【質問1】本日のプログラムの内容に、満足しましたか？



【質問2】本日のプログラムの内容は、今後役に立ちそうですか？



《参加した留学生の声》　アンケートより抜粋

名古屋大学

留学生のための就職・キャリア支援プログラム

・業界への理解にしっかり力を入れなきゃいけないと痛感しました。大変勉強になりました。
・11回の講座を通じて、就職についての考え方がだいぶ変わってすごい成長ができたと感じられた。こころからの感謝の気持ちを伝えたいと思います。
・役立ちます！ありがとうございます。

職場体験プログラム/企業見学バスツアー（セントレア空港）・仕事理解講座

・今日のイベントのような直接にコミュニケーション取れて大変勉強になりました。ありがとうございました。
・こういうグループで一つの課題を巡ってディスカッションする経験があまり多くありませんでした。しかも違う国の留学生と一緒するのはいい体験でした。感謝しております。

留学生のためのJob Fair@名古屋大学

・たくさんの業界について学ぶことができました。外国人採用についても知ることができました。
・日本の企業はどんなことをやっているかが分かりました。



ビジネスマナー講座

・　とても詳細な講義であったため、この研修を受けて本当に良かったです。
・　今日の講座に参加して本当に良かったです。マナーというのは日々の積み重ねも大事で、まだまだ練習が必要です。

インターンシッププログラム

名古屋大学

H30年度	時　期	参加人数
愛知県夏季インターンシップ	8月～9月	１９名 （うち中長期６名）
名古屋外国人雇用サービスセンター 春季インターンシップ	2月～3月	９名 （うち中長期２名）
名古屋大学独自インターンシップ （実習先企業例） ・日立製作所　　・デンソー ・ホーユー株式会社 ・天野エンザイム株式会社 など１９社	5月～3月	４９名

《参加状況》
- 実習参加　77名
- 受入れ企業 40社

《実習期間》
- 1日～4日　　7件
- 5日～9日　　45件
- 10日以上　　25件

- 1週間以上のインターンシッププログラムの開発
- **企業と連携した留学生向けのインターンシッププログラムの開発（36名参加）**
- 実習の事前に動機付けのセミナー開催
- 実習終了後にフィードバックの開催

コンソーシアムのインターンシップポイントを申請し、取得した学生は8名。

岐阜大学

名古屋工業大学



平成30年5月1日 時点
外国人留学生　在籍数　336人

中国	**161人**
韓国	**45人**
ベトナム	**31人**
マレーシア	**26人**
インド	**18人**

ビジネス日本語教育

✓ **実践力養成**

	受講者のべ人数
N2対策講座	４３
N1対策講座	５３
ビジネス日本語（読・聞・書・話）	９
ビジネス日本語（読・聞・書・話）	１７
ビジネス日本語（読・聞・書・話）	２３
ビジネス日本語（読・聞・書・話）	２８

✓ **グローバル人材論**

キャリア教育

✓ **就職活動準備セミナー　１０回**

講座内容	回数
(1)就職ガイダンス	５回 （5、10、11、2月、3月）
(2)エントリーシート対策	２回（7、1月）
(3)インターンシップ準備講座	３回（6月）

✓ **留学生OB/OGによる講演会　　２回**
✓ **企業研究セミナー、企業説明会等**

2018.6.20　インターンシップ準備講座





2018.7.11　エントリーシート対策講座





2018.11.14　ハローワーク就職ガイダンス





2018.10.27　卒業生パネルディスカッション





インターンシップ

	参加者のべ人数
公募型インターンシップ	6
ジェネラルインターンシップ	0
愛知県インターンシップ	7
岐阜県インターンシップ	2
自由応募	１６

企業との連携

2018.6.22　矢橋ホールディングス・横山ダム見学





電気・機械系の企業への見学が多かった。

↓

幅広い業種の企業との連携強化

矢橋ホールディングス株式会社

事業内容
金属事業・石灰事業
木材事業（住宅設計・施工など）

社会工学分野（建築・土木）
の学生に好評

参加者
20名

2018.11.01　トヨタ自動車工場見学







TOYOTA

参加者
41名

2018.12.07　エヌテック見学





N-TECH 株式会社エヌテック

参加者
28名

平成３０年度卒業･修了の留学生の動向

平成３０年度に卒業･修了した数		６９
日本国内に留まった留学生数	日本国内の日本企業等に就職	２７
	進学	１０
	日本で就活継続	1
母国へ帰国	日系企業就職	3
	卒業･修了後帰国するプログラム	6
	母国で就職･進学等	２０
第三国へ移動		2

名城大学

名城大学:就職実績

目標：本学留学生の50％以上が日本で就職する。

結果：52.1％（昨年は74.5％）
ただし、本プログラム参加学生に限定した就職率は75％で良好。
前年度と比較し、中華圏の留学生は帰国希望者が増加した。

課題：・名城大学への留学生の入学者数減少。
・東南アジアやネパールの学生については、日本語能力不足のため入学者増加につながっていない。

対策：・留学生の増加に関し、学長の下で全学的重点課題として組織を立ち上げ検討する。
・進学説明会時にコンソーシアムのプログラム紹介、東南アジアの留学生に対しては個別相談でのフォロー、日本語学校への案内強化、在学する留学生を介しての募集活動などを検討している。

ビジネス日本語

目標：各講座の参加者を20名に設定し、
出席率80%を目標に設定。

結果：参加者37名、出席率43%
※実受講者数は31名、出席率51%
使用頻度の高い語彙や敬語表現を学習し、
会話の流れに沿って適切に話せるようになった。
加えて、ビジネス慣習、マナーなどにも触れ、
「学ぶ」だけでなく学生が「使ってみる」ことに
重点を置いた結果、好意的な感想が多く寄せられ、
就活の場面で実践した受講生もいた。



課題：習熟度の違いから、講座についていけない学生が見受けられ、途中脱落の原因にもつながった。

対策：講座内容の事前説明時に、留学生の能力にあった講座を勧める。

キャリア教育（キャリア教育講座）

名城大学

目標：各講座の参加者を15名に設定。

結果：参加者21名、出席率41%　※実受講者数は17名、出席率51%講座開始前に個別相談を行った結果、合宿やフィールドワーク、問題解決推進など負担の大きい課題もやり遂げる学生が増え、充実度が高まった。また発表会を実施することで学習成果を確認でき、自信や満足感・充実感の醸成につながった。就活希望組は活動の方向選択に迷いがなくなり、取り組み姿勢が見違えるように変化した。

課題：日本での労働経験、就労に関する既知情報の少ない留学生に対しての支援機会の提供が足りない。

対策：日本人と共同のフィールドワーク体験など、日本人とペアで実施（日本人と共同経験）することで、互いの違いに気づき、日本の理解が深まる効果が高いことから共同学習の機会を増やす。



キャリア教育（就職活動支援講座）

名城大学

目標：各講座の参加者を15名に設定。

結果：参加者24名、出席率37%
※実受講者数は20名、出席率44%
参加しやすいよう土曜日に開催した結果、参加者が前年度に比べ増加した。また、4月から開講したことにより就活の基礎知識を早い時期から学べ、夏休み中のインターンシップへの意識づけも行うことができた。
その後の履歴書作成や面接訓練などを経て、学生は余裕をもって日本での就活準備ができた。

課題：日本での労働経験、就労に関する既知情報の少ない留学生に対しての支援機会の提供が足りない。

対策：日本人と共同のフィールドワーク体験など、日本人とペアで実施（日本人と共同経験）することで、互いの違いに気づき、日本の理解が深まる効果が高いことからと共同学習の機会を増やす。



インターンシッププログラム

名城大学



目標：各プログラムの参加者が前年度より上回る。

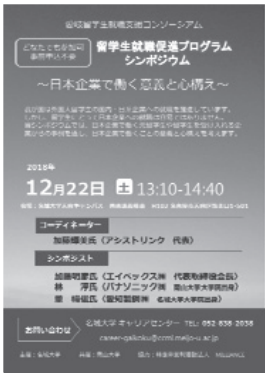
結果：インターンシップ報告会参加者数
（夏季）参加者9名（昨年6名）
（春季）参加者8名（昨年4名）
インターンシッププログラムへの参加者数
愛知県　9名（昨年9名）
名古屋外国人雇用サービスセンター　5名
（昨年1名）
名城大学　5名（昨年4名）

課題：理系学部・研究科に籍を置く留学生の参加者が少ない。

対策：チラシや案内でのマス向け周知だけでなく、留学生間での誘い合いや講座担当講師からの個別案内など、可能な方法をフル活用して周知していく。

企業との連携

名城大学



目標：①初年度の講座にはない、講座やシンポジウムなど企業連携による企画の実施
②企業見学回数を5回確保する

結果：・ビジネス日本語講座で社会人をゲスト講師として登用したことにより、日本語実践の場の提供と日本企業への疑問点解消につながった。
・キャリア教育に企業家のプレゼンを組み入れたことで、課題解決能力の重要性をより強く認識するようになった。
・企業見学5社

課題：・連携先企業の業界が限定されていた。
・日本での就労に関する理解が不足していた。

対策：・連携企業の業種を幅広くし、メーカー企業以外にも様々な仕事の場 へ見学に行けるようにする。
・NPO法人協力のもと、企業団体と連携した企画を実施する。
・日本人学生へも参加を呼びかけ、共同作業による異文化交流・異文化理解の場を設定する。
・聴講形式の講座・企画からワークショップ形式の企画を実施する。

大学との連携

名城大学



目標：コンソーシアム以外の大学の参加校を増やす。
（新規で2校以上の参加を目標とする。）

結果：①コンソーシアム以外の大学の参加あり。
（愛知教育大、福井大、愛知大、名古屋市立大など5校が新規参加。）
②南山大学のコンソーシアム参画に伴う共催企画の実施。

課題：参加学生の属性は多様化したが、参加者数自体が少ない。

対策：・周辺大学への早期の情報周知および情報交換を図りながら、
学生への周知機会を増加させる。
・各講座の周知を実施大学HP上のみに限定せず、
近隣の私立大学を中心に案内を展開し、
幅広く連携校を増やす。



3　産官学連携

産官学連携によるプログラム

- 愛知県　外国人留学生インターンシップ事業
  参加企業　52　**社**　参加留学生　102**名**
- 岐阜県　外国人留学生インターンシップ
  参加企業　16　**社**　参加留学生　17**名**
- 中部経済同友会　会員企業と外国人留学生との交流会
- 中部経済連合会　協働ワークショップ
- 愛知県社会保険労務士協会　日本で働くときのための基礎知識講座
  社労士相談会
- 岐阜県経営者協会

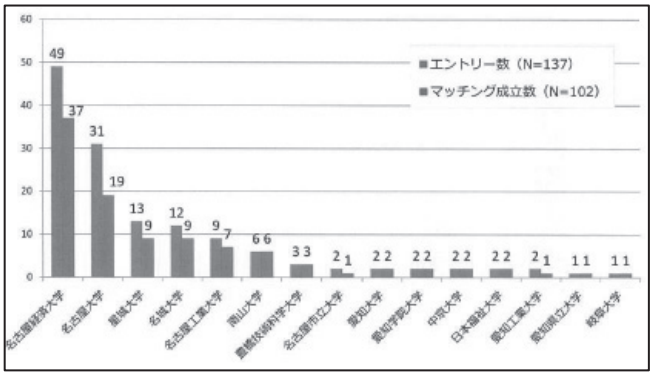
資料３－４

平成 30 年度　留学生インターンシップ事業（夏季）　実施結果の概要

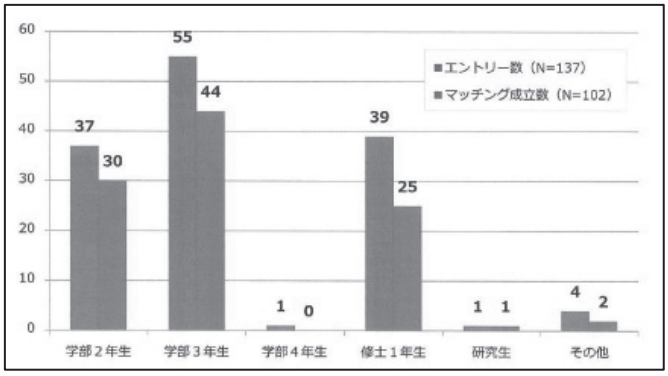
参加留学生について

◇エントリー人数：１３７名（前年対比　＋５１名）
◇マッチング成立人数：１０２名（前年対比　＋４７名）
◇マッチング率：７４．５％（前年対比　＋１０．５％）

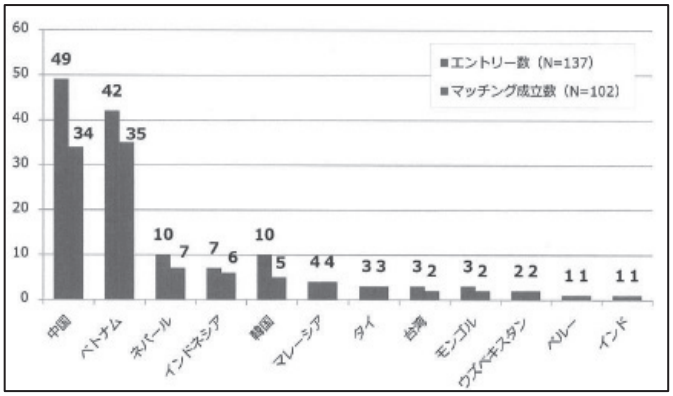
【大学別参加者数】



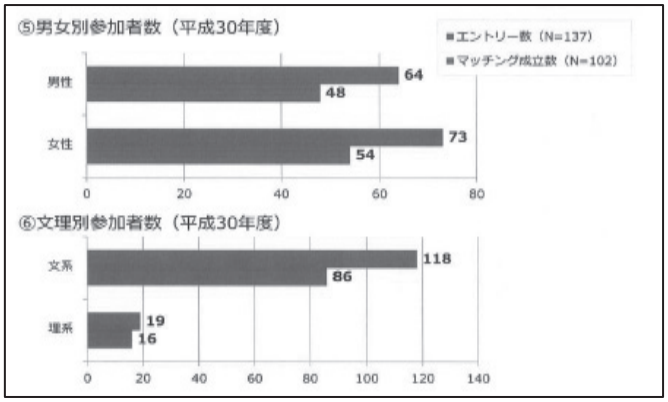
【学年別参加者数】



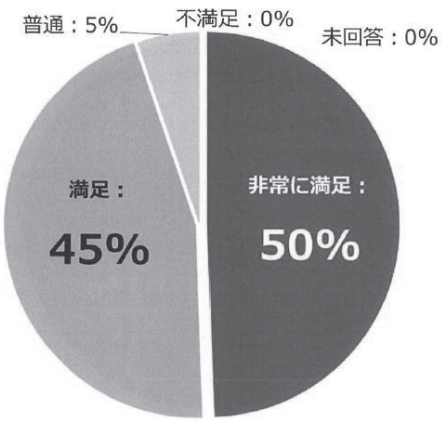
【国籍別参加者数】



【男女別・文理別参加者数】



【アンケートによる満足度】



【インターンシップに参加して良かったこと（回答から一部抜粋）】

・先輩と上司は**根気よく説明し、丁寧に教えてくれた。**
・今回のISは簡単な企画を実施する学生の作業と違って、企画案を作ることは、自分の考え方を加え、**自分の才能が表現できる。**
・ISに参加して、社会で働く人と自分を比べたり、責任を持って働いている人の背中を見て、**自分を客観的に見つめなおしたりする**ことを認識しました。
・信頼できる人間関係を作り、知らない人間に信頼され、仕事に没頭し、その後お客様と感動や喜びを共有できることは**仕事のやりがいだと気づきました。**
・**日本の中小企業を知ることが出き**、研究開発部ならどんな仕事をするかも知ることができました。
・少なくとも**日本の企業で働く感覚がついた**と思う。
・ここで他の大学の優秀な人に出会えて本当に良かったです。来る前に自分の弱みと強みを何も知らなくて、人とグループになって偉い人たちの前で発表することもなくて、グループを通じて、自分がどの役割でどういう評価をもらうかを考えてやったので、**本当に満足しています。**
・日本企業は窮屈という**先入観が変わりました。**日本の企業の文化を味わうことができました。
・日本のビジネス形態と実際の企業の研究開発、販売について学ぶ事が出来ました。
・日本企業の雰囲気が大体分かりました。専門の業務と用語を勉強できました。日本語を勉強できました。
・**地元の会社で実際に働く経験を得ることが出来ました。**
・初めての製造企業の構成・職場の雰囲気を実感できまして、**本当に貴重な体験でした。**
・授業中に聞くだけでなく、自分の目でみて実感することで、強く納得することができました。
・ISを通して1番良かったことは、しっかりビジネスマナーを勉強できたことです。
・日本は非常にビジネスマナーが厳しく、職場のルールが多い国だと思います。
ですから、将来日本に就職したいなら、ビジネスマナーは不可欠なことだと思います。
・私は内気で自信のない人でしたが、ISに参加してからは自信を持つようになり、相手に笑顔で話しかけることができるようになりました。
・社員の知り合いができたことです。皆は私にいろいろ教えてくれました。間違っていてもみんな「間違って学ぶから」と言ってくれました。

平成 30 年度　留学生インターンシップ事業（夏季）　実施結果の概要

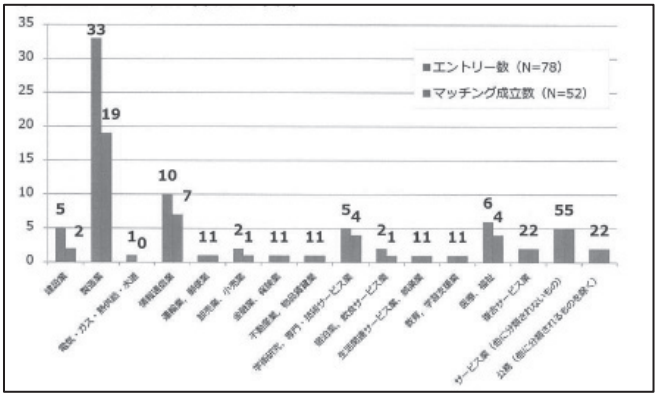
参加企業について

◇エントリー数：７８社（前年対比　＋３５社）

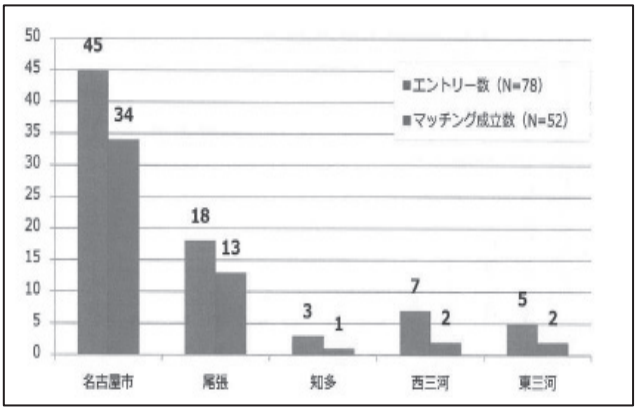
◇マッチング成立数：５２社（前年対比　＋２４社）

◇マッチング率：６６．７％（前年対比　＋１．６％）

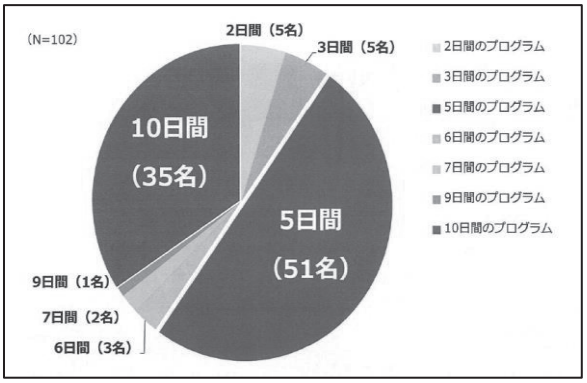
【業種別参加企業数】



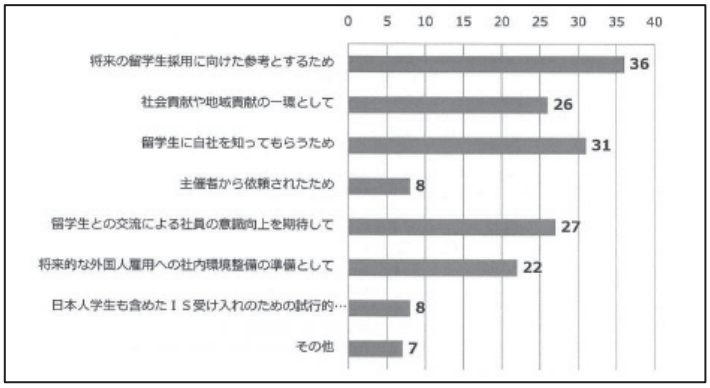
【研修地別参加企業数】



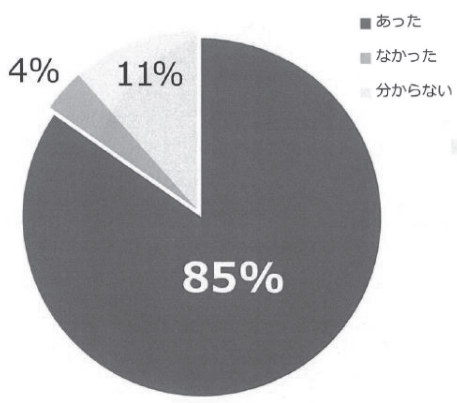
【実習期間】



【インターンシップに参加した目的・理由】



【参加企業の満足度（成果があったか）】



【インターンシップに参加して良かったこと（回答から一部抜粋）】

・日本人学生、外国人留学生双方が刺激し合い、グループワークの中で**良いイノベーションを起こしていた。**
・とても熱心に勉強する姿が、**若手社員にいい影響があった**と思います。
外国人の方と話す**経験が少ない社員にとっていい経験になりました。**
・留学生との交流を通して、**職場の活性化に効果があった**と思います。
・留学生の就職や**将来の目標に対する意識の高さに刺激を受けた。**
・外国人留学生の**新卒採用に際する採用の基準や採用方法について考える良いきっかけ**となりました。
・学生の皆様にプレゼンをしていただき、新しいご意見によって、**社内の意識に変化がありました。**
・**留学生の学力レベル、日本語能力が大概わかった**から。それぞれ優秀で、理解力がある。
・現地の事情の情報も得られた。**将来その国との何らかの交流の可能性が期待できそう。**
・外国人留学生を受け入れることに対して、難しい面を想像していたが、**実際に接することでイメージが向上した。**
・留学生のISを初めて受け入れたが、他事業で受け入れた学生と比べ、極めて優秀な学生が多く、
弊社の**社員にとっても多いに刺激になりました。**また、特に昼食を一緒に外出し、取らせていただきながら
コミュニケーションをとっていただいたことで社内のコミュニケーションもより円滑になったように感じています。
・現在の留学生の考え方や学力を直接知ることができ、**貴重な機会になりました。**
また、それぞれが抱える悩みや課題も把握することができ、**今後の事業展開に役立てたい**と考えております。
・研修参加した留学生の意識が高く、同時期に参加した**日本人学生も影響を受けていた。**
・留学生の優秀さを実感し、社員の意識が変わった。また**多様性がいかに必要かを社内全体で共有できた。**
・外国人留学生は**採用しても十分活躍できるという期待が持てた。**

資料３－５

岐阜県（産業人材課）

平成３０年度　留学生インターンシップ　実施結果概要

１　企業向けセミナー

	平成２９年度	平成３０年度
実施回数	１回	１回
参加人数	１７社２０名	３４社３８名

２　留学生向けセミナー

	平成２９年度	平成３０年度
実施回数	４回	４回
参加人数	１５名	７０名

３　インターンシップ

■実施状況

	平成２９年度	平成３０年度
受入希望企業数	１９社	２１社
参加希望留学生	１４名	２１名
マッチング完了数	９社１０名	１６社１７名
期間	平成３０年２月～３月	平成３０年８月～９月
平均日数	３．５日	４．４日

■参加留学生詳細

①所属大学

（平成２９年度：２校　平成３０年度：４校）

岐阜大学	７名	岐阜経済大学	７名
南山大学	１名	名古屋工業大学	２名

②国籍別

中国	４名	ベトナム	８名
韓国	１名	韓国	１名
東ティモール	１名	マレーシア	１名
インドネシア	１名		

③性別

男性	８名	女性	９名

④所属学部・専攻

工学	５名	自然科学	２名
経営	７名	地域科学	２名
総合政策	１名		

⑤日本語能力

日本語能力試験Ｎ１	２名
日本語能力試験Ｎ２	７名
日本語能力試験Ｎ３	０名
無回答	８名

⑥日本での就職希望

希望している	１４名
希望してない	０名
不明	３名

⑦インターンシップへの参加目的（２つ回答可）

日本の企業文化を知りたい	９名
実務経験をしたい	９名
日本での就職につなげたい	１０名
専門以外での職場体験がしたい	２名
卒業後（終了後）の進路決定の参考にしたい	４名

■受入企業詳細

①業種（メイン業種）

製造業	１０社	開発・販売	１社
建築（建設）・土木関連	１社	設計	１社
サービス業（アパレル）	１社	イベント企画・運営	１社
その他（福祉）	１社		

②資本金

１０００万円未満	３社	５０００万円～1 億円未満	４社
１０００万円～３０００万円未満	６社	1 億円以上	０社
３０００万円～５０００万円未満	３社		

③海外取引の有無

有	１１社
無	５社

⑤外国人留学生の採用実績

有	８社
無	８社

④海外拠点・現地法人・関連工場の有無

有	７社
無	９社

⑥今後の外国人留学生採用可能性

有	１５社
未定	１社

■感想

①参加留学生

・日本で働く意思が強くなった。
・ビジネスマナーと専門知識が身に付いた。
・今回のインターンシップのおかげで自分自身が色々な仕事や生活経験が学べて体験できたと思う。
・企業の内容が理解できた。

②受入企業

・外国人留学生の採用を考える上で良い経験になった。
・文化や考え方の違いを多く学ぶことが出来、とても刺激になった。
・海外展開に向けて色々参考になる。
・留学生の出身国の実情を知ることができ、今後の経営活動にも役立つと思う。

■事業の成果・分析

・参加留学生、受入希望企業ともに前年度から増加しており、興味関心の高さがうかがえる。
・参加企業では受入日数の増加やインターンシッププログラムの改善などが徐々に進んできている。
・愛岐コンソーシアム参画大学のご協力により、愛知県内の大学からも初めて参加いただいた。今後もコンソーシアムの枠組みを活用し、より多くの留学生に機会を提供したい。

中部経済同友会

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業
外部評価報告（2019.6 月）

2018 年度取り組み内容

１．会員（経営者）向け　講演会を開催

＜趣旨＞
本会会員に向けて、外国人留学生の積極活用のメリットや組織への効果を訴えるため、講演会を開催した。出席者 97 名。



＜開催日＞
平成３０年９月７日

＜講師＞
本多機工株式会社　代表取締役社長　龍造寺健介氏

＜演題＞
『多様性を組織の力に変える―九州製造業の挑戦』

＜講演要旨＞
自社のグローバル展開に活用するために、チュニジア、中国等 12 ヶ国から 15 名の高度外国人材を採用。彼らは、日本人には決して真似の出来ない、外国人社員ならではの強みを発揮している。外国人社員を「日本人化」するのではなく、現場・現物・現実の考え方、行動を重視する会社の価値観、本多イズムを身に付け、海外市場やパートナーと正面から向き合うことの出来る、「自社化」した人材の育成を目指す。高度外国人材の積極採用は、組織に非常に良い化学反応を起こしている。現在の 25 社のビジネスネットワークも、外国人社員がいるからこそ成立したもの。
九州を世界と戦える地域にするためには、地域全体のダイバーシティ化が不可欠である。

２．留学生と企業経営者の交流会を開催

＜趣旨＞
企業経営者と留学生の相互理解の場として平成 24 年度から名古屋大学と共同開催。
企業側は留学生の資質、ポテンシャルを知ること、留学生側は、日本企業の仕事内容や経営者の考えを学び、双方のマッチングにつながることを目的に実施。

＜開催日＞
平成３１年１月２４日

＜出席者＞企業側２６社５５名　学生側１５ヶ国の留学生５５名　総勢１１０名

＜内容＞

①パネルディスカッション

現在日本企業で活躍する外国人社員４名を集め、「日本で働くとは？」をテーマに就活の経験談などを発表。

②グループディスカッション

③懇親会



＜開催要旨＞

留学生からは、外国人社員や、企業経営者に対し、以下の質問が投げかけられた。

・大学での専門と、現在の仕事内容にはどの程度の関連があるか？
・家族等の親しい人達から離れて、日本で生活することがつらくないか？
・どうして営業という仕事を選んだのか？
・日本での就職により、母国に貢献できなくなるのではないかと悩んでいる。
　母国への責任についてどう考えるか？
・日本はチームワークを重視するので個性は　控えるべきか？
・社員の宗教についてどう思われるか？（禁酒、礼拝の習慣等）
・玉手箱（就職試験の一種）を利用する意味は？
・男性と比べて、女性の平均年収、昇進のチャンスは？　等





＜効果＞

企業側からは、「留学生の能力の高さに驚く一方、悩みを抱えていることを知った」といった声や、留学生からは、「B to B 企業の方から話を沢山聞く事ができ、夢が広がった。」といった感想が寄せられた。

この交流会をきっかけに、留学生採用を実施した企業、留学生に特化したワークショップやインターンシップを始めた企業も出ている。

当日の様子は、中日新聞に掲載された。

２０１９年１月２４日開催
中部経済同友会　国際交流委員会　外国人留学生と企業の交流会

２０１９年２月７日　中日新聞朝刊

地域経済 12版　2019年(平成31年)2月7日(木曜日)　中

飲み会は飲酒必須？　昇進に男女差？

留学生の就活 不安にお答え

中部経済同友会が、外国人留学生と地元企業が意見交換する取り組みに力を入れている。就職につなげようと毎年開いている交流会は年々、参加者が増えている。日本企業の風土を質問したり、先輩留学生の就活体験を聞いたりする場として生かされている。（竹田弘毅）



日本の企業で働く外国人社員（右手前）の話を聞く留学生ら（後方）＝名古屋大で

中部経済同友会 人材難解消へ交流会

「飲み会に参加して酒を飲まないのは大丈夫なのか」「男女による昇進の違いがあるのでは」。一月下旬、名古屋大で開かれた交流会の一場面。企業側と留学生の集団討論で、ハラスメントが横行する昔ながらの日本企業を想像させるような質問が飛び交った。答える企業側は「今そんなことをしたら、社会的に問題になってしまう」などと、苦笑しながら説明した。

和装小物を扱う大善（名古屋市）の永井明社長は「男女の不平等さなど悪い先入観が残っていると感じた」。同友会国際交流委員会の天野源之委員長（天野エンザイム社長）は「日本企業が変わったこともっとPRして、不安感を取り除く必要がある」と強調した。

交流会は今年で六回目。名大と岐阜大、名古屋工業大から過去最多の十五カ国、五十五人の留学生が参加し、会員企業側は二十六社五十五人が出席した。

先輩留学生が、自身の就活体験や仕事内容を発表する場もあった。欧州に比べて社員教育が充実し、強みを伸ばしてくれる長所を紹介。外資系と日系では選考期間が異なり、留学生が知らないうちに採用が始まっている可能性があるなど、注意を促した。名大で学ぶ中国籍の女性留学生は「企業の人に悩みや疑問に答えてもらい、ありがたかった。自信を持って就活を頑張りたい」と意欲を高めた。

同会によると、国内にいる留学生が日本企業に就職する割合は二〇一六年度に36％。対して愛知県内の留学生が県内企業に就職する割合は11・8％にとどまる。他地域に流出する以外にも、日本で働く不安や、卒業後に職を探すのが一般的な海外との就活事情の違いが背景にあるようだ。交流会はこうした溝を埋め、就職率の向上を図るのが狙いだ。

企業側は、深刻化する人手不足により、外国人を採用する意欲が高まっている。交流会への参加目的が二年前は、「異文化の理解促進のため」との答えが最も多かった。今年は、半数が「留学生を採用するため」と回答。同会の担当者は「外国人の採用機運に火がつき始めている。エントリーシートの書き方など、留学生が応募しやすい支援も必要だ」と分析する。

2019年6月26日
一般社団法人中部経済連合会
国際部　野村

愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

2018年度中経連企業×留学生ワークショップ（WS)について

１．振り返り

１）参加会員企業・大学の感想：　　（　　は留学生採用済み企業）

実施日	企業名	WSテーマ	企業側感想	大学側感想
7月４日.	中部土木	日本で土木を学んで感じた事 i-constructionについて	留学生の学びに対する意欲を理解 機会があれば再度行いたい	直接企業の実務の話が聞け良かった 日本語ができる留学生がおらず、 教員がよりコミュニケーションの サポートをすべきだった
９月２７日.	（匿名希望）	海外に展開できる日本のビジネス 日本に持ち込める海外のビジネス	優秀な留学生採用の重要性を痛感 受入れ体制（特に語学）が課題	グループ発表の方法を工夫すべき 参加留学生の国籍情報取扱いに注意
１０月１１日.	JACリク ルートメント	日系企業が留学生に求めること 留学生が日系企業に期待すること	参加留学生の優秀さと真摯な態度 に感動。経済団体を含むコンソー シアムの活動に敬意	留学生が今回提供された種類の情報 を渇望していることが良くわかった
１０月２３日. および３０日	中部国際空港	セントレア空港のカスタマー・ サティスファクション	既に留学生を採用している当社では あるが、新たな視点で率直な感想を 入手できた	留学生出身社員の活躍を見て 多くの留学生が憧れの感想を持って いた
１１月６日.	ヤマハ発動機	ヤマハ発動機のグローバル事業 展開と外国籍社員の活躍環境作り	外観はグローバルな弊社も本社の 日本人は未だローカルと認識 マインドセットのグローバル化の 必要性を感じた	時間の関係で当初提案いただいた ヤマハ発動機でのWSができず残念 日本に就職したい留学生に非常に 興味のあるテーマで良かった
１１月２８日.	安部日鋼工業	オフィスツアーからの気付き コンクリートの用途・機能と環境	留学生の真剣に課題に取り組む 姿勢に感心 今後の留学生採用定着に期待	オフィスツアーはより詳細を見た がっていた

２）感想・反省：

① 中経連としてのWS開催目的＝「**会員企業が当地でどんな留学生が学んでいるか、留学生が当地にどんな企業があるのか、を知り合う機会の提供**」については、一定の成果を出すことができた。

② 今回の参加企業には大別して２種類、即ち**既に留学生を採用している企業とそうでない企業**があり、要求する内容も異なるが、初回ということもあり、それぞれに適したWSの内容を準備することができなかった。

③ 留学生諸君には日本語がほとんど理解できない人、一方で英語が苦手な人もいることが判明。
参加留学生の日本語能力が事前に把握できず、お願いできる企業にはある程度日本語・英語両方の対応をお願いしたが、今後要配慮。

④ **留学生の能力**については当初心配したが、**全く杞憂**であることが判明。それどころか、非常に知識欲が高く、発言・質問も積極的。
グループ・ディスカッションについては、適切なテーマと導入さえ与えれば、議論が滞ったり、発表者の選定に苦労することは皆無。

⑤ **留学生の採用に関して会員企業・会員大学がそれぞれ求めているものは何か？経済団体としてすべきことは？**
これを踏まえて今後の活動につなげていかねばならない。

以　上

資料３－８

平成30年度　岐阜県経営者協会　　愛岐留学生就職支援コンソーシアム事業

愛岐留学生就職支援コンソーシアム　岐阜地区ワークショップ

日本での就職を考えている留学生と、留学生の雇用を検討している企業の相互理解を深めるために、関係機関との共催により、岐阜地区ワークショップを開催した。

開 催 日　平成30年10月31日(水)　14:00～16:40
場　　所　岐阜大学　サテライトキャンパス
共　　催　岐阜大学、岐阜県、JETRO岐阜、岐阜県経営者協会
参 加 者　１０３人
（企業 35人(28社)、留学生38人
教育機関・県内機関30人(9機関)）

1

内　容

開会挨拶　岐阜大学　理事　副学長　鈴木　文昭　氏

1.「留学生就職促進プログラムー岐阜地区の取り組みとその目指すもの」
岐阜大学日本語・日本文化教育センター長　森田　晃一　氏

2. 就職への期待と不安ー就職活動を経験する中で　～留学生4名による発表～

3. 留学生の雇用、日本企業での働き方　～企業担当者と働く留学生による発表～

4. 留学生の就職　教育現場の現況から　～学校2校より発表～

5. 交流会　　～企業担当者と留学生の情報交換～


留学生による発表


企業による発表


企業と留学生の情報交換

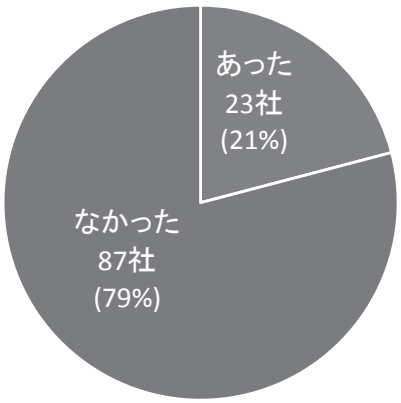
2

岐阜県経営者協会　留学生採用に関するアンケート調査

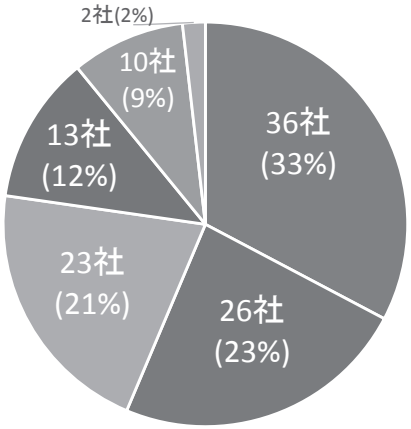
企業の留学生採用に関する実態と、今後の意向について調査を行った。

（調査時期：平成30年9月7日～10月5日
回 答 数 ：110社（回答率57.2%）
調査対象：192社（岐阜県経営者協会 会員企業783社より抽出）

直近1年間における
外国人留学生の採用はありましたか



外国人留学生採用の関心度について、
最もあてはまるものはどれですか



- 当面は日本人学生と同列に扱う
- 現状関心はあるが、具体的に取り組むかどうかはわからない
- 当面は関心がない
- 現在は関心がないが、今後は検討するかもしれない
- 外国人留学生の採用に積極的
- その他

3

資料３－９

県社会保険労務士協会


これから働くor就活する外国人留学生のための
“何でも相談会”&“日本で働くための基礎知識講座”

日 時　10月18日（木）
＜第１部：相談会＞ 14：45～16：15
＜第２部：講座＞ 16：30～18：00

場 所　名古屋大学アジア法交流館2階 レクチャールーム1

対 象　・これから日本で就職活動を始める留学生
・2019年4月に日本での就職を予定（希望）している留学生

受付方法　イベントの登録には、本プログラムのホームページにあるる名古屋大学のキャリア教育ページから、当イベント「相談会＆働くための基礎知識講座」に進み、「講座の申し込みはこちらから」より申し込みください。（※初めての方はマイページ登録が必要となります。）
ホームページ：https://ag-int.org/ns/#2
申込期日：10月17日（水）

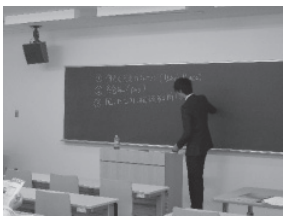
問合せ先　留学生就職促進プログラム事務局
名古屋大学キャリアデザイン室（大学院生相談室）
TEL: 052-789-2171
Email: info-isoup@adm.nagoya-u.ac.jp
Website: http://ag-int.org/

本で働くときの基礎知識講座」（7/30）（25名参加）

日本で働く上で知っておくとよい知識（例えば、有給休暇、時間外労働、年金についてなど）を分かりやすく解説。

労士相談会」（10/18, 2/19）（計15名参加

内定通知書や給料明細の見方、労災保険について等をレクチャー。個別相談会も開催し、一人ひとりの質問相談に答える。

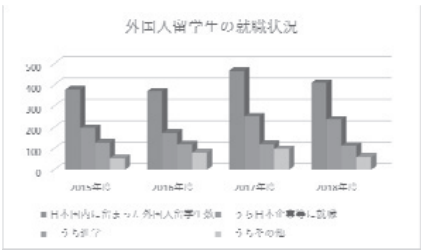


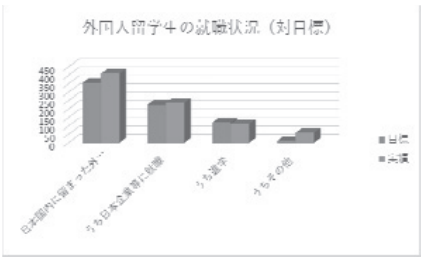


4　成果指標データ

指標１：外国人留学生の就職状況

外国人留学生の就職状況		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度	2023年度
日本国内に留まった外国人留学生数	目標	―	―	―	355	505	580
	結果	378	371	468	409	―	―
うち日本企業等に就職	目標	―	―	―	225	375	450
	結果	195	174	252	236	―	―
うち進学	結果	128	118	120	112	―	―
うちその他	結果	55	79	96	59	―	―
就職/学生数　割合		51%	47%	54%	58%	74%	78%





日本国内に留まった外国人留学生数のうち、日本企業等に就職した割合は2015年度51％から、2018年度は58％と年々、その割合が増えている。また、本事業スタート時に設定した2018年度の目標数値に対しては、対104％で達成をした。

指標１：外国人留学生の就職状況

2018年度の留学生の就職先である企業名抜粋（一部）が以下である。

理化学研究所計算科学研究センター	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン	光生アルミニューム工業	(株)エステム
本田技研工業	村田機械	コムニック	明徳産業(株)
フジクリーン工業	JBCC	サンゲツ	(株)ワークスタッフ
日立製作所	ＮＥＣソリューションイノベータ	島津製作所	三幸電機(株)
馬場記念病院	NTTコミュニケーションズ	ジャパンマテリアル	大黒天物産(株)
ニッセイアセットマネジメント	SUBARU	ジョンソン・エンド・ジョンソン	(株)真城ホールディングス
ジェイテクト	アイシン・エィ・ダブリュ	スズラン	価値開発株式会社
協同組合三和	アイシン精機	ゼンショーホールディングス	エフシーテック(株)
環日本海環境協力センター	アジアンエージェンシー	ソフトバンク	(株)京写
アイシン・エィ・ダブリュ	アスプローバ	大日本土木	ファミリーマート
NHKアート	アライブ	大和特殊鋼	シミズ工業(株)
TAIYO YUDEN	インテック	高津製作所	大同メタル工業(株)
出光興産シンガポール事業所	エイコー測器	テクノフェイス	(株)富士ピーエス
インテックソリューションパワー	エムオーテックス	デンソー	日中コンサルタント(株)
進和	オリックス	デンソーテクノ	松岡コンクリート工業(株)
住友電気工業	オリックスリビング	東芝ディスクリートテクノロジー	(株)ファームシップ
トヨタ紡織	キャタピラージャパン	東芝ライフスタイル	エイム(株)
中津川市民病院	ゲンキー	東ソー	株式会社クロップス
西原商会	ローム	東朋テクノロジー	ダイナパック(株)
ニトリ	NTTデータ・チャイナ・アウトソーシング	トーメーコーポレーション	清水物産(株)
ファミリーマート	アビームコンサルティング	豊田合成	(株)ウィクレソフト・ジャパン
藤田医科大学病院	建設技術研究所	トラスト・ネクストソリューションズ	トリニティ工業(株)
富士通	パシフィックコンサルタンツ	中日本高速道路	(株)Takシステムズ
楽天	パナソニックデバイスSUNX	名古屋ダイハツ	(株)高木ミンク
日立製作所	日立システムズパワーサービス	日建設計	
富士通	日立ドキュメントソリューションズ	日本システムウェア	
マイクロンメモリジャパン	富士通コンポーネント	ニトリ	
中部国際空港	富士通ビー・エス・シー	日本アイ・ビー・エム	
東郷証券	富士電機	日本出版販売	
トヨタ自動車	三菱ケミカル	日本たばこ産業	
プレミアムキッチン	三菱自動車工業	ヤフー	
フロム・ソフトウェア	三菱電機エンジニアリング	山崎製パン	
ボッシュ	ヤーマン	楽天	
マーキュリー	ロータスビジネスコンサルティング		
みずほ銀行（中国支店）			

網掛けの企業が東海地区を拠点とする企業である。東海地区の企業への就職数も増えてきているため、引き続き本エリアでの留学生活躍を推進したい。

指標１：外国人留学生の就職状況（事例紹介）

1）A株式会社

・中部経済同友会との共催による「留学生交流会」を経て、
2019年3月に名大留学生2名に対し1週間のインターンシップを実施。
インターンシップ自体は双方ともに採用/就職活動が主目的ではなく、
あくまで「国際交流」を前提としたものだったが、6月より同社が
採用活動を開始したところ、インターン参加留学生のうち1名が応募し、
内々定に至った。

2）C株式会社

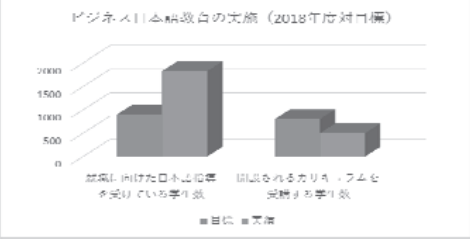
・中部経済連合会との共催による「課題解決ワークショップ」
や「仕事理解講座」を経て、今年度もXX名の名大留学生が同社の採用試験に
申し込み、現在のところ、1名の名大留学生に内々定を通知している。

その他、本プログラムを通じて接点を持った企業への内々定の事例が多く
報告されている。

指標２、３：教育プログラム（日本語・キャリア）の成果

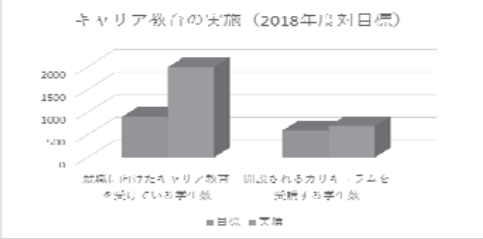
◆ビジネス日本語教育

ビジネス日本語教育の実施（2018年度対目標）	目標	実績
就職に向けた日本語指導を受けている学生数	900	1828
開設されるカリキュラムを受講する学生数	800	500



◆キャリア教育

キャリア教育の実施（2018年度対目標）	目標	実績
就職に向けたキャリア教育を受けている学生数	900	1995
開設されるカリキュラムを受講する学生数	600	696

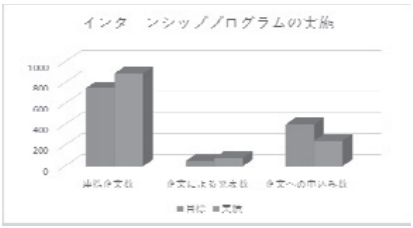


設定していた目標に対しては、ビジネス日本語教育は受講者数が伸びなかったが、キャリア教育では多くの受講生を得た。受け皿は十分整っているため、学生への周知の方法など見直し、更に多くの留学生への影響力を高めていく。

指標４：教育プログラム（インターンシップ）の成果

◆指標４

インターンシッププログラムの実施	目標	実績
連携企業数	750	890
説明会での企業による発表数	50	80
企業への申込み数	400	246



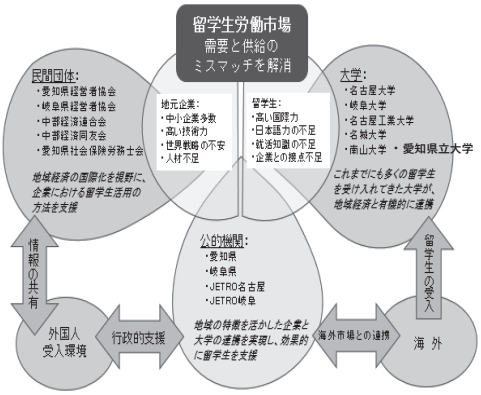
◆指標４・関連

インターンシッププログラムの実施		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度	2023年度
インターンシッププログラムへの参加者数	目標	—	—	—	200	300	400
	結果	—	120	152	142	—	—
インターンシップにより参加した企業に就職した数	目標	—	—	—	10	30	60
	結果	—	1	4	1	—	—

インターンシップに関しては、連携企業数の増加など受け皿の確保の成果が出てきている。参加者数に関して、更なる周知や支援活動に力を入れていく必要がある。

5　組織運営

愛岐留学生就職支援コンソーシアム組織図



【大学】
名古屋大学　岐阜大学
名古屋工業大学　名城大学　南山大学
愛知県立大学*

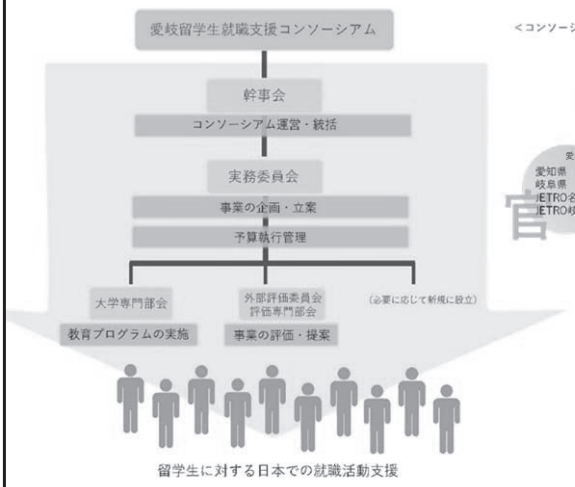
【公的機関】
愛知県　岐阜県
JETRO名古屋　JETRO岐阜

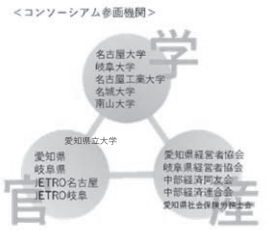
【民間団体】
愛知県経営者協会　岐阜県経営者協会
中部経済連合会　中部経済同友会
愛知県社会保険労務士会

→愛知県、岐阜県下の**全15機関**が参画

(* 2019年度から新規参画)

愛岐留学生就職支援コンソーシアム会議体系





《会議体》

幹事会
実務委員会
大学専門部会
外部評価委員会
評価専門部会

※年に1回の幹事会を基軸に、実務委員会および大学委員会を
定期的に開催し、***プログラムの企画・運営や情報共有を行っている***。

愛岐留学生就職支援コンソーシアム幹事会

幹事会

2019年5月14日（火）
名古屋大学豊田講堂にて開催
各機関の代表が幹事として、
前年度の統括、および本年度の事業運営を行う
- 代表幹事　　名古屋大学総長　松尾　清一
- 副代表幹事　岐阜大学学長　　森脇　久隆

《議事》
1）役員等の選出
2）2019年度新規参画大学
3）2018年度成果報告
4）2018年度決算報告
5）2019年度事業計画
6）2019年度予算
7）2018年度外部評価について
8）教育アドバイザーについて

2019年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム
幹事会名簿

機　関　名	役職	氏名
名古屋大学	総長	松尾　清一
岐阜大学	学長	森脇　久隆
名古屋工業大学	学長	鵜飼　裕之
名城大学	学長	小原　章裕
愛知県	政策企画局国際監	近藤　雅俊
岐阜県	商工労働部次長 (産業人材担当)	増田　雅彦
愛知県経営者協会	常務理事 事務局長	山本　衛
岐阜県経営者協会	専務理事	安藤　正弘
中部経済同友会	専務理事 ・事務局長	岡部　年彦
中部経済連合会	専務理事	小川　正樹
日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター	所長	梶田　朗
日本貿易振興機構 岐阜貿易情報センター	所長	増田　智子
愛知県社会保険労務士会	会長	大滝　春義

愛岐留学生就職支援コンソーシアム実務委員会等

実務委員会

3ヶ月に1回開催
各機関の実務担当者が事業の企画・立案と予算管理を行う

大学専門部会

3ヶ月に1回開催
参画大学の担当者が教育プログラムの運営を行う

評価専門部会（設置予定）

年度に1回開催
コンソーシアムの事業に対する自己評価を行う

外部評価委員会（本会）

年度に1回開催
評価専門部会で行った内部評価をもとに、コンソーシアム外部から委員を委嘱し、総合的な外部評価を行う

H30年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム委員会実施日程一覧

	日程	会議	参加者	議　題
1	4/24	第１回実務委員会	実務委員会	・平成２９年度成果報告及び決算報告について ・平成３０年度年度事業計画について ・平成３０年度幹事会について ・新規参画・加盟団体について ・留学生就職促進プログラム報告会（３月20日）について
2	5/8	愛岐留学生就職支援コンソーシアム幹事会	参画機関	・平成３０年度役員選出について ・平成２９年度成果報告（案）について ・平成２９年度決算報告（案）について ・平成３０年度予算（案）について ・平成３０年度事業計画（案）について ・規約改定について ・新規参画・加盟団体について
3	7/17	第１回大学専門部会	大学専門部会	・平成３０年度教育プログラムについて ・平成３０年度コンソーシアム連携体制について ・成果指標データの算出基準について ・修了証の発行について ・コンソーシアム後援名義について ・留学生就職促進プログラムの評価について ・事業終了後の持続性について
4	9/26	第２回実務委員会	実務委員会	・留学生就職促進プログラムの評価について ・修了証の発行について ・コンソーシアム後援名義について ・教育プログラムについて ・県庁主催留学生インターンシップについて ・中経連会員企業とのワークショップについて
5	11/29	H29年度外部評価委員会	参画機関	・全体概要 ・教育プログラム概要 ・産官学連携について ・組織運営について
6	1/22	第２回大学専門部会	大学専門部会	・平成２９年度外部評価について ・平成３０年度成果報告書について ・平成３１年度事業計画について ・教育プログラムについて ・修了証について
7	2/28	第３回実務委員会	実務委員会	・平成29年度外部評価について ・平成30年度教育プログラムについて ・平成31年度事業計画について ・平成31年度幹事会について ・平成30年度外部評価について

愛岐留学生就職支援コンソーシアム学生報告会

プログラム参加学生による報告会

・1年度に3回開催 （5月8日・11月29日・2月28日）
・本事業に参加した留学生からの報告や意見交換をメインに実施→実際の参加学生の声を次年度のプログラムに反映
・教育プログラムや日本での就職活動をテーマに活動報告を行う
・**事業の成果を地域や企業の関係者と共有することを目的**
→企業関係者からも参加者を募り、日本での就職活動についての意見交換を行う

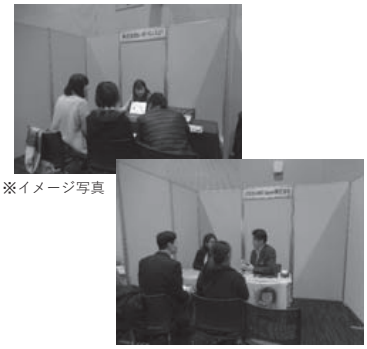
《過去の報告資料より》
「留学生就職支援コンソーシアム活動成果」
学んだこと・得たもの
・自己分析及び企業研究を通じて自分の適性と将来像といった就業活動の「軸（Will・Can・Must）」
・就職活動に向けての「モチベーション」と「目的意識」
・日本人と「一緒に思考し行動する」ことの大事さ
今後の目標
・以上の学びと経験を活かし、日本での就職活動を展開
・インターンシップへ参加した2社の早期選考
・これからも自分の納得がつくまでより幅広く柔軟な視座から就職活動に邁進

「留学生就職促進プログラムに参加して得たもの」
経済面…学費などの負担が減る
勉強・活動面…課外活動に積極的に参加できる
就職活動面…企業セミナーやワークショップなどで様々な情報を得る・ワークショップに参加しチームワーク力を高めるインターンシップに参加し、社会人の生活を体験できる



現在の取組み・将来構想

◆　マッチング型イベント　「留学生対象　個別採用選考会」



※イメージ写真

愛知県経営者協会、岐阜県経営者協会との合同企画イベント。

参加企業21社と留学生のマッチングを図る。少人数制で企業と留学生が対話する時間を多く設け、留学生ならではのマッチングを狙った仕掛けを創出。

日時：2019年7月4日（木）10:00～
14:10～
場所：名古屋大学　東山キャンパス
野依記念学術交流館

本日はご足労頂きまして誠にありがとうございました。

2018 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

評価意見書

1．取組み全体の評価

参加する各大学ともに、一定の教育カリキュラムの実施、産学連携のイベント等を行い、コンソーシアム全体で事業に取り組みを行うことは評価できる。

教育プログラムについては、前年度の同委員会で指摘した各大学でのカリキュラムを対象学生の特性により多少の内容の誤差はあるにせよ、コンソーシアムで取り組む以上、基本の教材・シラバスの形を作って行って欲しい。

また、今後の自立化を見据え、事業のイベントやプログラムの取捨選択を行い持続可能な運営を目指してほしい。

2．教育プログラムおよび産官学連携について

・教育プログラムについては、引き続きコンソーシアムとして各大学の成果なども共有しながらブラッシュアップして欲しい。

・企業側から見たこのプログラムの学生の「ウリ」を作ってほしい。（地域に定着する人材、日本企業の文化理解が深い定着しやすい人材、地頭がよく短期間で成果を残す人材等）

3．取組みにおける課題

学生の総参加数ではなく、ユニーク数で参加動向を把握することにより、本プログラムの参加効果の拡大を目指してほしい。

文部科学省
留学生就職支援プログラム専門委員
久保田　学

資料４－２

2018 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

評価意見書

1. 取組み全体の評価

2017 年度から 2018 年度へと、更にコンソーシアムの参画機関が拡大、分野の多様化も図られ、関係機関の連携、目的と事業の共有化も大変有機的に図られていると感じる。

- 愛知・岐阜地域という比較的距離の近い大学間連携だからこその優位性が活かされているという点は評価できる反面、各大学が同様のプログラムを実施するのではなく、今後、できうるならば、構成員や規模などによる特性を活かしたプログラムを各々実施し、相互参加をさらに促すなど、留学生がチョイスできる幅を広げ、大学を超えた参加のモデルの構築に期待する。
- コンソーシアム内にワーキンググループの発足という点に触れられてたが、この状況と効果についての情報が今一つ不明確であったので、ぜひ今後、共有していただけたら他の参考にもなると思う。

2. 教育プログラムおよび産官学連携について

限られた人的資源の中で、相当数の教育プログラムを運営し、学生に提供していることを高く評価する。

比較的設定しやすい日本語・キャリア教育プログラムに対し、現在設定されているタイプのインターンシップの実施が真に学生に効果をもたらしているかという点に少々疑問が残った。年々変化する企業の動向ともすり合わせの上、企画運営くださることを期待したい。

外部の中間支援業者(ベンダー)が乱立する中、教育・研究目的に来日する留学生を受け入れる大学が本プログラムを運営する際に守るべき点が揺らがないよう、留意しながらのプログラム開拓、持続的運営に、ぜひ取り組んでいただきたい。

3. 取組みにおける課題

今後のモデルとなるべきプログラムを受託し、複数年にわたって実施する際、どうしても「数」に主点を置いた目標達成が重視されがちであると感じる。しかし数値や前例では計り難い本テーマにおいて、2 年目を終えた現時点で、もう一度「なぜ留学生を日本社会が求めるのか。彼らの価値と日本社会にもたらす効果は」という原点に立ち返り、

- 企業が求めるダイバーシティ人材と地域社会の特性
- 家族を含めた留学生の地域への定着と、グローバル化推進

等を再確認することにより、次年度への課題、充実ポイントが浮き彫りになると考える。

留学生の就職支援は、単に「出口としての就職先」の数値アップにとどまらず、ダイバーシ

ティ・グローバルな彼らの個々特性を活かしたキャリアプランニングにいかに寄与できるか、が重要であろう。個別対応は手がかかり、大変だとという点を痛感しながらも、ぜひきめ細かいケア・フォローを主軸にし、愛岐地区への愛着をさらに深める取り組みの推進を期待したい。

4. まとめ

「ポスト留学生 30 万人計画を見据えた留学生政策」(中教審大学分科会将来構想部会)にあるように、今後、留学生就職促進プログラムを全国で更に展開していくにあたり、本プログラムの成果を共有していくことへの期待は大きい。愛岐のコンソーシアムでの取り組みは、今後期待に応えるだけの展開をこれまで着実に歩んできており、更に本モデルを自立にどうつなげていくか、プログラム折り返し以降に着目し続けたい。

2020 年春就職の年次より、就職活動時期に大きな変化がみられ、通年採用の拡大傾向や、入管法改正による留学生採用条件の柔軟対応が求められるなど、取り巻く環境は刻々と変化している。この時流に沿った次年度以降のプログラムの展開が期待される。その際、現在の社労士会との連携をさらに拡大し、多様な分野の専門家層とのネットワークを広げ、多角的に留学生→定着外国人財を支える仕組みづくりを、ぜひ目指してほしい。

東京大学
グローバルキャンパス推進本部
国際化教育支援室
原田　麻里子

2018 年度愛岐留学生就職支援コンソーシアム外部評価委員会

評価意見書

1．取組み全体の評価

初年度に比べ、活動の量・質ともに顕著な拡充が図られ、また関係機関との連携も進捗していることが窺える。事業連携を契機に、留学生の活用・活躍が地域経済の活性化に不可欠であるという認識が地元経済界にも浸透し始めており、同コンソーシアムが一定の役割を果たしつつあることが認められる。

2．教育プログラムおよび産官学連携について

各地の経営者協会や同友会に加え、社会保険労務士会の参画は同コンソーシアムを取り巻くステークホルダーの巻き込みという観点でも評価できるので、今後は行政書士会や外国人支援 NPO、更には地域メディアなどとの連携も検討頂きたい。また、地域のイニシアチブとしての特徴を高めるため、留学生のための地域理解促進プログラム（歴史・文化理解、地域経済、イベント参加など）などを加えられると良い。

連携の効果を高めていくためには、積極的な情報発信が重要となる。インターンシップなどは、互いの苦労や達成を周知・共有するため、成果普及セミナーなどによりフォローアップしていくことが望まれる。また、留学生に情報を提供するだけに止めず、留学生による地元企業情報発信や企業課題への提案など、留学生からのインプットを地域に還元していく取り組みを増やすと良いであろう。

また、留学生にとって出身国への貢献が最大のインセンティブであるという事をふまえ、日本や地域経済と出身国との関係性や、企業の貿易・投資動向など、日本から見える当該国について学ぶ機会を提供することも検討頂きたい。

3．取組みにおける課題

成果指標データとして挙げられた就職状況をみると、一定の増加が認められるものの、同コンソーシアム活動による効果と判断できるには至っていない。2021 年、2023 年までの中期目標として高い数字を提示されているが、現状の取り組みを拡充だけで達成できるの

か、今一度議論が必要に思われる。

産学官連携の目指すところとして、「地域経済の活性化」、「地域企業の国際化促進」を挙げられているので、活動量の評価だけでなく、経済的効果の分析、企業の生産性向上などの定量的な効果測定を試されると一層のインパクトが得られると思われる。数字として効果を見せていくことは、コンソーシアムの持続可能性や自走化にとってもポジティブな影響が得られると考えられる。

4. まとめ

前年度から企業と留学生の接点づくりが拡充されたことは高く評価できるので、今後はより多様なステークホルダーを取り込みながら、地域のプラットフォームとしての機能を発揮されることを期待している。

留学生への支援が中心とならざるを得ないものの、受け入れる企業側への支援が手薄であると感じる。類似の活動を行う他地域も同様の課題を抱えているが、留学生の就職に好循環を生み地域経済を活性化させるためには、就職後の定着・活躍は欠かせない要素である。実践・異文化マネジメントコースなど、外国人と接する企業や社会人に対するプログラムも有効であるため、各大学におかれては是非検討を願いたい。

以上

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）
国際ビジネス人材課長　河野 敬

2019 年 7 月

愛岐留学生就職支援コンソーシアム事務局

事務局担当校　名古屋大学